



技術でより良い明日を築き上げるために

3 最高経営責任者の声明

4 レポートの概要

5 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

21 従業員

- 概要
- 採用活動
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 安全
- 能力開発
- 多様性

33 製品

- 概要
- イノベーション
- 製品ポートフォリオ
- 品質と信頼性

44 環境

- 概要
- 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
- 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水

62 サプライ・チェーン

- 概要
- 成果管理
- 材料の由来
- 多様性

68 コミュニティ

- 概要
- 寄付
- 教育
- ボランティア活動

79 業績の概要

84 GRI インデックス

- 一般開示項目
- 特定開示項目
 - 経済状況
 - 環境
 - 社会活動
 - 労働慣行
 - 人権
 - 社会活動
 - 製品責任

94 ご注意

■ 最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

技術でより良い未来を築き上げる、という方針は、85年前にTIが設立された当時から、会社の理念の一つとなっています。

長年の間、TIは会社の従業員、顧客、サプライヤ、コミュニティと連携し優れた製品をつくるとともに、事業を継続的に改善し、次世代のイノベータに啓発をもたらす、生活と仕事がより良いものになるように努力してきました。

TIは初めてのコーポレート・シティズンシップ・レポートを10年前に発行しました。それ以来、TIは研究開発に171億ドルを投資し、13,000件以上の新しい特許を申請したほか、優れたアナログ/組込みプロセッシング製品を製造するために、その戦略に磨きをかけてきました。いくつかの製造施設でウェファァーの直径を200mmから300mmに移行した結果、製造効率を大幅に引き上げることができました。また、77億ガロン(291.47億リットル、2,914.7立方メートル)の水と111億MMBtu(100万BTU、111億MMBtu=約11.1兆ジュール)のエネルギーを節約できました。TIは、科学、技術、工学、数学分野で不利な環境にある世界中の学生に対して重点的に2.5億ドル以上の金額を投資しました。また会社全体で、正しいことを実行する、という方針を継続的に維持し、TIの価値である誠実、革新、コミットメントに基づいて意思決定を下しています。

2015年には以下のことを実施しました。

- 年間で水の総使用量を12%削減しました。
- IC製造に使用する金属の100%が、紛争と無関係であると認定された供給源から調達されたものであることを確認しました。
- TIの「行動規範」と価値基準に関する毎年のトレーニング、およびコンプライアンスのトレーニングを99.9%の従業員が完了しました。
- 模範となる安全実績を達成しました。これは、TIの歴史において、また業界全体で見ても非常に良い成果です。



- 慈善活動と従業員による寄付が3,300万ドルに増加しました。そのうち2/3は教育に投資されました。

今後もTIは引き続き最善の活動を継続して実施していきます。技術的に実現可能な限界まで、革新と創造を進め、顧客を支援します。このようなソリューションは、オートモーティブや産業機器の安全性をさらに高め、エネルギー消費量を低減し、機器のネットワーク化とスマート化を実現する活動に貢献します。TIの目指すところは、単に善良な企業になることではありません。TIの顧客、ステークホルダー、従業員、地域社会にとって最善の半導体会社になることが、その目指すところ です。

その過程で、TIはより良い明日を技術で築き上げるためのイノベーションと、価値基準の実現に継続して取り組んでまいります。

Rich Templeton
会長社長兼CEO

[G4-1]

テキサス・インスツルメンツ (TI) の第 10 期年次コーポレート・シティズンシップ・レポートをご覧ください。

- 2015 年における TI のシティズンシップの取り組みに関する全体的な概要をご覧になるには、(左側にある) セクションへのリンクをクリックしてください。
- 個々の対象分野については[グローバル・レポーティング・イニシアティブ \(GRI\) インデックス](#)をご利用ください。このレポート全体に、簡単に参照できるように GRI 指標が含まれています。[事例: G4-1]
- このレポートの最後に、目標や照合済みの[実績データ](#)と比較した[進捗状況の要約](#)があります。

シティズンシップ

シティズンシップは、TI が社会、環境、および経済に与える世界的な影響について説明責任を負うというコミットメントです。私たちは毎年、実績を振り返り、その結果から多くを学んでいます。TI は責任ある事業遂行を行います。TI の[シティズンシップの理念と慣行](#)については、TI シティズンシップ Web サイトをご覧ください。

TI は、第三者の基準に基づいて標準化された自己評価を通じて、シティズンシップの観点から自社工場の運営を毎年評価しています。労働、エシックス、環境、安全、健康の指標に注目し、これらの分野で自社の管理システムを評価して、改善の対象となる分野を見極めます。TI のオペレーションは、いずれも長期にわたり低リスクの状態を維持してきましたが、アジアと日本にある工場は、比較するとわずかに高い状態にあります。2012 年にこのような自己評価の実施を開始して以来、TI の実績に継続的な改善が見られています。2015 年は、評価の結果、すべての地域における TI の事業が低リスクであることが特徴付けられました。

レポートの範囲

TI の 2015 コーポレート・シティズンシップ・レポートは、2015 年度の社会的業績と環境的業績の包括的な概要を示すものです。

このレポートでは、「TI」、「弊社」、「私たち」などの用語は TI の事業運営を指し、区別せずに使用しています。通貨はすべて米ドルで表されます。

このレポートの記載は、別途記載の箇所を除き、TI と各国の TI の子会社の実績を含んでいます。環境保護に関するデータは、全製造拠点に加え、借地および自社所有の 50,000 平方フィート以上の非製造拠点のデータを含んでいます。対象としている拠点は、TI の全世界の拠点の 99% 以上を占めます。[G4-20]

TI は本レポートの作成にあたり、GRI (グローバル・レポーティング・イニシアティブ) の G4 サステナビリティ・レポーティング・ガイドラインの中核 (Core) レベルに準拠しました。[G4-32]

本レポートの主な内容については、ステークホルダーの意見を参考に TI のシティズンシップ実行委員会 (CEC) が決定しました。また、このプロセスの一環として正式なステークホルダー評価を実施しました。詳細については、[ステークホルダーとの関わり](#)をご覧ください。[G4-18]

レポートにおける重要な変更

2014 年版からの修正記述や大規模なレポート変更はありません。2015 年版でも情報開示の基準として GRI G4 を引き続き使用し、関連性の高い項目に注目し、一部プログラムを省略したため、関連性の低くなった項目を省略する結果になりました。[G4-22] [G4-23]

保証内容

2015 年版で TI はこのレポートの策定プロセスの見直しを引き続き進め、提示する情報の正確性と監査能力をさらに確実なものにしました。現在、TI はこのレポートに対する第三者からの保証よりも、ステークホルダーにとって最も重要性の高い項目に取り組む作業に注力しています。[G4-33]

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

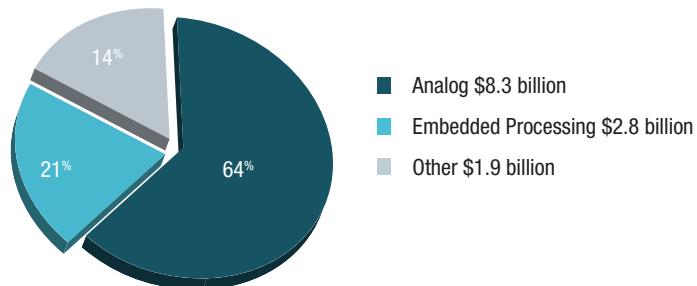
ご注意

企業プロフィール

Texas Instruments Incorporated (NASDAQ: TXN) は、世界的な半導体企業です。TI は半導体製品の設計と製造を行い、世界中の電子機器設計者とメーカーに販売しています。[G4-3] [G4-4]

2015 年、TI は何万ものアナログ、組み込みプロセッシング製品からなる豊富な製品ラインアップを供給し、100,000 社以上がこれらの製品を使用しました。TI は、産業機器、車載機器、パーソナル・エレクトロニクス、通信用機器、エンタープライズ・システム、その他(電卓を含む)の6つの市場で、全世界のお客様に製品を提供しています。

分野別売上高



Due to rounding differences, the total does not add up to 100 percent.

本社は米国テキサス州ダラスで、30 以上国以上に設計、製造、または販売運営拠点を持っています。TI は米国デラウェア州法に基づいて法人として設立されています。TI の所有形態と法的手続きについては、TI の米国証券取引委員会 (SEC) フォーム 10-K をご覧ください。[G4-7] [S07]



* TI has manufacturing, design and sales operations in more than 30 countries worldwide. For the purposes of this report, we define major locations (significant operations) as 1. all manufacturing facilities and 2. design and sales offices 50,000 square feet or larger and/or with employee populations greater than 100 as of Dec. 31, 2015.

[G4-5] [G4-6] [G4-9]

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

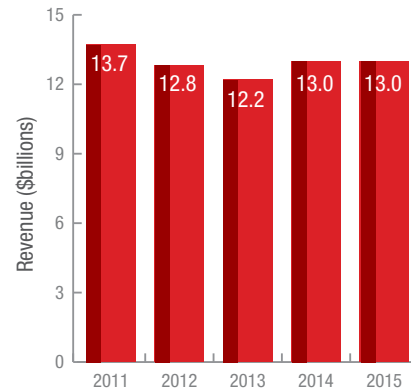
業績の概要

GRI インデックス

ご注意

事業内容

2015年のTIの売上高は130億ドルでした。(TIの財務実績の詳細については、TIの [SEC フォーム 10-K](#) をご覧ください。)

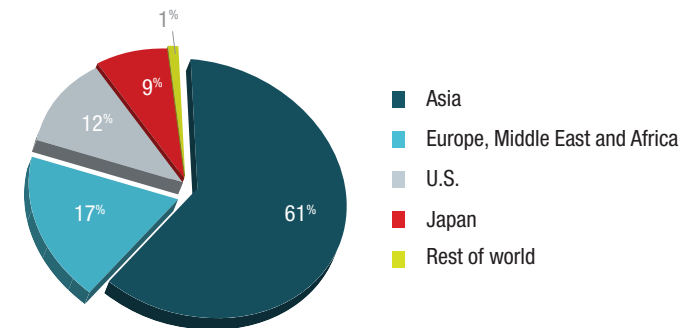


売上高の推移

TIは世界各地の連邦、州、および地方政府から税制上の優遇措置によるインセンティブを受けました。それらのインセンティブは、装置や設備、雇用、研究開発に投資している製造会社に一般的に提供されているものです。詳細については、TIの [SEC フォーム 10-K](#) と [税務政策](#) をご覧ください。 [G4-EC4]

以下の地域情報には、製品の出荷仕向け地とロイヤリティ支払い側の所在地に基づく売上高が含まれています。売上高情報は、必ずしもTIの製品を採用した最終製品が実際に使用される場所を指し示しているとは限りません。TIの製品は、多くの場合顧客が自社製品を組み立てる場所向けに出荷されるからです。特に、TI製品の多くは、中国に拠点を置く顧客に出荷されます。顧客は自社の最終製品にそれらのTI製パーツを組み込み、その後、最終製品を世界中の販売先に再輸出することがあります。

地域別売上高



[G4-8]

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

要点と重要な変化

2015 年は好調な年であり、TI の財務業績が状況をよく物語っています。粗利益は売上高の 58.2%、営業利益率は 32.9% であり、どちらも TI の新記録でした。詳細については、TI の [Annual Report \(英語\)](#) をご覧ください。[EC1]

TI は 2015 年中に、組織の規模、構造、所有形態またはサブライチエーションに関して重大な変更を行いませんでした。[G4-13]

評価

2015 年、TI の倫理的慣習とシティズンシップに対する取り組みは、広く評価されました。以下にその一部を示します。

- フォーチュン誌の「世界で最も賞賛される企業」に選ばれました (業界で 2 回目)。
- エシックス・インスティテュートの「世界で最も倫理的な企業」(9 年連続)
- CR マガジンの「100 ベスト・コーポレート・シティズンズ」(13 年目)
- CR マガジンの「10 ベスト・コーポレート・シティズンズ」、IT 部門 (5 年連続)
- ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、北米部門 (9 年目)



MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

フィーチャード・ストーリー

本社の改革：革新を進めるための触媒

チームの連携、コミュニティに対する意識の強化、コラボレーションの推進、環境負荷の低減、コスト効率の向上。これらは、テキサス州ダラスにある TI の South Campus で現在進行している、全体的な組織改善の目標をいくつか列挙したものです。ここには、TI の本社と、約 4,000 人の従業員が働く創造的な職場があります。

「TI のビジョンは、創造性と革新を鼓舞し、従業員が健全な状態で勤務できるとともに、コミュニティ意識を強化して、知識の共有とコラボレーションを促す環境を実現することです」と、大規模プロジェクトを管理する Kevin Badgett (ケビン・バジェット) は説明します。

2015 年に開始され、2016 年末の完了を予定しているリノベーションは、100 万平方フィート (92,416 平方メートル) に達する建物面積のうち約 80% に影響を及ぼします。建物には、オフィス空間、研究施設、カフェテリアやコンシェルジュ・サービスのような福利厚生施設が収容されています。

South Campus で各ビジネス・グループを代表する設計チームは、業務環境改善の最新動向を調査し、革新を促す空間の創造に特化した先進的な建築家に相談を持ちかけました。その結果、隣人が互いに協力しあう、という考え方を土台にした設計を採用し、複数のチームが気軽に協力できる領域を用意しました。開放的で目新しいレイアウトは、コラボレーションと効率を意図して最適化されています。



また、この設計にはグリーン・ビルディングの理念も盛り込まれており、より多くの自然光を利用するほか、高効率の LED (発光ダイオード) 照明、リサイクル素材を大幅に使用した新しいカーペットと天井のタイル、低揮発性有機化合物 (VOC) 素材を採用しています。

「TI 本社ビルの近代化により、効率と生産性が強化されると同時に、仲間意識が向上します」と Kevin は説明しました。

事業内容

- 企業プロフィール
- **ステークホルダーとの関わり**
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

ステークホルダーとの関わり

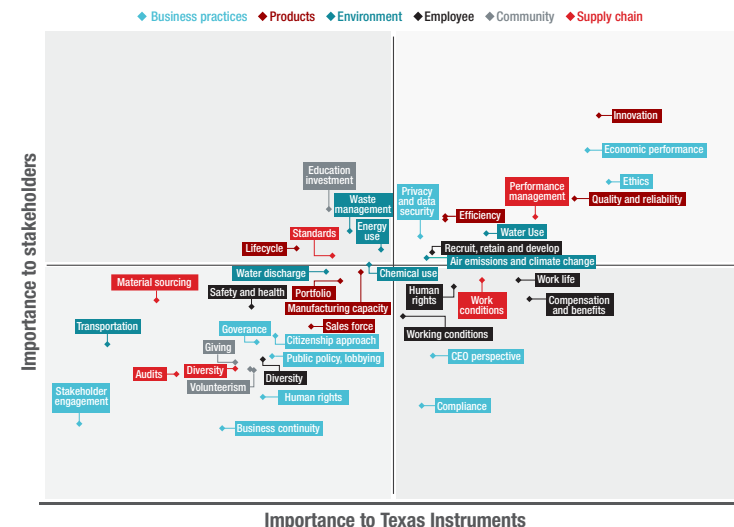
TI は社内および社外のステークホルダーとの関わりを定期的に維持し、報告プロセスの一環として、ステークホルダーの公式評価を実施しています。

直接的な影響を及ぼすステークホルダー、またはTIの業務に関心を持つステークホルダーとの関わりを維持しています。TIのステークホルダーには、従業員、お客様、株主、TIの拠点があるコミュニティ、研究機関、公務員、業界団体、監督機関、非政府組織、メディア、アナリスト、サプライヤー、請負業者、TIの退職者、および将来の従業員が含まれます。[G4-24] [G4-25]

2015年、これらのグループにとって最も重要な環境、社会、ガバナンスのテーマを特定し深く理解するために、TIは2回目の公式の評価を実施しました。この評価は、4つの手順で構成されるプロセスです。

1. **特定:** TI にとっての妥当性、ピア・ベンチマーキング、業界トレンドと持続可能性トレンドの結果に基づき、43の重要な項目で構成された領域を定義しました。
2. **優先順位設定:** ステークホルダーへの聞き取りと顧客や従業員への調査を実施しました。参加者の関心の度合いやTIからの報告の必要性という観点で、43項目に対して意見を記述するか、最も重要度の高いものから低いものに向かってランクを付けるように依頼しました。TIは得られた結果を使用して、重要度の高い項目を決定しました。
3. **検証:** これらの結果の再検討、話し合い、確認を行いました。これらのプロセスは、TIのシティズンシップ実行委員会が主導しました。
4. **再検討:** 該当する場合は、TIは最重要課題の透明性を高めるために活動とリソースを整合させました。[G4-26]

シティズンシップの主要な項目のマトリックス*



* This table lists the top areas or topics identified in our annual stakeholder assessment.

TIはステークホルダーが特定した最上位の分野にすでに積極的に取り組んでいます。今後も引き続き各項目の状況を注視し、解決していきます。

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- **ステークホルダーとの関わり**
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

ステークホルダー・グループごとの重要項目

重要項目*	ステークホルダー					
	従業員	お客様	投資家	コミュニティ	サプライヤ	業界団体
1 イノベーション	X	X	X			X
2 経済的パフォーマンス	X		X	X	X	
3 エシックス	X	X		X		
4 品質と信頼性	X	X		X		
5 サプライ・チェーンの成果管理	X	X	X	X	X	X
6 水利用			X	X		X
7 製品の効率		X	X			X
8 プライバシーとデータのセキュリティ	X	X				
9 従業員の採用、雇用の継続、育成**	X	X	X	X		
10 排気、気候変動**	X	X	X	X	X	X

以下に、各ステークホルダー・グループに関与してもらうための活

* TI とステークホルダーにとって重要な順に並べた上位 10 件の項目 グループによっては特定の項目を選択しませんでした。この事実は、それらの項目の重要度が低いという意味ではありません。単純に、トピックの領域全体の中で、それらの項目に対して上位の重要度が割り当てられなかったという意味です。

** 項目に対して、密接度に基づく関連付け、ランク割り当て、その後のグループ分けを行いました。

太字の項目は、それらの項目が 2015 年の上位リストに含まれていたことを表します。

[\[G4-19\]](#) [\[G4-27\]](#)

TI の直接的な事業の外部にある重要な項目として、コミュニティ、サプライ・チェーン、および製品の使用を挙げることができます。 [\[G4-21\]](#)

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- **ステークホルダーとの関わり**
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

話し合ったテーマ、その対処方法に関するいくつかの例を示します。

従業員

- TI の従業員諮問委員会 (Employee Advisory Panel、EAP) に比べて 3 倍を上回る規模で、世界各地の従業員の見解をより適切に収集することを目的とし、製造グループ (TI の従業員全体のうちかなり大きな部分) からフィードバックを得るための方法を策定しました。TI は福利厚生 の伝達から、会社の優先順位に関する認識まで、さまざまな項目に関して従業員の調査を行いました。
- EAP と、それより大規模な無作為抽出の従業員に対して、TI のシティズンシップ文化に関する調査を実施しました。前回の調査を実施した 2012 年以來、シティズンシップへの関心と関与の全体的な上昇が見られました。現在、最新の結果を活用し、従業員の関心とそれにあったプログラムの提供に努めています。

投資家

- 新しい Investor Relations (投資家向け情報) サイトを開設しました。この中には、デザインの見直しやモバイル機器との親和性の向上が含まれています。このサイトには、会社のビジネス・モデル、戦略、キヤピタル・マネジメント戦略に関する詳細なコンテンツや、魅力的な情報グラフィック、さらに、より良い方法で現在と将来のステークホルダーにリソースを提供することを目的とした最新の画像が掲載されています。
- 2016 年初期に実施された TI のキャピタル・マネジメント戦略の更新に関して年次の Web キャストに記載されている指標を規準とし、2015 年の主な業績を公開しているほか、TI の最近のキャピタルの投資先とその理由をハイライトしています。

お客様

- TI のグローバル・カスタマー・センターは、電話、メール、オンライン・サポート・フォーラム、チャットを通じて寄せられる、TI の製品やサービスに関する問い合わせに対応し、毎月数千人のお客様を支援しています。その中にはシティズンシップに関する 2,200 件以上の問い合わせも含まれています。
- また、10 年以上にわたって TI は顧客の満足度レベルに関する調査を継続しており、懸案のあるあらゆる分野に対処しています。2015 年は、サポートに関してお客様への対応を行ったチーム・メンバーのプロプロフェッショナリズムに関して 95% 以上のスコアを記録しました。

本レポートのその他のセクションでは、TI の 2015 年の取り組みに関する業務と 2016 年に向けた計画の付随的な概要を記載しています。

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- **ガバナンス**
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

ガバナンス

TI のガバナンス機構は、企業の意思決定と管理が適切に機能するよう意図されています。当社のリーダーは、世界のあらゆる地域においてビジネスが倫理的に行われるよう、支援、促進する責任を負っています。

取締役は豊富な経験を持ち、多様な背景とスキルを備えています。最高経営責任者を含む執行役、最高財務責任者、事業部長、および最高法令順守責任者は取締役会が選出します。

TI には、監査、報酬、ガバナンスと株主向け広報の3つの取締役会委員会があります。各委員会は少なくとも1年に1回、TI のシティズンシップ・プログラム のさまざまな面について最新情報の報告を受けます。これらの委員会の詳細については、TI の [ガバナンス](#) に関する Web サイトをご覧ください。
[G4-34]



2015 年に、新しい1人の取締役メンバーとして、Janet F. Clark (ジャネット・F. クラーク) が任命されました。これまで、Marathon Oil Corp の副社長兼最高財務責任者を務めていた人物です。現在、取締役会のメンバーは12人ですが、ジャネットを含めて5人が女性です。

ガバナンスの状況	2015
取締役会人数	12
取締役会制度	単層型
独立取締役	92%
男性	58%
女性	42%
年齢: 30 ~ 50 歳	8%
年齢: 50 歳超	92%
マイノリティ	25%
取締役会の年齢制限	70
・ 年間の取締役会開催回数	TI 株主総会招集通知
・ 監査委員会会合	
・ 取締役会メンバーの出席率 (%)	
・ 取締役会任期 (年)	
・ 最高経営責任者の報酬合計	
・ 取締役会メンバー平均報酬の固定部分 (%)	
・ 変動/実績ベース (%)	
・ オプションに基づく報酬	なし
株主総会招集通知において法的手続きの開示が必要な取締役候補人数	
・ 役員報酬コンサルタントに支払った報酬	TI 株主総会招集通知
・ 現在の監査人の雇用年数	SEC フォーム 10-K
政府に支払った税金額	
持続可能性/環境、安全、および健康/CSR (企業の社会的責任) の問題に専門に対処する取締役会委員会があるか	ガバナンスおよび株主向け広報
・ 役員報酬の株主承認 (say on pay) 条項 (非拘束的決議を含む) を採用しているか	はい
・ 内規/定款に白紙委任優先株式の授権が含まれているか	
・ 社外役員報酬アドバイザーを任命しているか	いいえ
・ 監査役は最近の株主総会で承認されているか	
・ 取締役会の期差選任制を採用しているか	いいえ
・ 議決権の異なるデュアル/マルチ・シェア・クラスを採用しているか (役員/取締役/従業員向けの優先株、無議決権株を除く)	
・ 議決権の異なるデュアル/マルチ・シェア・クラスを採用しているか (役員/取締役/従業員向けの優先株を含むが、無議決権株を除く)	
・ 国連の責任投資原則に署名しているか	
・ 役員報酬は環境、社会、ガバナンスの目標と連動しているか	
・ 取締役会メンバーの報酬は環境、社会、ガバナンスの目標と連動しているか	

事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- **ガバナンス**
- **政策提言**
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

シティズンシップ

このレポートの該当する各セクションには、TI のシティズンシップに関する取り組みの詳細な監督結果が記載されています。TI の上級リーダーは、TI のシティズンシップに関する取り組みを幅広く監督しています。上級リーダーは TI のシティズンシップの実績やその関連活動を管理する 2 つのチーム、**シティズンシップ実行委員会** (CEC) とシティズンシップ・ステークホルダー・チーム (CST) のメンバーを任命します。

2015 年には以下のことを実施しました。

- 会社の**シティズンシップの基本原則**を更新し、既存の方針を統合するとともに、基本原則を発展させるための指針を設けました。
- TI のシティズンシップへの取り組みを対象とした CEC の 1 年間における監視がおわりました。それには**ステークホルダーの評価結果のレビュー**とベンチマーキングが含まれています。CEC は、TI のシティズンシップ戦略と取り組みを指導しました。
- また、CST をさらに強化するために、新しいメンバーを任命しました。
- TI のシティズンシップに関する取り組みを管理し前進させるために、年ごとのトレーニングを通じて、CEC と CST それぞれの役割と責任の整合性を高めました。

今後の計画

2016 年は引き続き、改善を実現する機会を識別し、価値、競争力、責任をさらに向上させるための取り組みを主導します。

政策提言

TI は成長、イノベーション、および競争力を強化するポリシーを支援しています。TI は、半導体業界、またより広範なビジネス・コミュニティに影響する重要な課題について議員を教育し、働きかけをしています。TI の政策提言活動は、取締役会の、ガバナンスおよび株主関係委員会が監督しています。

成果

2015 年に、会社全体に影響を及ぼす、多くの重要なポリシー関連事項を前進させました。

- **成長:** 新しい取引協定について短期間で考慮できるように、取引推進機関を可決するように働きかけ、それに成功してきました。環太平洋パートナーシップ (TPP) 貿易協定の締結と、情報技術協定を拡大する取り組みの両方に関して、TI は米国の交渉担当者をサポートしました。どちらも TI にとって有益です。また TI は、Fixing America's Surface Transportation Act (FAST 法、米国陸上交通調整法) に関する働きかけも行いました。この法は、より安全で、より自律的なネットワーク接続型車両の高度な研究を支援します。
- **革新:** 米国の連邦レベルおよびテキサス州レベルで研究用資金の増額を支援することに成功しました。また、米国議会は Every Student Succeeds Act (全生徒成功法) も可決しました。この法は、科学、技術、工学、数学の分野で TI が求めている教育手段を含め、説明責任に関する複数の重要な手法を確保します。

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

- **競争力:** TIは、研究開発に関する優遇税制の恒久的延長の実現にも寄与しました。また、メイン州の事務機器税払い戻し制度を維持し、テキサス州の課税コードに対する望ましくない構造変更を防ぐ作業にも携わりました。さらに、サイバーセキュリティ法案の立法成功にも注視しました。この法案は、サイバーの脅威と侵害に関する情報を共有し、そのような脅威に対処できる方法を取ろうとしている企業に法的な保護を与えることになるはずで

また、TIやTIのオペレーション、および持続可能性や競争力のある方法でイノベーションと成長を達成する能力、に影響するさまざまな問題に対して引き続き注目しました。

フィーチャド・ストーリー

研究開発に対する恒久的な優遇税制の立法化

数十年にわたって、TIとビジネス・コミュニティに属する他企業社は、米国の競争力を強化するために、研究開発に対する米国連邦の優遇税制を恒久化するように働きかけてきました。この優遇措置には、1980年代に最初に制定されたとき以来、17回にわたって一時的な期間延長が実施されてきました。多くの場合は、期限切れ寸前の延長、または期限が切れた後の遡及措置で、財務報告書の準備の煩雑化や、米国における研究開発の奨励の低下につながるものでした。

TIのTax部門とGovernment Relationsチームは他社と連携して税制の一体的作業を推進するようにロビー活動を積極的に実施し、2015年末に包括的な資金供給という形で最終的に法案が可決されました。これらの手段は、研究開発の税制優遇を恒久化し、管轄下にある外国法人の監督手法を5年間にわたって延長するものとなりました。このような成果の組み合わせにより、TIはこれらの手段を通じて競争力を高め、会社全体の税負担を緩和することができました。研究開発の税制優遇の恒久化により、米国における企業の研究開発分野への投資の予測可能性と確実性が高まります。

TIの最高財務責任者であるKevin March(ケビン・マーチ)は次のように説明します。「研究開発の優遇税制の恒久化は、TIと米国内の技術産業の両方にとって重要です。税制優遇の恒久化は、必要性の高かった予測可能性の上昇を意味すると同時に、研究開発分野における米国のグローバル・リーダーシップにつながる重要なステップを体現するものです。」

メンバーシップ

米国でTIは国家レベルまたは地域レベルの複数の業界団体に参加しており、米国半導体工業会、Information Technology Industry Council(情報技術産業諮問委員会)、Texas Association of Manufacturers(テキサス製造業者協会)、Portland(Maine) Regional Chamber of Commerce(メイン州ポートランド地域貿易団体)、Silicon Valley Leadership Group(シリコン・バレー・リーダーシップ・グループ)などが該当します。また、TIはその他のグループや団体との提携を通して、成長を加速し競争力を高め、従業員とコミュニティを支援する政策を推進しています。さらに、TIは存在感を高めている国で、団体を選択して所属しています。

私たちは業界団体の会費として支出した金額の総計とロビー活動に関わる会費を開示しています。2015年、TIは合計1,660,595ドルを会費として**会員制団体**に支払いました。それらの団体は会費、ロビー活動への参加、またはその両方として5,000ドル以上を受け取りました。ロビー活動や政治活動に使われた会費のうち、米国内国歳入法第162(e)(1)項に基づき控除の対象とならない金額の合計は387,936ドルでした。[G4-16]

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

献金

TI は、特定の候補者の支援、複数候補者のキャンペーン委員会の支援、米国の連邦、州、地方いずれかの政党の支援、または独立系の支出を実施を目的として、会社のリソースを使用することはありません。2015 年に、TI は[地方の無記名投票構想](#)を支援するために、12,500 ドルを献金しました。TI の political action committee (PAC、政治活動委員会) は、非常に透明性の高い方法で、米国内でのみ献金を行い、該当する連邦法や州法を遵守しています。2015 年に TI の [PAC](#) は、連邦、州、および地方のさまざまな候補者を支援するために 99,000 ドルを支出しました。[SO6]

今後の計画

2016 年は、TPP の米国議会可決、より広範な連邦税制改革、スキルの高い移民の受け入れ、サイバーセキュリティ、プライバシーに関する法案などの項目に注目します。

2016 年の TI の優先政策事項の詳細については、TI の[公的政策](#)に関する Web サイトをご覧ください。

エシックス

TI の価値である誠実、革新、コミットメントを基準として、私たちは自らの決定や行動がどうあるべきか、また、業務をどのように遂行すべきかを決めます。これらの価値基準は TI の従業員にとって重要な要素であり、1930 年の会社発足以来、創設者の行動とその理念の実践にあたって数十年にわたる基準になってきたものです。

[G4-56]

TI は 1961 年に、CEO が署名した最初のエシックス・カタログを発行しました。2015 年に、会社の[「行動規範」](#)と価値基準を更新し、会社の文化と慣行に関する継続的な指針として活用しています。TI は、会社の環境、社会的慣行とガバナンスの慣行を選択するために他のガイドラインにも賛同していますが、他の基準より特定の基準を優先するように働きかけることはありません。詳細については、TI シティズンシップ Web サイトの [voluntary standards \(自発的な基準\)](#) をご覧ください。[G4-15]

TI は毎年、取締役会の監査委員会、TI の内部エシックスおよびコンプライアンス委員会、TI 全体のすべての上級リーダーシップ・チームに実績の結果を報告しています。2015 年に、TI はアジアで、エシックスに関する対応効率と監督能力を大幅に改善しました。

トレーニングとコミュニケーション

TI の上級管理者はエシックスに関与しており、上級管理者が各組織内でエシックスとコンプライアンスを推進するためのツールが提供されています。

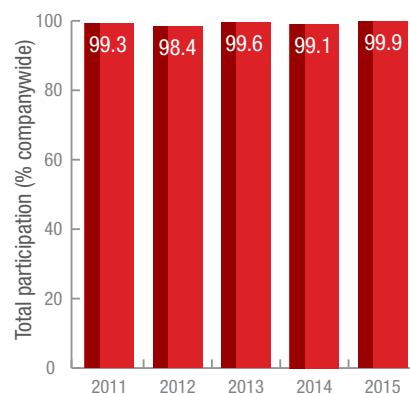
TI は、会議、チーム、および 1 対 1 のミーティングでエシックスに取り組みます。また当社では、従業員、サプライヤ、その他のステークホルダーのために 12 のチャネルを確保し TI のエシックス・オフィスに連絡できるようにしています。従業員へのコミュニケーションでは、TI のエシックス・オフィスに連絡するよう推奨し、秘密が保たれ報復がないことを強調しています。

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- 事業の継続性

各従業員は毎年、エシックスとコンプライアンスのトレーニングを受ける必要があります。2015年は99.9%の従業員が、エシックス、価値基準、機密情報保護に関する内容が含まれるコンプライアンスのトレーニングを完了しました。さらに、特定の従業員グループは、環境、安全性、健康に関するトレーニングや、不正防止に関するトレーニング、輸出法令順守に関するトレーニング、Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC、電子業界シティズンシップ連合会)の規範に関するトレーニングも完了しました。[HR2] [HR7] [SO4]

エシックスとコンプライアンスに関するトレーニングへの参加



TIは2015年、法規制への違反に対する重大な罰金、およびそれ以外の制裁措置を受けていません。[SO7] [SO8]

今後の計画

2016年、TIは以下の内容を実施します。

- 従業員、請負業者、およびサプライヤに対して、自らに関連する業務慣行に責任を持つようトレーニングを継続します。
- 職場でのハラスメントを防止するためにすべての従業員にトレーニングを実施します。
- 特定の従業員に対して、汚職防止、贈収賄防止、独占禁止法違反防止、インサイダー取引に関するトレーニング・コースを提供します。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- **エシックス**
- 人権
- 事業の継続性

従業員

製品

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

フィーチャード・ストーリー

エシックスに関する文化：リーダーが主導

エシックスは TI の基礎を作っています。TI のあらゆる従業員が毎日の決定を下すための出発点です。倫理的な責任は、TI の会長社長兼 CEO であるリッチ・テンプレトンが主導および支援しており、年ごとに会社のリーダー数百人が出席する Leadership Conference (リーダーシップ会議) を含め、リッチが会社のあらゆる拠点に関する決定を下す際の基準として機能しています。

「TI は、エシックスを当然のことだと思えません。TI には約 30,000 人の従業員がおり、誰でも正しくないと思える言動を眼にした場合は、各自が正しくないと言えます。」と、リッチは定期的に語っています。「この会社のリーダーの一員として、正しくないと思える誰かの発言を耳にした場合、その発言に関して行動を起こすのはそのリーダーの責任です。」

TI の従業員、管理者、およびリーダーは、行動を起こし業務を遂行するときに自ら正しい決定を下せるように支援するためのトレーニングを受け、ツールを付与されています。また、匿名で報告を行うオプションも含め、懸念事項を報告するためのさまざまな手段にもアクセスできます。Web からアクセスできる TI の Ethics Quick Test (エシックス・テスト) は、一連の質問と説明で構成されており、倫理に関するほぼすべての問題を識別する目的で容易に使用できる手段です。

- 「それ」は法律に触れないだろうか。
- 「それ」は TI の価値基準にあっているだろうか。
- 「それ」をすると良くないと感じないだろうか。
- 「それ」が新聞に載ったらどう映るだろうか。
- 「それ」が正しくないわかっているのにやっていないだろうか。
- 確信をもてないときは、質問をしてみてください。
- 納得のいく答えが得られるまで、質問をしてみてください。



さらに、TI の価値基準とエシックス・オフィス連絡先情報は、TI 内のあらゆる会議室と休憩所に掲載されています。同オフィスは報告と要請に対応し、状況に応じた適切な解決策を導き出せるように従業員を支援します。

「エシックスを基盤として確立された文化を維持する責任は、私たち、つまりリーダーと従業員にあります。「これは、私たちがどのような存在であるかという価値判断の基準であり、自らの仕事をどう感じるか、という点で大きな違いをもたらします。」とリッチは語ります。

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- **人権**
- 事業の継続性

人権

TI にとって、従業員の人権を保護することは重要です。人権に関する TI の意識は、TI の **サプライ・チェーン** 全体にまで拡大されています。

2015 年、第三者は TI の 3 か所の製造施設で、人権を含む社会的責任に関する慣行の監査を実施し、重大な違反は見つかりませんでした。また、TI の世界各地の全製造拠点で、第三者の自己評価アンケートを完了しました。自己評価アンケートでは人権も重視しており、結果は希望するお客様と共有しています。評価の結果、すべての地域における TI の事業が低リスクであることが特徴付けられました。[HR9]

私たちは、新しいサプライヤーと取引を始める際に、安全で人道的、倫理的な労働慣行に向けた TI の基準と期待について、サプライヤーに説明を行います。TI のサプライ・チェーン管理チームは、TI のエシックスや価値に反する問題を特定し解消するための支援を提供します。サプライヤーが望めば、TI のエシックス・オフィスに連絡して匿名で質問したり問題について話し合ったりできます。TI のポリシーと慣行の詳細については、「**supplier performance management (サプライヤーの実績管理)**」をご覧ください。



今後の計画

2015 年を通じて、TI は新しく改定された **行動規範** を使用し、引き続き **サプライヤー行動規範** を活用して、当社と当社のサプライ・チェーンの人権リスクを評価および管理しました。

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- **事業の継続性**

事業の継続性

TI の事業継続性プログラムの目的は、リスクを特定して潜在的な業務への影響に備え、TI の事業やサプライ・チェーンの停止による影響を最小化することです。TI は事業継続性を確保することによって、売上と評判および、お客様からの信頼をより確かなものにすることができます。また、TI が事業停止の影響を最小限に管理できることが投資家やその他のステークホルダーに示されます。TI のアプローチに関して説明している、TI シティズンシップ Web サイトの **事業の継続性** に関するセクション。

TI の Business Continuity (事業継続性) 管理チームは、TI の事業継続性に関する戦略、方針、プログラム、計画を監督し、停止の事態が発生した場合は主導的な役割を担います。TI のリーダーによる任命を受けたチーム・メンバーは、四半期ごとにミーティングを開催し、会社の最高財務責任者に対して年ごとの更新情報を提供します。

TI の各拠点で、TI のサプライ・チェーンおよび生産の減少や中断を引き起こしたりする可能性がある地震、異常気象、水害に関する問題などのリスクを監視しています。より正式なリスク評価を2年ごと、または新しい施設の購入などの大きな変化により評価が必要となった場合に実施しています。この評価プロセスには既存のコントロール(たとえば、臨時の発電)や追加コントロールの必要性の特定が含まれます。米国テキサス州、中国、台湾にあるTIの施設は長引く干ばつの影響を受ける可能性が高くなっています。ただし、2015年はこれらの点は懸念事項とはなりません。米国、アジア、および日本にあるTIの施設は、地震、ハリケーン、竜巻、台風、その他の異常気象の影響を受けやすくなっています。詳細については、「**気候変動**」および「**水利用**」をご覧ください。[EC2]

2015年に、TIはエンタープライズ規模のリスク管理調査を完了しました。この調査を3年ごとに実施し、社内にある潜在的なリスクを識別および理解し、その結果を要約して監査委員会と共有します。また、**SEC Form 10-K** を使用してリスクを開示します。



年間を通じて、Readiness 2 Recover (準備態勢から回復へ) という会社の新しい取り組みをすすめました。これは、業務継続性プログラムが効果的か、また必要とされる要件をみたしているかを測定、改善するものです。さらに、人的影響や事業への影響を及ぼす可能

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

■ 事業内容

- 企業プロフィール
- ステークホルダーとの関わり
- ガバナンス
- 政策提言
- エシックス
- 人権
- **事業の継続性**

従業員

製品

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

性のある重大な現象に対処する計画を導入しました。2016 年も特に米国とカナダにおいて、このような現象に対する計画、コミュニケーション、トレーニングを継続する予定です。

プライバシーとデータの保護

データを管理し、サイバー攻撃のリスクを低減するために、複数レベルのセキュリティ・プログラムを実装しました。TI は、知的財産と個人情報の保護が必要と考えます。

TI の Global Information Security (グローバル情報セキュリティ) チームは、ポリシーの確立、従業員のトレーニング、脅威の識別と対処、各事業部やサポート・チームと連携した作業を通じて、社内のセキュリティを改善しています。さらに、このチームは業界の枠組みと規格を活用し、エキスパート・リソースや業界パートナーとの共同作業を進めるほか、脅威、ベスト・プラクティス、トレンドに関する情報交換を行います。TI はこれらのリソースや社内評価から得られた指針を使用して、社内リスクの識別と低減を進めます。

また、部門横断形式で構成されているガバナンス / コンプライアンス諮問委員会は、機密情報と個人データの保護に特に注目しています。TI のマネジメントは、会社の情報セキュリティ・プログラムに直接関与しており、会社を保護するために TI が実施する手順に関する更新を定期的に受け取っています。さらに、サイバーセキュリティの意識向上と機密情報保護に関するトレーニングを、すべての従業員に対し定期的に提供しています。[PR8]

今後の計画

TI は 2016 年を通じて、サイバーセキュリティに対する脅威の検出、防御や対処能力を継続的に強化する予定です。これらの改善は、リスク・ベースの優先順位設定モデルを通じて選定され、TI の機密情報と個人情報の保護、事業停止の防止、会社の有形資産と知的財産の盗難防止を意図して設計されています。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 安全
- 能力開発
- 多様性

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

概要

TI には約 30,000 人の従業員がいます。TI の従業員は、イノベーションを推進し、技術でより良い未来を築き上げるために中心的な役割を果たしています。すぐれた人材を採用し、能力を有する人材の雇用を継続することが、TI の将来を左右します。TI は、魅力的な仕事、競争力のある給与と福利厚生、専門的能力開発と育成の機会、多様性を持ち多様性を尊重する職場を確保することで、世界を変革し、仕事にやりがいを感じられるような機会を各従業員に提供しています。

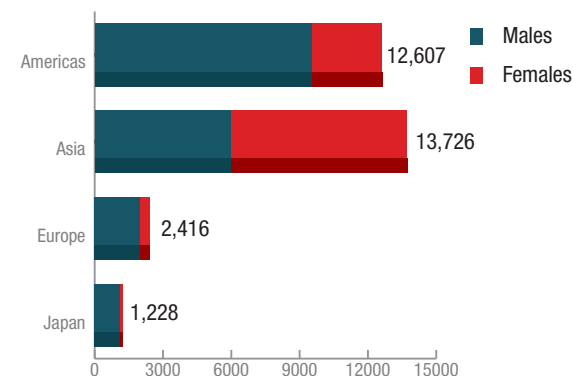
TI は科学、技術、工学、および数学 (STEM) に注目して、教育に投資しています。半導体業界は、STEM 分野の学問に対する学生の関心とスキルを高め、資格のある応募者の数を増やすことを最終的な目標として、教育に寄与しています。このような投資は、将来の労働力を強化することに加え、業界が協業するコミュニティの強化にもつながります。

全世界の従業員

TI は 2015 年も引き続き、最も優秀な人材の雇用と雇用維持に力を入れました。私たちは、従業員、特に日々のオペレーションを担う社員を現地採用し、その後、より高度な職務や上位の職務に向けてトレーニングするという方針を取っています。主要拠点では、地域からのマネージャ採用が多くなっています。全世界では TI の上級管理者の 98.9% が、自身の働く地域の出身です。[EC6]



地域別、男女別の労働力

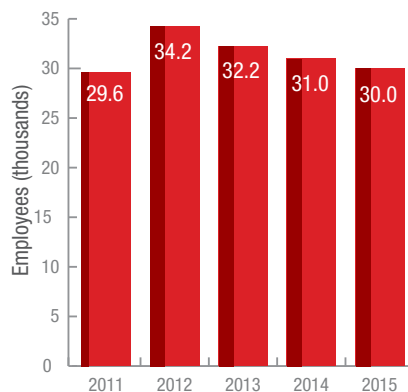


As of Dec. 31, 2015, we had 29,977 employees. Gender breakdowns for these regions are approximations; however, the combined employee population totals are accurate. We do not include employment contracts, as they are not relevant.

[G4-9] [G4-10]

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 安全
- 能力開発
- 多様性

雇用履歴



The 2011 total does not include former National Semiconductor employees, which were included in 2012.

リスクと機会

TI内の各組織は、現在および将来における重要な人材ニーズを満たすための計画を策定し、適宜見直しています。この計画には、スキル・セット計画（従業員が必要とするスキル）、雇用計画、および重要な役割（上級リーダーシップの職位など）のために人材を準備する計画が含まれます。これらの計画により、TIは雇用のリスクと機会に対処できます。

現在の労働力を維持することは不可欠であり、各従業員が成長と成功を実現することのできる、多様性を持ち多様性を尊重する職場を確実に提供できるように、TIは努力を継続しています。従業員に対するこれらの投資の結果、TIは優れた**定着率**を達成しています。

会社の部門横断形式で構成されている上級リーダーシップ・チームは、TIの労働力に関する情報を定期的に精査し、業績の評価、リスクと機会の識別、適切な行動計画の策定を進めています。

表彰

2015年、TIが実施した雇用や職場改善に関する様々な取り組みは、外部機関から高い評価を得を得ました。以下にその一部を紹介します。

- 中国 51Job 社の「100 Best Human Resource Management Companies」(人事管理の上位 100 社) (4 年連続)
- 中国 51Job 社の「Best Employee Development Plan Company」(従業員能力開発計画の上位企業)
- ワーク・ライフ・バランス推進同盟の「ワーク・ライフ・シール・オブ・ディスティンクション」(4 年連続)
- Careers and the disABLED (障害者雇用推進団体) の「Top 50 Employers for People with Disabilities」(障害のある労働者にとって望ましい上位 50 社の雇用企業)
- CareerBliss の「全米で最も幸せな会社 50 社」(合計で 4 回目)
- Clevis Research 社は TI ドイツ法人を、インターンにとって魅力的な雇用主の「隠れた王者」と表現
- Forbes 社の「America's Best Employers」(米国で最善の雇用主) (同賞は今年初めて制定)
- フォーチュン誌の「世界で最も賞賛される企業」(12 年連続)
- 米国の Human Rights Campaign (ヒューマン・ライツ・キャンペーン) は、LGBT 労働力に対する機会均等を実現する Corporate Equality Index (会社別機会均等インデックス) レーティングに当社を掲載 (12 年連続)
- マイノリティ・エンジニア誌の「トップ 50 社」(4 年連続)
- 全米女性企業家協会の「女性重役に最も適した米国企業」(10 年連続)
- Philippine Economic Zone Authority (フィリピン経済地域機関) の Outstanding Employer Award (傑出した雇用主賞)
- Professional Woman's Magazine (職業女性雑誌) の「LGBT に好意的な雇用主」の「Best of the Best」(最上位) リストに掲載

■ 従業員

- 概要

- 人材

- 雇用の継続

- 給与と福利厚生

- 健康

- 仕事と生活のバランス

- 安全

- 能力開発

- 多様性

製品

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

- Universum Global (ユニバーシウム・グローバル) 社の「Most Attractive Employer in Malaysia」(マレーシアで最も魅力的な雇用主)
- Workforce Management (労働力管理) の人事部門に関する「Workforce 100」(労働者にとっての上位 100 社)

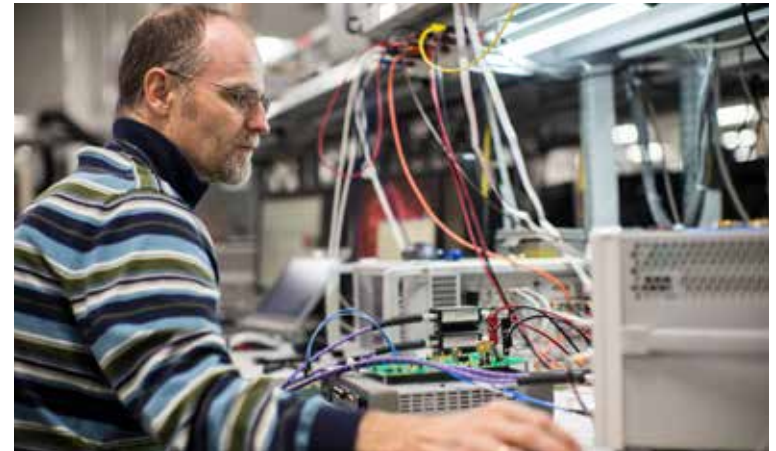
採用活動

エンジニアリングは TI の生命線です。有能なエンジニアを採用することは現在、そして将来の TI の事業にとって非常に重要です。TI は大学と積極的に連携するとともに、TI の拠点がある地域の教育を支援し、将来のエンジニアを育てる活動を支援しています。

2015 年には、米国の 50 以上の大学と全世界の TI の主要拠点に近接する大学の学生にアプローチしました。私たちはいかにしてエンジニアリングで世界を変えるのか、など技術的な対話を持ち、TI イノベーション・デイを主催して学生たちに TI と対話する機会を提供し、キャリア・トレーニング・プログラムを立ち上げました。2015 年に、TI は社内のグローバル・インターンシップ・プログラムを 25% 近く拡大し、特に科学、技術、工学、および数学 (STEM) 分野に属する世界中のより多くの学生に、TI で職業経験を積む機会を提供しました。

米国では、米国黒人技術者協会 (NSBE)、Society of Women Engineers、Society of Hispanic Engineers、Professional Engineers、RecruitMilitary、Career Opportunities for Students with Disabilities、Out for Work などの全国的組織と連携し、歴史的に不利な環境にあるグループへの働きかけを強化しました。

2015 年に TI は世界中の全職種で合計で 3,000 人以上の従業員を雇用しました。この中には、約 1,000 人のインターンが含まれています。[LA1]



TI の雇用慣行については、TI の [キャリア](#) Web サイトをご覧ください。

今後の計画

2016 年の計画は以下のとおりです。

- 引き続き、世界各地で工学系の人材を積極的に採用します。
- 全世界でインターンシップ・プログラムを拡大します。
- 米国で、歴史的に不利な環境にある人々にむけた活動を強化します。

■ 従業員

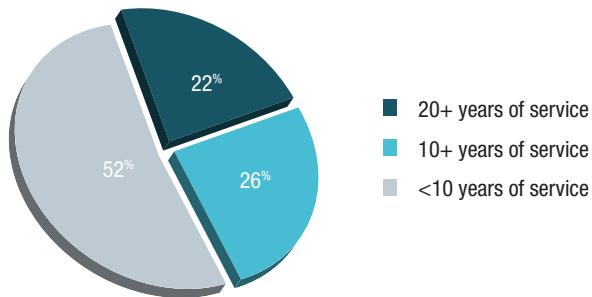
- 概要
- 人材
- 雇用の継続
- 給与と福利厚生
- 健康
- 仕事と生活のバランス
- 安全
- 能力開発
- 多様性

雇用の継続

TI の文化を形作るのは、ここで働く社員たちです。私たちは、イノベーションや成長を促し、成功を認め、多様で誰でも受け入れる職場環境、従業員がいつまでも働きたいと思える職場を目指して尽力しています。全世界の TI 従業員の平均勤務年数は 12 年です。これは、米国労働統計局発表の全米平均を 7 年以上上回っています。

[TI-LA17]

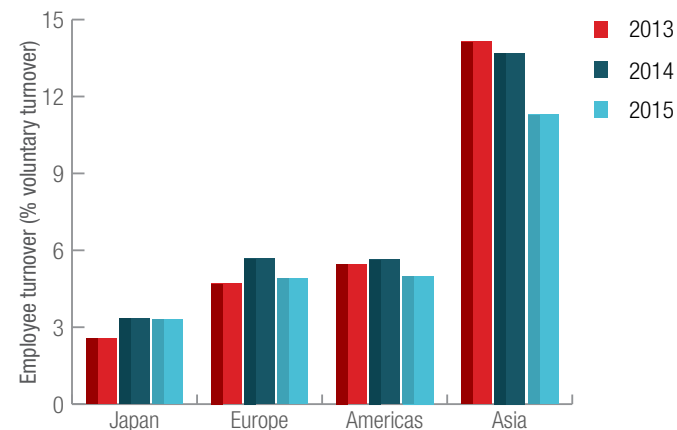
勤務年数



TI は、従業員と会社とのより良い関係づくりに向けた活動、継続的な能力開発機会、魅力的な報酬と福利厚生制度、安全で健康な労働環境整備により、従業員の雇用を維持し、離職を最小限に抑えています。TI の 2015 年の全世界の離職率は 7.8% でした (2014 年の 9.2% から減少)。この離職の指標には TI の従業員の自主的な退職と定年退職は含まれますが、インターンの退職は含まれません。[LA1]



従業員の離職



目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
- 健康
- 仕事と生活のバランス
- 安全
- 能力開発
- 多様性

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

従業員

私たちは、従業員が居住したり勤務したりしている地域のビジネス的、個人的、地理的側面を考慮して、改善に取り組んでいます。従業員の離職は半導体業界全体、特にアジアで課題になっています。アジア地域での離職問題に取り組むために、TI はマネージャに対し、継続的に「再採用」スキルを開発し、現在の従業員が成果達成と成長を実現できる環境を構築するためのトレーニングを提供しています。

私たちは、従業員の定着率を継続的に改善し、問題が生じた際にうまく対処できるよう、地域ごとおよび職位ごとの定着率と勤続年数を分析していく予定です。

給与と福利厚生

TI は世界の優れた人材を採用し、勤続を促す手段として、他社と比較し、魅力的な報酬を提供しています。私たちが提供している給与と福利厚生は、現地の法令の規定を超えているか、もしくは規定を満たしています。TI が提供することがある福利厚生の例として、利益配当、有給休暇、医療保険、退職金制度、社員持株制度、通勤手当、託児費用の割引、教育支援、フィットネス・センターの割引があります。

TI はすべての国で標準的な入社時賃金を維持しているわけではありませんが、操業するすべての国で現地の最低賃金を超える金額を従業員に支払っていることを確認済みです。[EC5]

TI は、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、業務に関連する正当な要因に基づいて各従業員に報酬を支払っています。[LA13]

米国正社員と非正規の勤務スケジュールで勤務する従業員（週 20 ～ 39 時間）は、医療、処方薬、歯科、眼科、従業員援助、所得補償を含む、すべての給付の受給資格があります。インターンや、週 20 時間未満勤務の従業員には、大部分の福利厚生の受給資格がありません。[LA2]

今後の計画

2016 年も、競争力のある報酬と包括的な福利厚生を引き続き提供する予定です。

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
- **健康**
- **仕事と生活のバランス**
- 安全
- 能力開発
- 多様性

健康

TI の福利厚生には、医療保険と生命保険、または補助的な保険プログラム、さらには各地で一般的に設定されているプログラムが含まれています。

TI は 2015 年も引き続き、米国内の従業員向けに集団検診と、健康および福利厚生に関する情報提供を行い、医療コストの低減と従業員の福利厚生改善に努めました。予防措置として、合計ほぼ 4,600 人の従業員、配偶者、扶養家族に対して現場でのインフルエンザの予防接種を無償で実施しました。

2015 年も体重管理プログラムとの連携を継続し、地元または一部の TI 拠点で開催されるミーティングなどに参加するか、オンライン・マイペース・プログラムを使用するオプションを、従業員とその配偶者に割引価格で提供しました。また、米国内のさまざまな場所で、オンサイトのフィットネス・センターを継続して提供しました。

今後の計画

2016 年、TI は以下の内容を実施します。

- 自宅近くの医療機関におけるインフルエンザの予防注射など、事前予防型の接種を従業員が無料で利用できるようにします。
- 従業員向けに関連情報とリソースを提供することで、従業員の健康と福利厚生の上向上に引き続き投資します。

仕事と生活のバランス

プライベートと業務とのバランスを上手く保つことは難しい場合もあります。TI は従業員を支援するプログラムと様々なリソースを提供しています。

2015 年に提供したプログラムには、遠隔地の従業員用のプログラム、出産したばかりの女性従業員に対するサポート、養子縁組の支援、保育施設へのアクセス、保護者教育のコースなどがあります。また、施設内でコンシェルジュ・サービスを引き続き提供し、米国の従業員向けにイベントの計画、プレゼントの購入、予約など個人的なイベントのサポートも行いました。このサービスによって 7,279 件以上の従業員からの要望に応えました。

さらに、職務上適切な従業員の在宅勤務を引き続き許可していますが、その比率は世界全体の従業員のおよそ半数に達しています。

今後の計画

2016 年に、リーダーと従業員のワーク・ライフ・イニシアティブおよびフレキシブルな労働オプションに関する啓発を行い、それらの利点とツールを利用することを従業員に引き続き奨励します。米国の従業員向けに、より広範な家族支援プログラムを実施する予定です。この中には、プログラムの適用対象の拡大や、有給の出産休暇の追加が含まれています。

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
- **安全**
- 能力開発
- 多様性

安全

私たちにとって、従業員の安全は最優先事項です。TI は日常的な安全プログラム、施設の自己評価、安全監査を通して、従業員の安全性に関する潜在的なリスクを継続的に評価し、修正と改善を行っています。また、監査委員会は、TI の従業員と TI の拠点への訪問者の安全性に関連する監督を実施しています。2015 年には世界中のすべての製造拠点とアSEMBリ/テスト拠点で、Occupational Health and Safety Assessment 規格の認定を受けました (BS OHSAS 18001:2007)。

TI のすべての製造拠点には正式な環境、安全、健康 (ESH) 委員会が設置されています。委員会は製造部門のマネージャ、ESH スペシャリスト、従業員の代表で構成されています。[LA5]

2015 年に、TI は Safety Cardinal Rules (安全基本原則) を導入しました。これらの原則は、TI の取り組みと整合するように工場のさまざまな場所に掲示されており、重要な安全性が事業所でどのように実現されているかを約 18,000 人の製造担当従業員に周知しています。

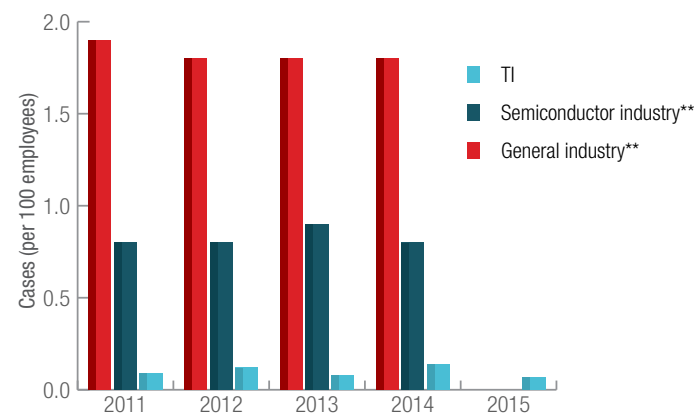
Safety Cardinal Rules (安全基本原則)

- 安全でない慣行や条件は、修正もしくは報告されます。
- あらゆる負傷、不適切、ニアミスは直ちに報告されます。
- 安全に行動し、手順を遵守し、必須の人的防護機器を装着します。
- 安全システムや機械防護システムの回避は認められません。
- 自分がトレーニングを受けた業務のみを遂行します。

さらに、TI は作業環境を継続的に改善するための投資を行いました。たとえば、TI の **South Campus 変革プロジェクト** には、4,200 人の従業員全員のために、モーターを搭載した高さ調整可能なデスクと、調整可能なモニター・アームを購入および設置する活動が含まれています。さらに、新しいラボにはエルゴノミクス対応の業務チェアを設置しました。

すべての従業員のために、負傷が発生しない職場を作り出すために尽力しています。2015 年は、安全性の実績の点で模範的な年でした。2015 年には、休業、仕事の制限、または仕事の移管 (DART) 事例の発生率の目標を 0.07 に設定しました。これは 2014 年の業界平均の 0.8 を大幅に下回ります。

DART の事例*



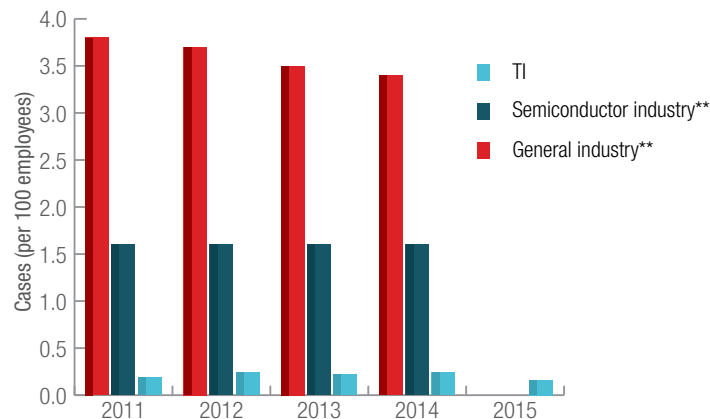
*Work-related injury (rate per 100 employee years) that results in days away from work, restricted work activity and/or job transfer.

**Industry data provided by the U.S. Occupational Safety and Health Administration (OSHA) and the U.S. Bureau of Labor Statistics (BLS). Statistics represent U.S. performance only. Semiconductor and general industry data for 2015 were not available during report development.

2015 年は、勤務中の要記録負傷率の目標を 0.20 に設定しましたが、年間を通じてこの数値より良好な 0.16 という比率を達成しました。これは、2014 年の半導体業界の発生率である 1.6 を下回る値でした。

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
- **安全**
- 能力開発
- 多様性

要記録事例*



*Work-related injury (rate per 100 employee-years) that results in DART, medical treatment beyond first aid, loss of consciousness, death or significant injury diagnosed by a physician or licensed health care professional, as defined by OSHA.

**Industry data provided by OSHA and BLS. Statistics represent U.S. performance only. Semiconductor and general industry data for 2015 were not available during report development.

TI では、業務上の怪我や病気による従業員の欠勤をモニターしています。TI の従業員欠勤率は、年間を通じて従業員 100 人あたり 2.4 日の損失でした (2014 年の 4.65 より減少)。業務に関連した死亡事故は発生しませんでした。[LA6]

今後の計画

2016 年は引き続き、業務に関連する負傷を最小限に抑え、従業員の安全性と健康に関する複数のプログラムをより適切に統合し、DART 事例の発生率目標を 0.08 に、また要記録の負傷事例発生率を 0.20 以下に設定して業務を進めます。

フィーチャード・スチーリー

もっとも安全な職場

TI は半導体業界で最善の安全性記録を達成しており、2015 年は自社の履歴で安全性に関するもっとも良い記録を実現しました。ただし、安全性に関しては、単純に上位企業の 1 社であるというだけでは不十分です。

「我々の目指すところは、毎日の業務終了時刻に、すべての従業員が無事に、怪我なく帰宅できることです。」と、環境、安全、健康担当副社長の Patrice Tompkins-Everidge (パトリス・トンプキンス・エブリッジ) は語ります。「私たちは常に安全性の重要性と、負傷のリスクを低減する方法に注目しています。」

RFAB (アールファブ)、つまりテキサス州リチャードソンにあるウェファァー製造工場では、一般的な業務における負傷のリスクを識別するために、安全性について啓発する、実践的なアプローチに特に注目しています。安全性に関する標準的な手順とトレーニングを義務付けることに加えて、業務に携わる技術者とエンジニアに対し、業務上の慣行を他者と共有するように依頼しています。次いで、TI はあらゆるリスクをさらに低減する目的で、最適化された手順を採用しています。

「私たちは、従業員の業務において、負傷につながる可能性のあるものを把握すべきと考えています。『これぐらい問題なく取り扱える』という考え方を改める必要があります。」と、RFAB で環境、安全、健康のマネージャを務める Jason McLaughlin (ジェイソン・マクローリン) は語ります。「そのために、ひとり一人への働きかけをしています。私たちは、『持ち上げなければならない、最も重い物は何ですか』、または『物を持ち上げるときに最もつらい姿勢は』といった質問をします。

懸念事項となる業務を識別した後、チームはそれら業務に関連するリスクの評価とランク付けを行い、解決策を策定、実行します。安全性のリスク管理に、より明白に従業員の関わりを求めるようになった 2012 年以来、製造機器に対するエルゴノミクス対応の改良を含め、RFAB では負傷のリスクを低減するために約 200 万ドルを投資してきました。世界中の他の工場にも RFAB のアプローチを展開し、安全性に関する記録をベストの状態で維持しています。

従業員

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 安全
- 能力開発
- 多様性

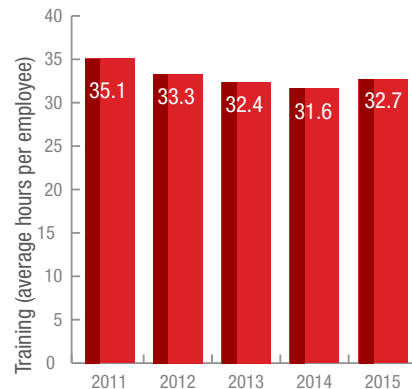
育成

TI はすべての従業員に、魅力的でキャリアにプラスとなる機会を提供するよう尽力しています。経験の浅い従業員には、[ローテーション](#)プログラムや「[Make an Impact](#)」プログラムなどの体系化されたプログラムを通して、TI、TIの職務、やリーダーに幅広く触れられる機会を提供しています。このプログラムによって、当社の幅広い製品ラインアップや自由な内部異動の文化に触れることで、さまざまなテクノロジーを扱う機会や多様なキャリア進路を選択する機会を従業員に提供します。

2015 年は、全世界で従業員に平均 32.7 時間のトレーニングを実施しました。[LA9]

TI は教育支援プログラムを通じて受講料を償還し、400 人を超える全世界の従業員のさらなる学習を支援しました。[LA10]

平均トレーニング時間



TI は従業員とマネージャに、業績と能力開発について定期的に話し合うことを奨励しています。私たちは、従業員の業績、仕事や会社とのつながりを改善し、従業員の目標と会社の優先事項とを一致させるためには、勤務評価よりも質の高い対話が重要と考えています。

2015 年、TI は世界的な成果管理キャンペーン「パフォーマンス・マターズ」を開始しました。このキャンペーンの目的は、質の高い対話に対する期待を高め、従業員とマネージャにそのような対話をガイドするツールを引き続き提供することでした。このように、TI は勤務評価を正式に受けている従業員の数を記録しているのではなく、年間を通してさまざまな調査を行い、従業員が自身の目標と上司の期待内容を理解しているか注視しています。[LA11]

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 安全
- **能力開発**
- 多様性

製品

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

エンジニアの能力開発

また、TI はエンジニアがキャリア全般を通じて継続的に能力開発できるようにテクニカル・トレーニングも提供しています。エンジニアの基礎的なスキルや、変化するニーズへの対応力を高められるよう、2015 年には世界各地で 1,600 以上のテクニカル・トレーニング・クラス、カンファレンス、セミナーを開催しました。

さらに、2015 年は企業規模の Technical Leadership Conference (技術リーダーシップ会議) を初めて開催し、世界中から 400 人以上のエンジニアが参加しました。注目したのは、エンジニアリングに関するベスト・プラクティスを共有し、最近の技術的進歩を学ぶことでした。

また、TI のテクニカル・リーダーへ 464 人の従業員を昇進または再選出しました。このプログラムは、技術または生産に関し重要な貢献をした従業員を高く評価するものです。

リーダーシップ

TI はリーダーの育成に取り組んでいます。2015 年は、新しい LEADERSHIPmatters Training 1.0 (リーダーシップの重要事項トレーニング 1.0) プログラムを導入しました。これは、新任の上司や管理者が、リーダーに対する会社の期待を理解し、重要なポリシーと手順を学んで、リーダーシップにとって不可欠なスキルを構築するのに役立ちます。この必須プログラムを通じて、これらの管理職従業員はチームを効果的に形成および主導する方法を学びます。その中には、違いと多様性を管理する方法や、業務を効果的に遂行する方法も含まれています。480 人以上の管理者と上司がこのプログラムに参加しました。

また、HR Basics (HR の基礎) も導入しました。これは、TI の管理者と上司にとって必須のコンプライアンス関連トレーニングであり、会社のポリシーや該当の労働法令に関する知識と理解を確実に習得できます。TI が重点的に操業している 5 つの国で 3,000 人以上の管理者がこのトレーニングを完了しました。このトレーニングは特に、世界的な雇用機会均等に関する TI のポリシー、労働時間、労働条件を取り上げています。

今後の計画

2016 年は引き続き、会社の成長と持続可能性を推進するイニシアティブに重点を置きます。以下の内容を実施します。

- 講義やオンライン・トレーニング、社内カンファレンスやシンポジウムを通してエンジニアリングと職務の能力開発プログラムを引き続き拡充します。
- リーダーシップ育成プログラムに「LEADERSHIPmatters Training 2.0」(リーダーシップの重要事項トレーニング 2.0) を追加します。このプログラムでは、他のマネージャを管理する職務に新しく昇進した従業員にトレーニングを実施します。
- 残りの国すべてに HR Basics (HR の基礎) トレーニングを導入します。

■ 従業員

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 安全
- 能力開発
- 多様性

多様性

多様で開かれた職場を育むことは、創造性、問題解決、そして究極的にはイノベーションに欠かせないものです。TIは、多様性をもった職場を作ることと同様に、採用においても多様な候補者を集めることを重視しています。詳細については、「[人材](#)」をご覧ください。

上級リーダーは多様性に富み、だれもが働きやすい職場づくりを推進しており、従業員にも同様の姿勢を期待しています。TIの多様性と包括性への取り組みの詳細については、TIの[多様性と包括性のe-book\(電子書籍\)](#)をご覧ください。この書籍では、TIの多様性と包括性のためのコミットメント、イニシアティブ、評価を取り上げています。



2015年に、TIを退社した Joe Hubach (ジョー・ヒューバック) に代わり、Cynthia Trochu (シンシア・トロシュ) が総務、法務、最高法令順守責任者兼任の上級副社長に任命されました。この新しい職位で、シンシアは会社のポリシーの策定、事業戦略の諮問、TIの世界的な法令順守の検証に関する統合を推進する役割を担います。さらに、シンシアはTIの Management Committee (経営委員会) に加入しました。



ガバナンス組織の構成

従業員区分	2014	2015
	執行役員 (%)	
男性	80	70
女性	20	30
年齢: 30 ~ 50 歳	20	30
年齢: 50 歳超	80	70
マイノリティ		10

[LA12]

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

■ 従業員

- 概要
- 人材
- 雇用の継続
 - 給与と福利厚生
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 安全
- 能力開発
- 多様性

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

Engineering Workforce Commission (エンジニアリング労働力諮問委員会)によると、2014年の時点で約23,000人の従業員は米国の大学から電気工学の学位を授与されていました。この中には、学士号、修士号、博士号が含まれています。そのうち4.2%は黒人学生、5.9%はヒスパニックの学生、15.9%は女性に授与されていました。最近10年にわたって、全体の数、および人口学的な分類は本質的に変化していません。2015年に、TIは**教育プログラムへの投資**を行い、より多くの若い女性や不利な環境にあるマイノリティの学生が、科学、技術、工学、および数学 (STEM) の経歴を積み、上位の教育機関に進学した際に工学に対応する体制が確実に整うように支援を進めました。

私たちは、雇用、育成、雇用継続の取り組みを通して、米国における性別とマイノリティの多様性を改善しようと常に努めています。TIは上級リーダーとともに進捗状況を定期的に確認しています。私たちは差別に関する業務上の問い合わせや問題点を真剣に受け止めており、それらを調査し必要に応じて措置を講じるよう努めています。[HR3]

2015年に、TIは新しく昇格した管理者を対象としたLEADER-SHIPmatters Training 1.0 (リーダーシップの重要事項トレーニング 1.0) に、違いと多様性を適切に扱うためのトレーニングを含めました。また、上級リーダーを対象にしたワークショップを開催し、開かれた職場を構築する方法を説明しました。

今後の計画

2016年、TIは以下の内容を実施します。

- より多くの若い女性や不利な環境にあるマイノリティの学生が、工学の経歴を積みことができるように、教育プログラムに引き続き投資します。
- 米国内の女性、退役軍人、障がい者、不利な環境にあるマイノリティ、LGBTに対して、採用に応募するよう働きかける活動を増やします。
- リーダーに対して、開かれた職場を構築する方法をさらに教育します。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

■ 製品

- 概要

- イノベーション

- 製品ラインアップ

- 品質と信頼性

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

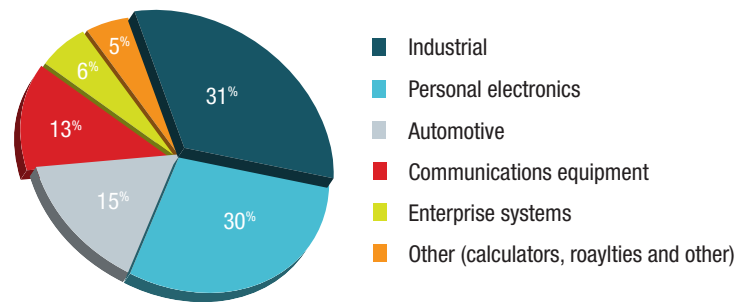
ご注意

概要

TI は、地球規模の社会的また環境的な課題の解決に貢献できるように、**責任ある製品の設計と製造**を行う意図しています。TI のリーダーは会社全体に非常に優れた製品を設計、開発、供給するよう指示し、それが実現することを期待しています。

研究開発分野における TI の 2015 年の投資は、12.8 億ドルでした。TI の主な研究開発分野はアナログと組み込みプロセッシング製品であり、特に重要な項目は、エネルギー消費の低減、健康管理、安全と教育に関する取り組みを支援することです。TI は世界中のお客様に対して多彩なテクノロジーを提供しています。詳細については、TI の Web サイトで [TI の製品](#)をご覧ください。

TI 製品の市場*



*Estimated percentage of our 2015 revenue that the market represented.

[G4-8]



目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

- 概要

- イノベーション

- 製品ラインアップ

- 品質と信頼性

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

革新

TI は、イノベーションを従業員のひらめきの成果ととらえ、開放的な文化、適切な設備の整ったラボと職場、新しいアイデアを育むサポートとリソースがこのような成果を実現すると考えています。

革新をもたらす文化

革新は、1930 年の創業以来、TI の存在意義の中心にあります。革新に対して TI がどれほど真剣に取り組んでいるのかは、TI の従業員、製品、TI が保有する約 42,000 件の特許によって体现されています。そのうち約 1,000 件は、2015 年だけで許諾されたものです。

従業員は先見の明を持ち、大きな変革をもたらすとともに、継続的に問題を解決し、変化と差別化をもたらす製品を作り出して世界の変革に寄与しています。次世代のスマート自動車やスマート・ファクトリの実現から、効率的な電源ソリューションの製作まで、工学分野の力でより良い明日を築くために、TI は常に業務を進めています。

TI は、あらゆる部門のあらゆる従業員に、革新を期待しています。サポート組織におけるプロセス革新から、研究開発ラボでの技術的なブレークスルーや、事業部における継続的な進歩まで、世界中にいる従業員はお客様の問題を解決するために継続的に働き、TI 製品の小型化、スマート化、効率化を進めています。

TI は、世界中の TI 従業員のひらめきを促す目的で設計されたシグネチャ・プログラムを通じて、事業部内および全社規模で年間を通じて革新を奨励しています。



Innovation Days (革新の日)

アナログや組み込みプロセッシング、営業とマーケティングまで、世界中にある TI の事業部は年間にわたる各種イベントを通じて、従業員が協力と革新を進める機会を提供しています。これらの Innovation Days (革新の日) は、数十件に上る新規プロジェクト、プロセス、アイデアがひらめききっかけとなり、時間と費用の節約、生産性の改善、重要な技術的革新につながっています。2015 年の Analog Innovation Days (アナログ革新の日) には 26 件のアイデアが発表され、そのうち 3 件に対して資金が提供されて実際の製品化を待っている段階です。他の 5 件は 2016 年または 2017 年早期に量産される予定です。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

■ 製品

- 概要

- **イノベーション**

- 製品ラインアップ

- 品質と信頼性

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

Jack Kilby Day (ジャック・キルビーの日)

革新は、私たちが現在実現しているものだけではありません。すでに確立され、私たちが祝うものもあります。毎年、世界中にいる数千人の従業員は、Jack Kilby Day (ジャック・キルビーの日) に TI の革新を象徴する業績を祝います。1958 年 9 月 12 日もしくはその前後に、TI 従業員であった Jack Kilby (ジャック・キルビー) は世界初の集積回路 (IC) を公開しました。TI は、この発明が現在および将来の世界を作り上げることに貢献したことを誇りにしています。世界中にある 28 の拠点で、7,000 人以上の TI 従業員が 2015 年の Jack Kilby Day (ジャック・キルビーの日) に参加しました。

2015 年に、TI は 5 人の「**Modern Day Jacks**」(現代版ジャック・キルビー) を発表しました。これは、Jack Kilby の革新的な製品を具体化した現在の TI 従業員のことです。これらの TI 従業員は、以下のような功績を残しました。エレクトロニクス製品に適した、より小型でより効率的な電源の製作。これまで目にしたことのない手法によるセンサの活用。コードの平易化とアクセス性向上。車両の周辺で起こっているすべての動作の可視化。工場の作業場と、暖房、通気、エアコン (HVAC) システムを想定した、迅速で高精度な測定を行う製品の開発。



DIY with TI (TI 製品を活用した DIY)

イノベーションは職場にとどまりません。TI の従業員課題解決のため、または人生をもっと楽しいものにするために、家庭では TI 製部品を使用した Do It Yourself (DIY、日曜大工) を行い革新につながっています。数百人の TI 従業員は 2015 年に、テキサス州ダラスとインドのバンガロールで実施された DIY with TI イベントで、創造性に富んだ数十件の革新を発表しました。その中には、ツイート機能付きのポップコーン製造機やデジタル接続型の肉燻製器から、テキサスの暑い太陽光線による「Chili-Gation」(エネルギー・ハーベストによる電力供給) を活用してチリ・ペッパーを成長させる目的で設計された灌漑システムまで、さまざまな機器が公開されました。これらの DIY イベントは、TI 従業員が学び合い、互いに協力し、同僚の発明からひらめきを得る機会を提供します。

意識向上

TI は、革新と協力を推進するために、多様なフォーラムを提供しています。たとえば、TI の **Technical Leadership Conference** (技術リーダーシップ会議) は、エンジニアが会合に参加し、ベスト・プラクティスを共有する機会を提供します。2015 年に、TI は会社のブログで革新について取り上げた**興味深い一連のストーリー**を掲載し、社内と社外で革新に関する意識向上を引き続き促しました。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

■ 製品

- 概要

- **イノベーション**

- 製品ラインアップ

- 品質と信頼性

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意



表彰

TI は、従業員による革新をいくつかの方法で表彰しています。その中には、テクニカル・リーダーへの昇進、特定の事業部内での革新に対する授賞、社内で最上位に位置する技術的革新に対する毎年の表彰である Jack Kilby Award of Innovation (革新に対するジャック・キルビー賞) が含まれています。

名誉あるテクニカル・リーダーは、会社への最も強力な技術的貢献を表します。タイトルホルダーは、組織の目標達成に寄与するリーダーシップ、革新、構想の実証に基づいて互選されます。テクニカル・リーダーは進歩型のリーダーシップを発揮し、TI の技術的方向性に対する優れた影響力を体現します。

毎年末には Innovation Ceremony (革新祝賀会) を開催し、新規選出および再選出されたテクニカル・リーダー・フェローと、その年で最大の画期的な革新を成し遂げた Jack Kilby Award of Innovation (革新に対するジャック・キルビー賞) の複数の勝者を表彰します。昨年 12 月に、2015 年の優勝チームとプロジェクトを発表しました。この製品は、2016 年後期に市販される予定です。

テクノロジー・ラボ

TI には、画期的な革新のみを目的とした、専用の **Kilby Labs** (キルビー・ラボ) があります。革新をもたらす選抜されたグループをスタッフとしたキルビー・ラボは、2011 年以来、34 のプロジェクトを各事業部に転移しました。

キルビー・ラボで開発される製品は、技術的に実現可能で、市場ニーズに対応し、ビジネスとして魅力的な投資利益率を達成する必要があります。キルビー・ラボの研究者は、上級技術者とマーケティング部門および各事業部のリーダーと協力して、将来的ニーズに合わせる新しいプロジェクトを提案し、同意を得ています。キルビー・ラボは、最初の製品設計から場合によっては製品の発売に至るまで、各プロジェクトを継続的にサポートします。2015 年には、キルビー・ラボの革新によって実現した多数の製品を発表しました。その

中には、連続時間方式 A/D コンバータや、マルチモード・スマート・センサ・アナログ・フロント・エンドが含まれています。

キルビー・ラボは、本社のあるテキサス州ダラスのほか、カリフォルニア州サンタクララ、インドのバンガロール、イタリアのミラノに設置されています。

製造

私たちは製造プロセスのイノベーションも推進しています。たとえば、生産量と製造キャパシティの増加にも関わらず、2005 年以来、必要なエネルギー、取水量、製造する 1 チップあたりの排出量は 7% 以上 (平均) 減少しています。環境持続性を意図して U.S. Green Building Council (米国グリーン・ビル諮問委員会) の規定する厳格な Leadership in Energy and Environmental Design (LEED、エネルギーと環境を意識したデザインのリーダーシップ) 規格に対し、TI は半導体業界の製造業者として初めてこれらの規格を満たす製造拠点をテキサスとフィリピンに建設し、TI がテクノロジーの将来を構築すると同時に、エネルギーや資源を節約していることが認定されました。

この節約の流れは、TI の生産テクノロジーの進展に依るところが大きくなっています。TI は 300mm ウェハー・サイズの製造に移行した最初のアナログ企業であり、2015 年にはこのウェハー・サイズの製造を増やしました。このウェハーの製造では必要な化学物質とガスが減り、水と電気を効率的に使用してチップを増産できます。

パッケージ

2015 年に TI はパッケージ開発ラボを開設しました。これは、状況を大きく変えるパッケージの革新を開始およびテストするための領域であり、TI を競合他社から差別化するのに役立ちます。このラボでは、革新に取り組む従業員が会社のさまざまな拠点から新しいアイデアをテストできます。性能や信頼性を犠牲にせず、パッケージを小型化するために、従業員の意思でアセンブリ/テスト・サイトのリソースを活用できます。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

- 概要

- イノベーション

- 製品ラインアップ

- 品質と信頼性

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

社外リサーチ・パートナーシップ

TI は最上位の工学系大学と密接に協力して作業を進め、研究のサポート、ガイダンス、資金供給を行っています。この中には、私たちの住む世界を改善する半導体プロジェクトへの協力を得るために、工学系博士号を取得した学生に機会を提供することも含まれています。大学の研究に対する TI の寄与により、学生は業界に関する現実的な情報を入手し、学問的概念を製品へと転換する方法を学ぶことで、学問の発展につながります。

2015 年、TI は Semiconductor Research Consortium (SRC) を通じて大学での研究資金として 1,000 万ドルを提供しました。また、大学の研究を選定し、博士号取得レベルの研究に携わる学生が TI のインターンになるか TI とともに働くことに魅力を感じるようにするための直接的な資金供給にも 1,150 万ドルを提供しました。

TI は引き続き、テキサス大学ダラス校にある Texas Analog Center of Excellence (TxACE) を支援しました。TxACE は、教育機関を拠点にした最大の国際的アナログ研究センターで、社会と業界のニーズに応える回路とシステムの製造を目指しています。

今後の計画

2016 年、TI は以下の内容を実施します。

- 地球上で最も切迫した課題となっているエネルギー・ハーベストや気候変動から、安全性とセキュリティまで、画期的なイノベーションと累積的なイノベーションへの投資を引き続き行います。
- 大学で実施されている基礎研究や応用研究の資金援助のために、1,100 万ドル以上寄付します。
- アナログ・ソリューションやシステム・レベルのソリューションに適用される進歩を網羅する重点分野を含め、SRC を通じて追加の 1,000 万ドルを寄付し、大学の研究に資金を供給します。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

- 概要
- イノベーション
- 製品ラインアップ
- 品質と信頼性

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

製品ポートフォリオ

TI は最小限のエネルギーで動作するチップを設計することで、低消費電力ソリューションのリーダーとしての地位を確立しています。TI の低消費電力ソリューションにより、お客様はより効率的、独創的にエネルギーを使用する最終アプリケーションを作成できます。[EN7]

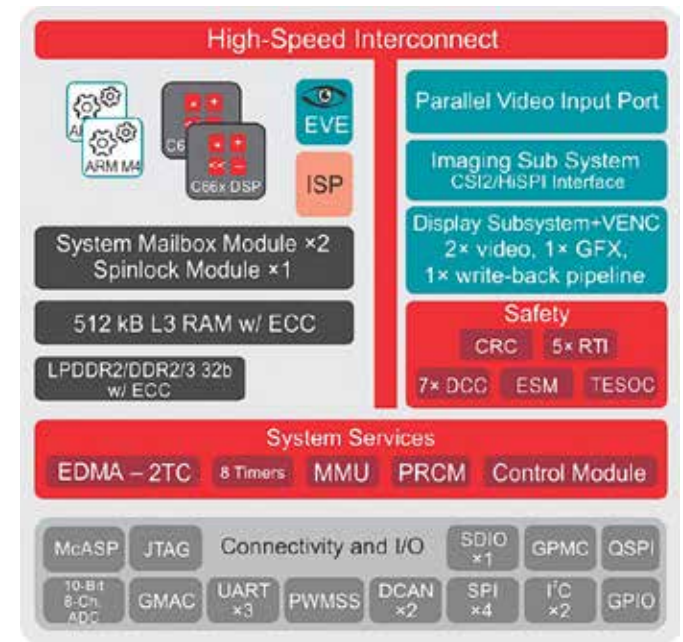
政府による、エネルギー効率の改善と再生可能エネルギーの活用に関する要求が引き続き高まると同時に、エネルギー効率の優れた製品を使用し排出を削減することが必須になると TI は予測しています。スマート・グリッドやその他の高効率製品への投資が増加し、エネルギー効率の優れた TI のテクノロジーに対する需要が増え続けます。[EC2]

2015 年に TI は、産業用、オートモーティブ、パワー・マネージメント、新技術という 4 つの主要分野において、革新的な新しいソリューションを発表しました。TI は各分野に貢献し、環境への影響を緩和するとともに、より質の高い生活に寄与しています。

産業

TI のテクノロジーを活用すると、より安全で、より効率的な工場を実現できます。電流と電力を検知し、管理することにより、システムの効率は向上し、障害を検出して保護機能を強化すると同時に、高精度のフィードバックとデータ・ロギングを実現して、性能を改善することにつながります。2015 年に、TI は高精度のセンシング素子を内蔵した、これまでにない電流測定デバイスとして [INA250](#) を発表しました。

試験/測定やファクトリ・オートメーションのような産業用アプリケーションでは、広い温度範囲にわたって高精度を達成する INA250 を活用して、システム・キャリブレーションの要件を緩和することができます。高精度という特性により、通常求められる公差を考慮した設計が不要になり、設計者はシステム内の電力効率とリソース利用率を向上させることができます。また、このデバイスを採用するとシステム・コストとボード・サイズが低減され、より多くのシステムに応用できるようになります。電流監視



この機能により、障害の発生した機械のシャットダウンを開始するようにシステムに警告を送信することができ、その結果、過熱や発火のような事態を防止できます。また、電流監視機能は電子システムのコントローラにフィードバックを提供することもできます。この動作は、自己誘導ロボットやラップトップ・コンピュータから電気自動車 (EV) まで、多様な製品でバッテリー寿命の延長に寄与します。

2015 年後半には、EDN.com の編集者や読者が選択した EDN Hot 100 製品リストの中で、INA250 はアナログ/センサ IC で特に優れた製品という評価を得ました。2016 年前半に、この製品は Electronic Products magazine (電子製品マガジン) の Product of the Year Award (年間製品賞) を受賞しました。

オートモーティブ

TI のテクノロジーにより、ドライバー、乗員、歩行者の全員にとって、より安全な運転操作が実現されます。世界中の政府が消費者に対して、より安全な自動車を購入することを推奨している状況で、自動車メーカーは米国の New Car Assessment Program (NCAP、新車アセスメント・プログラム) でより高いレーティングを継続的

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

■ 製品

- 概要

- イノベーション

- 製品ラインアップ

- 品質と信頼性

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

に獲得できる自動車をつくるために努力しています。2015年に、TIはオートモーティブ・システム・オン・チップ (SoC) ファミリの新しい製品、[TDA3x](#) プロセッサのサンプル出荷を開始しました。この製品は、NCAPの要件を満たすかそれを上回る、洗練された先進運転支援システム (ADAS) アプリケーションを自動車メーカーが開発することを支援するものです。路上での衝突事故を低減し、エントリ・レベルからミッド・レンジの自動車により自律的な運転操作を実現します。

TDA3x SoC は、TI の高集積およびスケラブルなオートモーティブ・プロセッサ・ファミリを進化させます。このプロセッサは、車線逸脱防止支援、アダプティブ (状況適応型) クルーズ・コントロール、道路標識認識、歩行者/障害物検知、前方衝突警報、後方巻き込み防止などの ADAS カスタム・アルゴリズムをサポートしています。これらのアルゴリズムは、フロント・カメラ、サラウンド・ビュー、フェュージョン、レーダー、スマート・リア・カメラなどの幅広い ADAS アプリケーションの有効活用に不可欠です。設計者は TDA3x プロセッサを使用して、歩行者や自転車を対象にした自律的な緊急ブレーキなど、コストに敏感な NCAP プログラムに対処する ADAS アプリケーションを開発することもできます。

2015年に、米国の自動車業界は TDAx SoC ファミリに2つの権威ある賞を授与しました。最初の賞は、Consumer Electronics Show (CES、コンシューマ・エレクトロニクス・ショー) に新しく導入された Safe Driving (安全運転) 製品カテゴリの Innovation Awards Honoree (革新賞の受賞者) です。INA250と同様、TDA3xも Electronic Products magazine (電子製品マガジン) の Product of the Year (年間製品) に選定されました。Electronic Products 誌の編集者である Jim Harrison (ジム・ハリソン) 氏は、このように語りました。「ADAS テクノロジーは、設計エンジニアに対していくつかの難しい課題を投げかけます。TDAx 独自の機能は、高度な安全性や、近い将来の自動運転自動車を実現するための手段になるでしょう。」

電源管理

エネルギー効率と消費低減を実現するテクノロジーは、TIの半導体もたらす多くの進化の核となるものです。この中には、TIの最新の GaN (窒化ガリウム) パワー・ソリューションも含まれています。これは、電力効率の優れたテクノロジーで、スイッチング電源やコンバータの用途では、シリコン・ベースの設計に比べて優れたレベルの性能と密度を実現します。

2015年に、TIは [LMG5200](#) をリリースしました。これは、80V、10A に対応し、GaN トランジスタとゲート・ドライバを統合した業界初の製品であり、スペースに制約のある産業用や通信用のアプリケーションで、電力密度や効率の向上の迅速化に寄与します。LMG5200の導入にあわせて、TIはよりエネルギー効率の優れた将来に向けて努力を続けています。世界全体でエネルギー効率をわずか1%向上させるだけで、およそ45基の石炭火力発電所を閉鎖することができるのです。

最新の革新により、設計者はワイヤレス充電デバイスからサーバー・ファームのように広い範囲にわたる電源ソリューション、さらに発光ダイオード (LED) アプリケーションにまで GaN の採用を進めることができます。TIは既存の製造インフラと製造能力を活用して、GaN をパワー・エレクトロニクスの分野に浸透させる努力を継続し、高輝度で高効率の将来への準備を整えています。

最新テクノロジー

TIは多くの最新テクノロジーに投資をしています。1つの例はEVです。EV (電気自動車) とハイブリッド・コンセプトの自動車は、自動車市場でますます人気を高めています。半導体テクノロジーの進歩は、この成長を実現するための大きな推進力になることが期待されています。たとえば、2015年に導入されたバッテリー・モニタ/プロテクタである [bq76pl445a-Q1](#) のような製品を活用するバッテリー管理テクノロジーにより、EVの充電1回あたりの航続距離を伸ばすことができます。このデバイスは、アクティブ/パッシブのバッテリー・セル監視テクノロジーを搭載しており、バッテリー・パック内にある各セルのバランスを保ち、失われるセル電圧の最小化に寄与することで、ドライバーが1回の充電で走行できる距離を長くします。

EVテクノロジーの進歩は、より多くの利点ももたらします。米国環境保護庁 (EPA) によると、ガソリンを燃料とする自動車は1年間に平均12,000マイル (19,308km) 走行し、ほぼ11,000ポンド (4,994トン) の二酸化炭素 (CO₂、温暖化ガス) を排出します。それに対し、EVは1年間に約5,300ポンド (2,406トン) のCO₂を実質的に排出します。EPAの推定によると、1人のドライバーがガソリン自動車からEVに切り替えた場合に環境に及ぼす影響は、約66本の苗木を植えて10年間にわたって成長したときの二酸化炭素吸収量に匹敵します。

- 概要
- イノベーション
- 製品ラインアップ
- 品質と信頼性

フィーチャード・ストーリー

音声出力機能付きの電卓は、視覚障がいのある生徒の障壁をなくします

Lillie Pennington (リリー・ペニンントン) は、米国オハイオ州シンシナティ出身で、成績の良い意欲的な高校生です。ペニンントンは複数の科目で Advanced Placement (アドバンスド・プレースメント、大学の内容を高校で履修する) クラスに出席していましたが、盲目であることが原因で高等数学のクラスで天分を生かせなくなる可能性がありました。そのクラスでは、グラフや他の視覚的表現が一般的に使用されるからです。

そこで、ペニンントンは自分の手を **Orion TI-84 Plus talking graphing calculator** (音声出力機能付きグラフ電卓) の上にかざします。ペニンントンをはじめ、視覚障害のある約 2,200 人の他の生徒は、音声、オーディオ、振動のフィードバックを活用して、高等数学や科学のコースで履修と上位の成績の獲得を続けることができます。

一般的な TI-84 Plus グラフ電卓の上にコンパクトなアクセサリを追加したこの電卓は、TI と、American Printing House for the Blind (APH、視覚障がい者のための米国印刷会社) および Orbit Research の協力によって製作されました。

「Orion TI-84 Plus 音声出力機能付き電卓で、私の人生は変わりました」とペニンントンは語ります。「この電卓を使うようになって、数学について間違いなく積極的に考えられるようになり、自信も高まりました。」

TI とパートナーは、この電卓の開発により、American Foundation for the Blind (米国視覚障がい者財団) から 2015 Access Award (2015 年アクセス賞) を授与されました。このような賞は、視力を失った人々が直面する不平等をなくしたり、または大幅に改善した個人、企業、または組織をたたえるものです。



TI とパートナーの協力により、グラフ電卓を上回る機能強化が達成されました。2015 年 9 月に、TI、APH、および Orbit Research は、Orion TI-30XS MultiView™ 音声出力機能付き関数電卓を発表しました。これは、だれでも購入できる世界初のマルチライン関数電卓です。一般的な TI-30XS MultiView™ 関数電卓をベースとしたこのデバイスは、視覚障がいのある生徒にとって、科学、技術、工学、および数学 (STEM) の教育で 1 つの画期的な革新がもたらされたことを意味します。

「TI にとって、今回の出来事は、障害をもった学生の壁を打ち破り、課題を克服して、すばらしいことをなすためのサポートができたということになります」と、North American business development for TI Education Technology (TI 教育テクノロジーの北米ビジネス開発) 担当ディレクターの Scott Sedberry (スコット・セドベリー) は語ります。「これらの革新により、視覚障がいのある生徒はクラスで競い合い、これまでは実現できなかった方法で優れた成績を残すことができます。」

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

- 概要
- イノベーション
- 製品ラインアップ
- 品質と信頼性

環境

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

品質と信頼性

私たちの製品と製造プロセスの品質と信頼性は、TI と TI のお客様にとって重要です。私たちは、社内および社外の製造プロセスと、一元化された原材料の購入、詳細な監視と作業の規制により、製品の品質を管理しています。継続的な改善に向けた TI の取り組みにより、お客様からの返品 (100 万個あたりの個数) は 7 年連続で減少しています。

2015 年は、お客様との関係づくりを強化することを重視しました。オートモーティブ分野で見られるような、複雑なアプリケーションを考慮し、TI はお客様への対応を強化しました。**quality and reliability** (品質と信頼性) に関する新しい Web ページがこれに該



当し、中国語、韓国語、ドイツ語の翻訳版が利用できます。これで、お客様は品質に関する情報に容易にアクセスできるようになりました。その中には、認証のステータス、使用している材質とパッケージ、信頼性に関する性能の詳細、環境に及ぼす影響が含まれています。[PR3]

お客様とのコミュニケーション・チャンネルを強化することに加えて、TI は製品の安全性もこれまで以上に重視するようになりました。TI 製品の安全性プロセスを摺合せするため

に、Product Safety (製品の安全性) 諮問チームを構成しました。この新しいチームは、会社の成長に寄与すると同時に、製品の安全性に関する規格と傾向を指示します。

品質

TI の競争力の 1 つは、大規模で冗長性のある製造施設です。また、



製品の高品質を実現する、プロセスの改善に注力しています。TI は、次世代の 300mm ウェハ製造能力を拡大しました。この中には、ツールの安定性が向上した自動化製造施設で量産を行うことが含まれます。このような変化は、製品品質の向上につながります。

また、各リージョンで、お客様により近いところで製品の性能分析を行うための投資も引き続き行っています。最近、中国の成都市にある最新の製造施設の中に信頼性ラボを設置し、お客様へのより迅速な回答とサポートが実現できるようになりました。アジア、欧州、米国ですでに稼動している専用の分析ラボに加えて追加されたこのラボは、移動や付加的な製品の輸送の最小化に寄与し、最終的には TI の炭素排出量削減に貢献します。

2015年に、TIは高電圧絶縁の検証をサポートするインフラに対して、より多くの投資を行いました。本社のあるテキサス州ダラスで新しい機器と追加のフロアスペースを確保したことも含まれています。このインフラにより、TIの新製品開発プロセス全体で、信頼性の実現を継続的に実施することができます。

原材料

効率的で責任ある製造へ向けた取り組みの一環として、TIは製品製造に、安全で効果的な原材料を使用するよう努めています。

TIは金配線から銅配線を使ったチップ製造への移行を主導しています。金は、高価なうえに、紛争と無関係な供給源を見つけることは困難です。一方、銅はコスト効率に優れて入手しやすく、他の製造上およびパフォーマンス上の利点があります。詳細については、[material sourcing](#) (材料の由来)をご覧ください。

化学薬品に関する規制は、TIのオペレーション、製品の成分、サプライチェーン管理に影響を及ぼします。その中には、欧州連合(EU)のREACH(化学物質の登録、評価、認可および制限)の高懸念物質リスト、有害物質の制限(RoHS)規則、米国カリフォルニア州のプロポジション65の有害化学物質リストが含まれます。2015年には、[perfluorooctylsulfonate](#) (パーフルオロオクタンスルホン酸、PFOS)を含め、REACH除外物質をあらゆる新製品から排除することに成功しました。これらの規則を満たすためのTIのアプローチの詳細については、TIの[REACHに関する声明](#)と[RoHSに関する声明](#)をご覧ください。

ポリ塩化ビニル(PVC)への高まる懸念により、米国議会でも、小売包装でのPVC使用禁止に関する話し合いが行われました。こ

のような懸念の拡大に対し、TIの教育用テクノロジー・ビジネスは、USBケーブルと小売包装でPVCの代わりに使用可能な代替物質についてサプライヤの調査を実施し、小売包装でのPVC使用廃止を計画しています。TIは2016年末までに、あらゆる教育用テクノロジーのパッケージからPVCプラスチックを取り除き、より安全でリサイクル可能な軽量のプラスチックであるポリエチレンテレフタレート(PET)で置き換えることを意図しています。

また、私たちが製造する各半導体の保護および接続を実現する材質に注目しているTIの半導体パッケージ・チームは、パッケージ性能の向上と環境への影響の低減をもたらす新しい材質の認証を2016年も引き続き注視します。

コンプライアンス

持続可能性に関する国内規格と国際規格への TI 製品の準拠については、TI の [environmental information](#) (環境情報) Web ページをご覧ください。記載されている情報では、世界的規制に準拠していること、および TI のお客様に対する規制物質と管理物質の使用が管理されていることが示されています。

規格

TI の品質管理には、製品、サポート、および製造組織が国際的に認められた規格に基づく規格や基準を満たすか、それらを上回るためのプロセスとシステムが組み込まれています。

2016 年に、米国エネルギー省 (DOE) の Energy Efficiency Level VI (エネルギー効率レベル VI) および EU の Code of Conduct Tier 2 (行動規範階層 2) という外部電源に関する 2 つの規則が有効になりますが、TI はこれらの規則に対処できるように 2015 年も製品ラインアップの拡大を続けました。これらの新しい規則では、より高い効率と、より小さいスタンバイ・モード消費電力が要求され、電話やタブレット用のウォール・チャージャ、またノート PC や TV に電力を供給する外部アダプタを含む幅広いコンシューマ製品に影響を及ぼします。TI は、現在と将来の業界規格に準拠できるように、フライバックと同期整流のコントローラをすでに開発しました。さらに、TI の教育用テクノロジー・ビジネスは、DOE のエネルギー効率規則を満たす USB 電源アダプタおよび交流 (AC) 電源アダプタという 2 つの製品を開発し、2016 年に量産を予定しています。

TI は該当の製品に適用される以下のような他の規格も認識し、それらに従っています。

- 国際電気標準会議 (IEC) の QC 080000 電気・電子製品が含有する有害物質プロセス・マネジメント・システム要求事項。
- 国際標準化機構 (ISO) の品質マネジメント・システム、ISO 9001 および ISO 14001。
- オートモーティブ業界向けの、国際品質システム規格 TS 16949。

TI は、コスト、環境、社会的責任、テクノロジー、応答度、供給の確実性、および品質 (CETRAQ) の評価を通じて、半導体製造サプライヤに TI と同じ環境的および社会的な責任を求めています。CETRAQ の詳細については、「[supplier performance management](#)」(サプライヤの実績管理) をご覧ください。

製品ライフ・サイクル管理

100,000 近くもの製品があると、1 つ 1 つライフ・サイクル評価を行うにはかなりのコストがかかります。[\(ライフ・サイクル評価の詳細については、TI シティズンシップ Web サイトをご覧ください\)](#)。

2015 年、TI のステークホルダーにとってのこの問題の重要性を受け、私たちは TI の代表的な半導体である「チップ」が、そのライフ・サイクルを通じて環境に及ぼす影響についての、社内の初期評価を更新しました。その中には、製造効率、製品の効率、究極的には最終アプリケーションにおける使用法が含まれています。また、初期の時点での原材料の供給に関する情報も追加しました。この作業の頂点に位置するのは、[Chip Story](#) (チップの物語) という 1 ページの情報グラフです。[EN27]

概要

TI は、毎年数十億個のチップを自社生産していること、お客様の期待に応えること、リスクを管理する能力を評価しています。一方競合

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

他社の多くは製造を外部委託しています。TI は世界中の TI の事業運営において責任ある原材料の調達と使用を行い、潜在的な環境への影響を誠実に管理します。私たちは、業務の効率化、品質とリスクの管理、準拠、および透明性を通して、持続可能なビジネスを目指しています。私たちは、適用される環境関連の法令と規制への100%の準拠を見込んでいます。また、目標および関連するプログラムを設定し、継続的な改善を目指します。

2015年に、TIは環境保護に関連する資本として約970万ドルを費やしました。その中には、ドイツのフライジングの工場（および世界各地にある他の施設）にある新しい化学薬品再生利用プロセス、マレーシアのクアラルンプールにある全般的な排出システムのアップグレード、フィリピンにおけるサイト廃水再生利用プロジェクトの導入が含まれています。また、TIはサイトの取り壊し、制御/監視システムの改良、改善のための費用、環境、安全、および健康（ESH）要員にかかる経費など、環境保護関連の営業費用として約3,740万ドルを投じました。TIは2015年、ESHに関わる重大な罰金を課されませんでした。[\[EN31\]](#) [\[EN29\]](#)

施策

TIの会長社長兼CEOが署名した [ESH ポリシーおよび原則](#) は、TIが持続可能な方法で事業を運営する指針となるものです。たとえば、製品を効率的に販売したり、従業員に相乗り出勤を推奨したり、環境規制の準拠要件を満たしたりすることがこれにあたります。

[Electronic Industry Citizenship Coalition \(EICC\)](#) 行動規範は、TIの環境管理ポリシーと一致しています。TIはEICCの正式なメンバーとして、工業界の他の企業と連携して、ベスト・プラクティスの遵守および導入を行い、弊社の一次サプライヤに対して同様の実施を促します。TIの環境ポリシーと弊社がサプライヤに期待する内容については、このレポートの「[サプライチェーン](#)」のセクションをご覧ください。

TIのすべての製造拠点は、エネルギーの利用、化学物質の削減、水の効率的利用を測定するスコアカードを使用して、環境実績を報告しています。スコアカードは、透明性確保とベスト・プラクティスに



関する意識向上のために社内でも共有され、説明責任を果たすために使用されます。

TIの強力なESH監査プログラムは、専任の社内監査チームが支援します。企業監査では、地域の法令と規定、およびTIのESH基準への準拠を検証します。監査は各施設で少なくとも3年に1回実施されます。監査のない年は、各施設が自己評価を実施します。2015年には、12の施設で社内監査チームが監査を実施しました。

また、米国半導体工業会、European Semiconductor Industry Association、および Semiconductor Manufacturing Technology コンソーシアムの活動を通し、同業他社と比較したベンチマークを測定しています。

私たちは1996年に、製造拠点で国際標準化機構（ISO）の質の高い環境マネジメント・システム（ISO 14001）認証の取得プロセスを開始しました。2015年に、TIのすべての国際製造施設（合計15箇所）はISO 14001:2004の外部認証を維持しました。詳細については、TIの[品質](#) Webサイトの[認証](#)に関するセクションをご覧ください。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

リスクと機会

TI の事業にとっての重要な課題は、特にアジアで、規制と要件の数が増加していることです。2015 年に、アジアでは ESH に関して適用される 46 件の新しい規制が登場しました。22 件は TI がなんらかの行動を起こす必要がありました。いくつかの行動は最小限でした（追加のレポートの作成など）が、それ以外は追加の投資（廃水処理システムの改修など）を必要とするものでした。

2016 およびそれ以降の TI の優先事項は、規制強化が見込まれる中国を含め、地元の法規制に準拠して事業を続けること、およびお客様の要望やお問い合わせに引き続き応えると同時に TI の工場に及ぼす影響を最小限に抑えることです。

ガバナンス

TI の全世界の施設 (WWF) を担当する副社長は、最高財務責任者の直属の部下で、当社の事業運営の環境ポリシーと実績を監督します。

2015 年に、WWF 担当の副社長への報告を行う、全世界の ESH を担当する副社長を選任しました。この女性副社長の責任は、世界全体の TI 従業員の安全性および健康を確保すると同時に、TI の各部門が事業実施国の環境法令に確実に従うようにすることです。

TI 取締役会の監査委員会の主な役割の 1 つは、TI の社内管理システム、法的要件と規制上の要件に対する準拠、TI の社内監査機能と独立監査人の成果の監督について、取締役会を支援することです。環境問題が TI にとって重要な意味を持つ事項については、その影響をレビューに含めることで、監査委員会が適切な決定を下し、監督責任を果たせるように支援します。

当社には、TI の事業運営の効率をさまざまな面から改善する、部門を超えたエキスパートで構成されたチームがあります。これらのチーム（温室効果ガス (GHG) 戦略チーム、エネルギー・チーム、および水戦略チーム）は、状況と進捗について WWF 担当リーダーに対して概要を定期的に報告します。



TI には、専用のコミュニティ電子メール・アドレスや匿名でも問い合わせできる TI のエシックス・オフィスなど、社内および社外のステークホルダーが環境に関する質問や懸念、苦情を連絡できる複数のチャネルがあります。受け取った質問は、専門の担当に送られ、内容の確認と適切な対応が実施されます。2015 年、TI には環境への影響に関する苦情はありませんでした。また、未解決の苦情もありませんでした。[EN34]

複数年の目標

2015 年末には、2010 年に開始された持続可能性に関する TI の複数の目標に関する総括を行いました。半導体チップの設計、販売、製造に必要な **エネルギー使用量**、**水使用量**、および **GHG 排出量** を低減することを目的として、このような 3 つの意欲的な目標を設定していました。

これらの目標を達成するための取り組みに影響を与えた、大きな変化がありました。2010 年から 2015 年の間に、TI が 3 つの新工場の稼働を開始し、5 つの工場を取得したことです。このような追加は発生しましたが、節約と効率向上を目指す取り組みを継続し、目標に向かって引き続き進捗が見られています。

2016 年前半に TI はスコットランドのグリーンノックにある小規模な古い製造施設を今後 3 年のうちに廃止する意向を発表しました。私たちは、ドイツ、日本、および米国にある、コスト効果に優れ効率の高い TI の製造施設に製造工程を移転することを計画しています。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

事態の進展を図るために、TI は持続可能性実績に関する年ごとの目標を制定する予定です。この結果、TI は引き続き、事業効率が最も重要な要因となる地域で事業効率の改善に注目ができます。また、地元特有の課題や、会社全体の業績目標を達成するた

めに、プログラムを最適化することをそれぞれの施設に推奨できません。また、GHG 排出量を低減するために、新しい複数年の目標も設定しました。

複数年の目標

5年間の目標 (2010年に制定)	最終的な目標 (対2010年基準)
製造する1チップあたりに必要なエネルギー量を45%削減	25%削減
製造する1チップあたりに必要な取水量を45%削減	9%削減
製造する1チップあたりに必要なGHG排出量を30%削減	9%削減

2020年の目標	2015年の結果
米国エネルギー省の「優れた建物、優れた工場」プログラムの目標を採用しました。(2010年基準から)米国製造拠点でエネルギー規模を50%削減	39%削減
(2015年基準から)GHG排出量を15%削減	

表彰

2015年、TIは環境への取り組みによって世界的な評価を受けました。以下にその一部を示します。

- Chengdu High-Tech Industrial Development Zone (中国の成都市ハイテク産業開発区)で、Excellent Environmental, Safety and Health Practice Award (環境、安全、健康に関する優れた慣行賞)
- Confederation of Indian Industries, Southern Region (インド工業連盟の南部地区)で、ESHの慣行に対する5つ星のレーティング
- テキサス州ダラス市のDallas Water Utilities Blue Thumb Award (ダラスの非常に望ましい水利用賞) (4年目)

- マレーシアのPrime Minister Hibiscus Award (首相ハイビスカス賞)
- Melaka Green Technology Department, Green Award (マラッカ・グリーン・テクノロジー部門のグリーン賞)
- Newsweek, Green Rankings (ニューズウィーク誌のグリーン・ランキング:) "Greenest Companies" (グリーン対応が最も優れている企業) (6年目)
- 台湾環境保護署のEnterprise Environmental Outstanding Bronze Award (企業環境の傑出した銅賞) (2年連続)

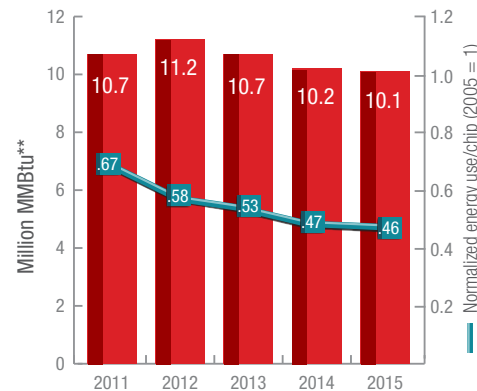
エネルギー利用

年間何百億個もの半導体チップを製造するには、エネルギーや水、その他原料などの重要なリソースが不可欠です。使用するエネルギーの大半は半導体の製造プロセスで使用され、その中で多くのツールは24時間365日動作しています。

TI のエネルギー利用には、直接 (拠点で使用される天然ガスなど) および間接 (製造以外に使われる購入した電気など) のエネルギー利用が含まれます。TI が全世界で使用するエネルギー使用量の合計は 10.1 百万MMBTU、すなわち 29 億 9,100 万キロワット時 (kWh) でした。これは、弊社の **二酸化炭素排出量** の約 56% に相当します。[EN3]

2014 年から 2015 年へ生産は増加しましたが、エネルギー使用量の合計は 1.4% 減少しました。[EN6] [EN19]

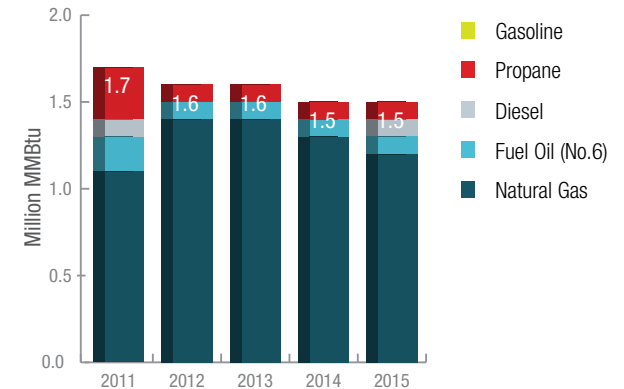
エネルギー使用量の合計*



*The total of all energy resources TI consumed (direct and indirect). This includes gas plant energy use (provided by a third party) at our North Campus (Dallas, Texas).

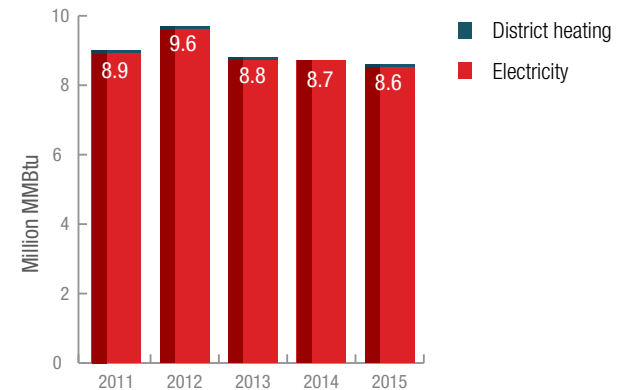
**MMBTu is a measurement denoting the amount of heat energy in fuels.

直接エネルギー使用量*



* Energy TI consumed, such as the burning of gas, diesel and fuel oil, that results in GHG emissions.

間接エネルギー使用量*



* Consumption of imported electricity by TI sites as well as heat (Freising, Germany, site only), GHG emissions resulting from the consumption of these resources does not result in GHG emissions directly from TI property.

グリッド供給の総電力の約 20% が再生可能エネルギー由来だったと私たちは推定しています。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

• エネルギー利用

- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

エネルギー効率

2010年、私たちは業務運営効率に重点を置いた**複数年の持続可能性の目標**を設定しました。5年間の目標の1つはチップの設計、販売、および製造に必要なエネルギーを2015年までに45%削減することでした。この期間終了の時点で、標準化エネルギー使用量は2010年基準から25%の削減を達成しました。[EN5]

TIの各施設には「エネルギー・チャンピオン」がいます。エネルギー・チャンピオンとは、全社レベルのエネルギー・チームとやり取りしながらエネルギー削減プロジェクトを主導するエンジニアです。エネルギー・チャンピオンは、電子メール、月例のミーティング、およびエネルギー削減プロジェクトのグローバル・データベースを通じて、エネルギー管理のベスト・プラクティスを共有しています。プロジェクトのマスター・リストにより、ベスト・プラクティスの共有が容易になり、企業レベルで削減を検証できます。

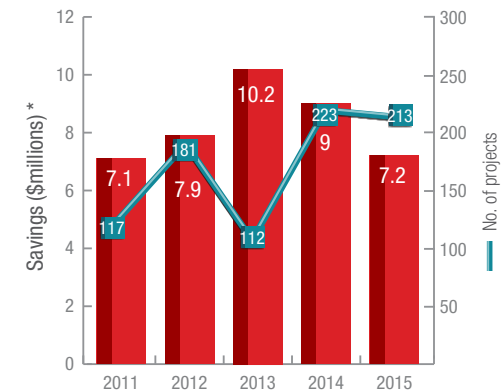


2015年には光熱費（エネルギーと水）を950万ドル削減するという目標を設定しました。私たちは光熱費削減プロジェクトによってこの目標を上回り、720万ドルのエネルギー節約を含め、1,110万ドルの節約を実現しました。



2005年に光熱費節約基金を発足させました。この基金は、年ごとの世界的な節約プロジェクトのために資金を取り分けるものです。この時点以来実施した全プロジェクトの累積結果は、5,200万ドルのエネルギー節約を含め、6,600万ドルでした。

エネルギー節約の沿革



*Annualized.

すべてのプロジェクトが多額の資金を必要とするわけではなく、むしろプロセスに変更を加える必要があります。この場合、社内のエキスパートによる工夫と独創的な問題解決能力が求められます。たとえば、2015年にTIは全体的なエネルギー使用量を節

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

減するために、高効率微粒子捕獲 (high-efficiency particulate arrestance、HEPA) フィルタを通過する空気の色度を低下させるテストを開始しました。このテストの結果、速度を低下させても歩留まりは影響を受けないことが実証されました。最終的に、TI は日本の美浦などの自社工場でエネルギーと費用の大幅な節約を達成することができ、投資はほとんど、またはまったく必要ありませんでした。

LEED

TI は、すべての新建築物で米国グリーン・ビルディング協議会の Leadership in Energy and Environmental Design (LEED) 認定を取得しようとしており、LEED の慣行を既存の建築物に適用しています。2015 年には、テキサス州シュガーランド(ヒューストン近郊)の新しいオフィス/ラボ複合施設が LEED Gold 認定を取得しました。また、同年に複数の建築物の大規模オフィス改装プロジェクトで LEED に関連した持続可能な慣行を採用しました。



建物や工場施設の改善

2010 年、TI は米国エネルギー省の「優れた建物、優れた工場」プログラムを通して、米国の製造拠点で 2020 年までにエネルギー強度を 25% 削減するという目標を設定しました。2014 年までに、すでに 32% の削減を実現しています。そのため、目標への取り組みを 2 倍にし、2020 年までに 50% 削減するという目標を設定しました。2015 年、TI はこの新しい目標を目指して大幅な進歩を続け、年々までに (2010 年基準から) 39% の削減を達成しました。

今後の計画

TI の 2016 年のエネルギー使用に関する計画は以下のとおりです。

- 効率化プロジェクトを通して光熱費をさらに 1,000 万ドル低減します。
- 引き続き、ベスト・プラクティス、評価、アイデアの共有を活用して、すべての既存の拠点で光熱費を削減します。
- 手頃な再生可能エネルギーを新しく購入する機会を見極めます。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

• エネルギー利用

• **水利用**

• 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

• 排気

• 気候変動

• 廃棄物管理

• 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

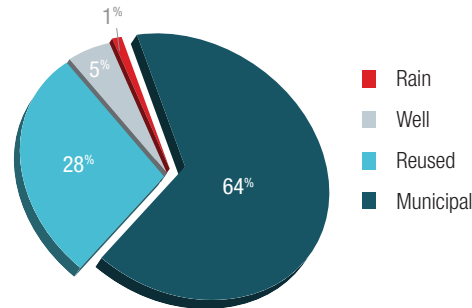
GRI インデックス

ご注意

水利用

水資源は半導体製造において重要で、生産プロセスに必要な脱イオン水を生成しています。TIの多くの製造拠点における主な水供給源は、地元自治体です。TIの事業と、TIが事業を営む地域の両方にとって水は非常に重要であり、責任ある方法で効率よく水を使用するためにTIは細心の注意を払い、最初に全体の使用量を削減すること、次に実行可能な場合は社内のプロセス間で水を再利用およびリサイクルすることを重視しています。

水源*



* Total water extracted: 5 billion gallons. Total water used: 7.1 billion gallons. This does not include collected rainwater or used once-through cooling water (water pumped from on-site wells at our Freising, Germany site, for heat rejection), which is returned to the same aquifer. Due to rounding differences, the total does not add up to 100 percent.

[EN8]

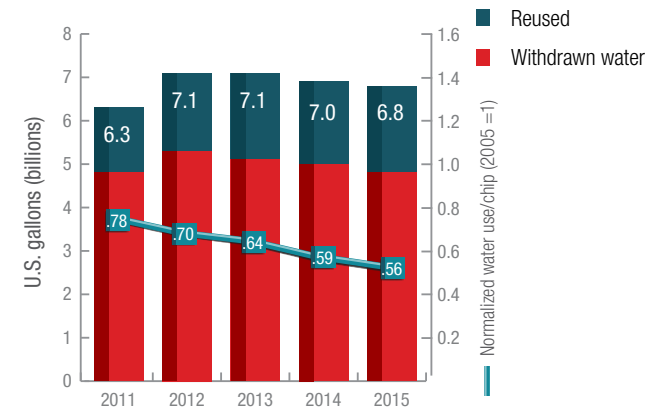
私たちは、水質と水の有効利用を評価およびモニタし、長期の貯水予想と利用可能な量を確認するために、地元の水道局と定期的にミーティングを行っています。TIは製造能力のかなりの部分をノース・テキサスに配置しています。この地域では2015年に記録的な量の降雨が発生しました。反動で今後は降水量が減少して水不足のリスクが生じる可能性があります。リスク管理の詳細については、「**事業の継続性**」をご覧ください。



TIの水利用に起因する近隣(下流)水域への著しい影響はありません。[EN9]

TIは本レポート以外にも、水利用の環境への影響について、CDP(以前のカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)への自主的な報告を続けます。

水の総使用量*



* Water obtained from local utilities and on-site wells. This does not include collected rainwater or used-once-through cooling water.

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

• エネルギー利用

• **水利用**

• 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

• 排気

• 気候変動

• 廃棄物管理

• 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

水の利用効率化

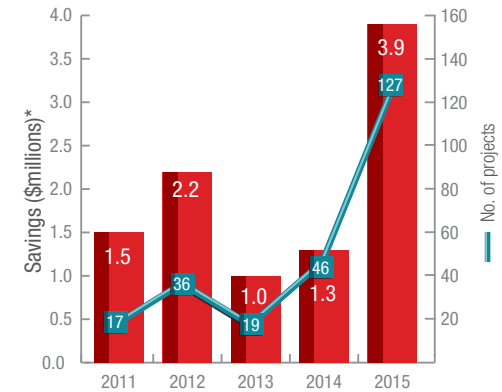
2010年、私たちは業務運営効率に重点を置いた**複数年の持続可能性の目標**を設定しました。5年間の目標の1つはチップの設計、販売、および製造に必要な水の量を2015年までに45%削減することでした。2015年末までに、水使用量は2010年基準から9%の削減を達成しました。製造数量の増加も含め、さまざまな理由が原因で、45%の削減という目標を達成できませんでした。この目標が設定された後の2年目(2011年)は、最も困難な年でした。ただし、それ以降は安定した進捗が見受けられています。TIは、これまでの達成を前向きに評価し、水節約への取り組みを世界的に継続する予定です。

2015年に、合計(絶対)水使用量を4%削減するという追加の目標を設けました。これは、年の途中で目標を8%に高めたことを意味します。年間の水使用量を12%削減することが予想される複数のプロジェクトを実施することで、この目標を上回りました。また、TIはこの年に水の総使用量の28%を再利用し、冷却塔、洗浄装置、または製造プロセスで利用しました。[EN10]

この年は過去最高の127件の水節約プロジェクトを実施し、6億200万ガロン(2,279キロリットル)の水を節約しました。2015年に最も効果的だった水管理プロジェクトは、冷却塔または洗浄装置でツールの洗浄水を再利用するものと、脱イオン化プロセスで逆浸透の第2パスを使用するものでした。

2005年の光熱費節約基金発足以来、TIは水節約プロジェクトの実施を通じて1,200万ドルを節約しました。

水保全の沿革



*Annualized.

2015年は、水の利用削減の取り組みを重視するために、基礎的な水量、水利用に関するチャンピオン、水戦略チームという3件の新しい水管理イニシアティブを継続しました。

水利用に関する基準

私たちは業界の状況をモニタし、他社よりも効率的な水利用を努めています。2015年には、水使用量とバランスについての現在の基準をすべての拠点で確認および改善し、測定と報告を確実にしました。

水利用に関するチャンピオン

エネルギー・チャンピオン・プログラムの成功を受け、水利用のデータを収集してTIの水資源に関する戦略チームと共有し、最終的に水効率の取り組みをさらに進める、水利用に関するチャンピオンを各拠点で指名しました。また、このチャンピオンは、水削減プロジェクトのグローバル・データベースを使用して、水管理のベスト・プラクティスを共有します。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用

- **水利用**

- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気

- 気候変動

- 廃棄物管理

- 廃水

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

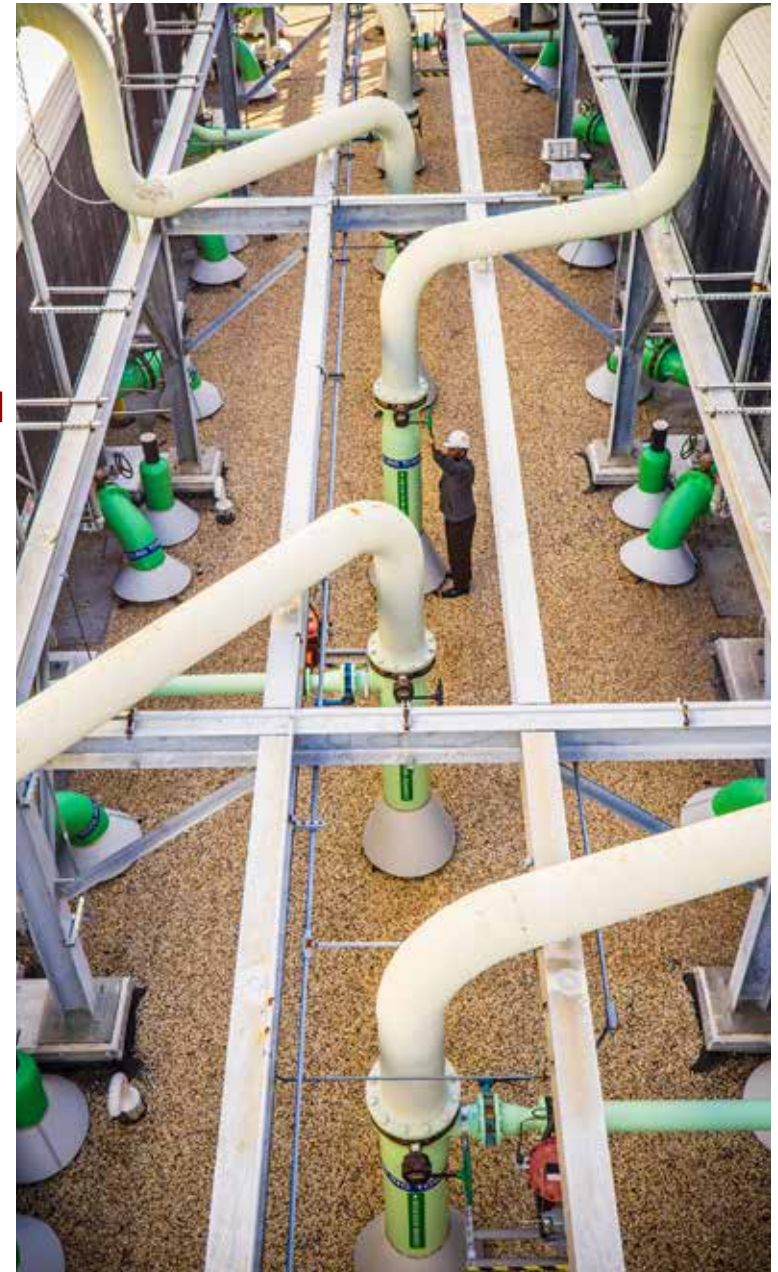
ご注意

水資源に関する戦略チーム

TI の企業レベルの水資源に関する戦略チームは、特に、世界の水の利用効率化に重点を置いています。このチームは 2015 年も引き続き、特に新しい施設において、水の使用量削減、リサイクル、再利用を推進するための設備改良プロジェクトに資金を投入しました。たとえば、ノース・テキサスに産業用廃水の実験的なリサイクル・システムの設置を行っているところであり、2016 年に試験を行う予定です。これは大規模で、水節約の構想に大きな影響を及ぼす可能性があります。

今後の計画

水を効率的に利用し、水の総使用量を削減する取り組みを継続します。2016 年の目標は、現在の水使用量を 10% 削減するプロジェクトを導入することです。



目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用

- **水利用**

- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気

- 気候変動

- 廃棄物管理

- 廃水

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

フィーチャード・ストーリー

水道水の不要化

世界に7つあるアセンブリ施設のうち最大規模の Clark (クラーク) 施設では、水道が不要になりました。

フィリピンに設置されているこの施設は、複数年にわたって水利用の削減を進め、最近のわずか2年間でチップ(製造された製品)あたりの水利用量を19%削減しました。

「Clark で水利用の削減は重点事項です。環境と事業効率に影響を及ぼすからです」と、アセンブリ/テスト事業の TI 施設ディレクターである Quan Hoang (クアン・ホアン) は語ります。



Clark 施設は、環境対策を主導していることから2010年の Leadership in Energy と Environmental Design (LEED) の Gold 認定を受けました。施設内での水利用量を劇的に削減する一連のコースを設定したときから大きな進歩を遂げました。

- 製造プロセスの最適化: 脱イオン水(超純水、ultrapure water、UPW とも呼びます)の利用を最小化します。UPW を使用して、製造プロセスとアセンブリ・プロセスの間に付着したごみと化学物質を洗い流します。
- 効率の改善: 純水生成プロセスを強化した結果、必要な脱イオン水の量が減りました。
- 廃水の再生利用: 再利用を目的として、製造中に使用した水を再フィルタ処理しています。
- 反復的な冷却: 冷却水をリサイクルします。この水は、製造プロセスの最中に熱を生成した機器を冷却します。



「光熱費の消費を削減する点で TI は継続的に進歩を遂げています」と Hoang は語ります。「私たちは Clark や他の施設が実現した削減を誇りに思い、さらに削減を進めるための取り組みを継続します。」

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- **化学物質の使用**

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

化学物質の使用

TI は製造作業のために他のどの原材料よりも多くの化学物質とガスを購入しています。半導体の製造には超高純度の化学物質が必要なため、通常、TI はリサイクルされていない未使用の新規プロセス・ケミカルを購入します。しかし、その他の装置で使用する場合は、可能な限りプロセス・ケミカルを再利用し、全体的な消費量を削減します。[EN2]

2015 年に、パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) の使用を排除することに成功しました。以前は、およそ半分の工場で、2 つの重要な製造プロセスでこの物質を使用していました。さらに、TI のサプライヤ各社から、PFOS を使用していないという確認を得ました。PFOS は既知の毒物であり、環境や食物連鎖の中で自然分解プロセスに対する耐性を示します。

念入りな調査、開発、テストを行った後、PFOS に比べて人体と環境に対する安全性がより高く、コストもほぼ同等という有効な代替物質を TI は見つけました。



2015 年には化学物質、石油、または燃料の重大な漏出はありませんでした。小規模な漏出や放出が発生した場合、私たちは、放出された廃棄物質を封じ込めて減らし、関係監督機関や当局に連絡し、迅速で適切な浄化活動を実施するよう尽力します。[EN24]

今後の計画

2016 年およびそれ以降も、TI は自社の製造プロセス、お客様、地球環境にとって最善の原材料を引き続き識別および認証する予定です。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- **排気**
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

排気

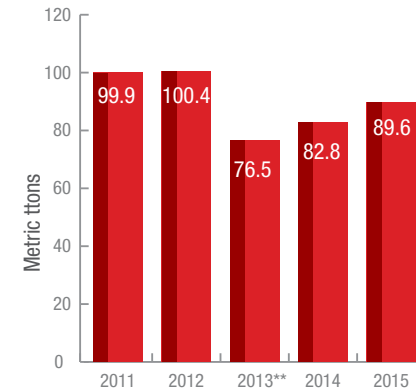
エネルギー効率を向上する TI のプログラム、装置の保守強化、効率的な製品輸送、および従業員通勤オプションはいずれも、排気の減少に寄与しています。

2015 年に、TI はオゾン層破壊物質 (ODS) を含有している冷却機のうち 1 台を置き換えました。さらに、同年内の 1 つの施設の売却を通じて、ODS を含有している他の 2 台の冷却機の所有を取りやめました。年末の時点で、TI は ODS を含有している既存の冷却機を 10 台所有しています。[EN20]

TI は世界規模で、排気に関する規則を注視しています。2015 年の TI に、コンプライアンスに関する懸念事項はありませんでした。この年、窒素酸化物 (NOx) と揮発性有機化合物 (VOC) の排出量はわずかに増加しました。気象条件や製造量など、多くの変数がこれらの排気に影響を及ぼした可能性があります。ただし、実行可能な範囲で TI は排出を削減する取り組みを続けます。[EN21]

温室効果ガス (GHG) 排出量の詳細については、「[気候変動](#)」のセクションをご覧ください。

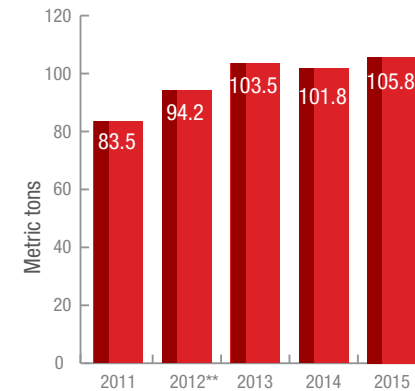
NOx の排出*



*The values account for U.S. sites only. We have not yet calculated global emissions

**The 2013 decrease is primarily due to the initiated closing of TI's manufacturing facility in Stafford, Texas.

VOC の排出*



*The values account for U.S. sites only. We have not yet calculated global emissions.

**The 2012 increase is primarily due to the acquisition of a manufacturing facility in South Portland, Maine.

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

通勤や輸送システム

TI の事業が引き続き拡大しているため、TI は製品の出荷から従業員の通勤まで、よりクリーンで効率的な輸送オプションを探索しました。私たちは効率的な輸送でコストと環境への潜在的な影響を低減できることを認識しています。

製品出荷は、TI の事業にとって重要な要素です。TI は戦略的な流通ネットワークを使って、効率的で最適な物流を実現しています。この中には、航空便ではなく海運を使用する製品の移動、出荷の集約、TI の製造拠点の近くにある製品流通センターに部品を保管することによる全体的な輸送距離の短縮が含まれます。

従業員の通勤においては、大量輸送交通機関やカー・プール、定期往復便などの代替通勤手段を支援しています。TI の本社を含む一部の施設では、自転車や徒歩で出勤する従業員向けの施設内シャワー設備や、屋根付きの駐輪場、電気自動車 (EV) 充電ステーション、自転車修理ステーションがあります。

従業員に EV の使用を推奨するために、TI は米国で 87 台の EV 充電ステーションを設置しました。その大半はテキサス州とカリフォルニア州にあります。カリフォルニア州サンタクララの 8 台を含め、TI は 2015 年に 30 台以上の充電ステーションを設置しました。

単独の地域としては TI の従業員が最も多く住んでいるノース・テキサスでは、交通渋滞を緩和して大気汚染改善に貢献するために、通勤用相乗りバンと大量輸送交通機関に補助金を支払い、自転車の利用に配慮した設備や拠点間の定期往復便サービス、フレキシブルな労働オプションを提供しています。このプログラムでは「自転車通勤の日」などの世界的イベントも推奨しています。2015 年の「自転車通勤の日」に、世界中で 350 人以上の自転車利用者が合計 4,100 マイル (6,700km) の距離を自転車で移動し、健康を増進するとともに燃料を節約し、排出量を削減しました。



移動による環境負荷を低減するため、社内の設備やサービスを提供しています。たとえば、各チームにはビデオ会議システムを使用して会場場所への交通費を削減するよう奨励しています。2015 年には従業員の約 57% (全世界でおよそ 17,100 人) に在宅勤務ツールを支給しました。

今後の計画

2016 年、TI は以下の内容を実施します。

- ODS を使用する残りの冷却機の廃止に取り組みます。
- テキサス州リチャードソンにある RFAB ウェファー製造工場に 6 台の新しい EV 充電ステーションを設置します。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- **気候変動**
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

気候変動

TI は気候変動に対する世界的な懸念に真剣に取り組んでいます。私たちは業界として温室効果ガス (GHG) の排出量を削減しようとして取り組んでいます。そのために、新しい製造テクノロジーの開発、低減デバイスや代替化学物質の使用、化学物質の再利用、および不要なペルフルオロ化合物 (PFC) の使用廃止を進めています。PFC は半導体製造で重要な物質であり、GHG の直接排出の大きな排出源です。

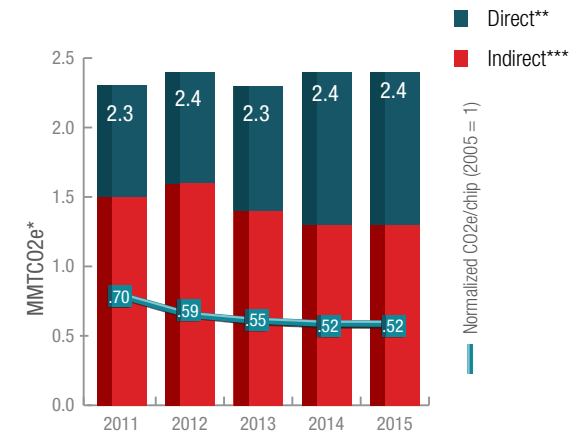
GHG 規制の改正により、コンプライアンス活動関連のコストが生じ、エネルギーと原材料のコストが上昇する可能性があります。リスク管理の詳細については、「[事業の継続性](#)」をご覧ください。気候変動に関連する機会 (エネルギー効率化への投資など) の詳細については、「[製品ラインアップ](#)」をご覧ください。[EC2]

GHG の実績

TI の GHG 排出量の約 45% は、拠点における化学物質の使用 (プロセス排出) と、熱や蒸気を得るための天然ガスの燃焼からくる直接排出です。



二酸化炭素排出量



Direct GHG emissions, excluding combustion, are now measured using the U.S. Environmental Protection Agency's (EPA) mandatory GHG rule methodology for all U.S.-based emissions. This methodology is not backwards-compatible with previous data (prior to 2015). The overall effect is an increase for all semiconductor industry emissions of approximately 10 percent. Additional detail on our emissions accounting methodology is provided in our [CDP response](#).

*Million metric tons equivalent carbon dioxide (MMTCO2e) is a unit of measure for GHG emissions. Emission totals are from global TI manufacturing sites only.

**Direct (scope 1) emissions include carbon dioxide (CO2), methane (CH4), nitrous oxide (N2O), hydrofluorocarbons, perfluorocarbons, sulphur hexafluoride and nitrogen trifluoride.

***Indirect (scope 2) emissions include CO2, CH4 and N2O.

[EN15] [EN16]

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- **気候変動**
- 廃棄物管理
- 廃水

サプライチェーン

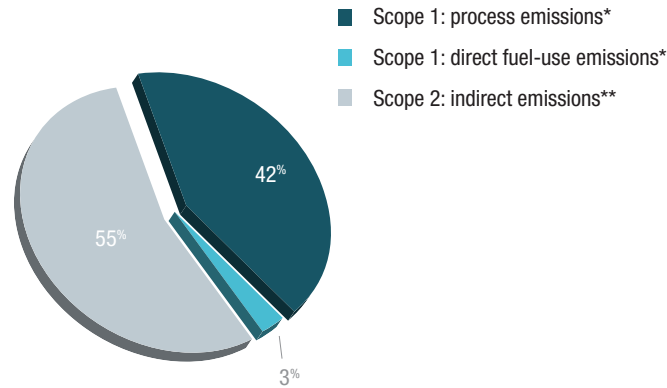
コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

GHG の排出



*Scope 1 emissions are global emissions from TI sources.

**Scope 2 emissions are indirect GHG emissions from TI through the company's consumption of energy in the form of electricity, heat, cooling or steam.

GHG の削減

TI はここ数年間、エネルギー使用量の削減に重点をき、直接排出(スコープ 1)よりも間接排出(スコープ 2)を迅速に削減してきました。

2010 年、私たちは業務運営の効率に重点を置いた**複数年の持続可能性の目標**を設定しました。5 年間の目標の 1 つは、チップあたりの GHG 排出量を 2015 年までに 30% 削減することでした。2015 年末の時点で、2010 年基準に比べて標準化 GHG 排出量の 9% の削減を達成しました。[EN18] [EN19]

今後の進展を図るために、2020 年までに GHG 排出量を 2015 年基準に比べて 15% 削減するという目標を設定しています。

引き続き全世界でエネルギー効率化プロジェクトなどの取り組みを進め、GHG 排出量を削減しました。TI のエネルギー削減の詳細については、「**エネルギー利用**」をご覧ください。

今後の計画

2016 年は、EPA の報告義務要件を満たすことに加え、世界半導体会議や CDP (以前のカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト) などのボランティア団体を通じて、GHG 排出実績を報告します。さらに、以下の内容を計画しています。

- 世界中の新しい法規制のモニタリングを継続します。これらは、GHG 排出量の報告方法や管理方法に影響を与える可能性があります。
- GHG をさらに削減するため、米国内の拠点で低減技術を提供できる追加サプライヤを選定します。
- 現在進行中の 300mm ウェハー製造キャパシティへの移行を含め、事業の変更を通じて GHG 排出量をさらに削減します。このウェハーは他の製造テクノロジーより効率的で、チップあたりの全体的なエネルギー使用量と排出量を削減できます。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- **廃棄物管理**
- 廃水

サプライチェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

廃棄物管理

責任ある方法で材料を調達し、廃棄物の扱いと廃棄を適切に管理することで、購入する材料の効率を最大化し、潜在的な環境への影響を低減するよう努力しています。TI の環境、安全、健康 (ESH) 基準は、すべての拠点で、廃棄物を削減するために、技術、管理双方からの視点でのコントロールを求めています。また、可能なかぎり材料の消費を削減し、リサイクルするよう努力しています。

TI は、施設で生成された有害廃棄物を処理、加工、廃棄、輸入、または輸出しません。代わりに、廃棄物管理会社を詳細に評価して契約し、有害廃棄物を除去、輸送、および適切に廃棄します。TI はバーゼル条約の規定に従い、有害廃棄物を国外に輸送しません。

[EN25]

廃棄物のリサイクル

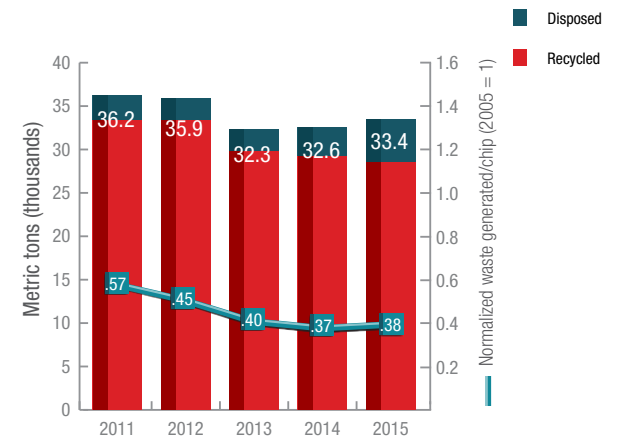
2015 年の合計廃棄物リサイクル率は 85% でした。これは、過去 4 年間の平均である 92% を下回ります。この低下は主に、ノース・テキサスにおいてベンダーの機器の変更により、TI の廃棄物を燃料混合物として再利用できなかったことが原因です。TI は廃溶剤リサイクルに関して代替のベンダーを引き続き探しており、合計リサイクル率は上昇する予定です。

TI は世界各地の拠点でさまざまな方法でリサイクルを行いました。たとえば、シリコン・ウェハーをソーラー・パネル製造業者に販売することにより、12.4 トンのシリコン・ウェハーを埋め立て廃棄せずに済みました。また、280,000kg の硫酸、60,000kg のリン酸、600,000kg 以上の酸化スラリーを含め、さまざまな化学物質を各工場にて再利用しました。2016 年も引き続きスラリーのリサイクル・プログラムを拡大することを計画しています。

さらに、硫酸やイソプロピル・アルコールなど 1,140 トンの化学物質を含む物質を再利用の目的で売却しました。



廃棄物*



* Totals include hazardous and nonhazardous waste from all manufacturing sites (which account for the majority of waste), as well as some of our largest nonmanufacturing sites.

[EN23]

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- **廃棄物管理**
- 廃水

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

パッケージ

先進的な製品パッケージと輸送梱包によって廃棄物の削減が進んでいます。2015年も当社は半導体パッケージから鉛や**その他の懸念材料**を除去する努力を継続しました。また、パッケージ・サイズを縮小して同じ空間に入る個数を増やしたデザインを導入しました。

特定のアイテムの輸送においては、必要なパッケージ材と梱包材の量を削減するために、輸送時に必要な梱包箱の数を減らせる「ジャンボ」リールを提供しています。また、大型 300mm ウェハーの増産でパッケージ材の量が減少しました。



電気電子機器廃棄物

耐用年数終了時の廃棄について、お客様が情報に基づいた判断を下すことができるように、TIの半導体製品に使用されている材料に関して詳細情報を提供しています。

TIの教育用テクノロジー（電卓製品）ビジネスは、さまざまなリサイクル・プログラムに参加しています。2015年に教育用テクノロジーは51トンの電気電子機器廃棄物と72トンの小売包装をリサイクルしました。これ以外にも、流通業務で29,000トンの材料をリサイクルしています。[\[EN28\]](#)

TIの教育用テクノロジーのリサイクル・プログラムには以下の内容が含まれます。

- 充電式電池のリサイクル：TIの充電式電池には Rechargeable Battery Recycling Corp. (RBRC) の Call2Recycle ロゴが表示されており、TIがこの米国とカナダのリサイクル・プログラムに参加していることが示されています。
- 電気電子機器廃棄物のリサイクル：TIは電気電子機器廃棄で R2 Certified Recycling Co. を利用しています。TIはカナダの8つの州で Electronics Products Recycling Association のメンバーです。
- 紙、梱包、および印刷物のリサイクル：TIは、ブリティッシュ・コロンビア、サスカチエワン、マニトバ、オンタリオ各州で Canada Stewardship Services Alliance のメンバーです。また、Eco Entreprises Quebec のメンバーです。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

■ 環境

- 概要

- 業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

- 廃棄物と排出

- 排気
- 気候変動
- 廃棄物管理
- **廃水**

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

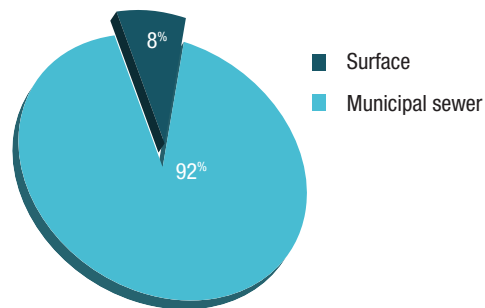
廃水

TI は水管理基準で、廃水と雨水についての守るべき内容を規定しています。この基準は世界中の TI の製造拠点とアセンブリ/テスト拠点に適用され、適用される法規制よりも厳しい要件を規定しています。それぞれの拠点の管理チームが、法規制要件と会社基準への準拠状況を監視して確実にそれらを守り、毎月、グローバル環境、安全、健康 (ESH) 管理チームに報告します。

TI の水処理システム・チームは世界中のシステム・エキスパートと TI 従業員で構成され、定期的に会合を開いて廃水関連プロジェクトでの協力、情報とベスト・プラクティスの共有、課題の解決を進めています。また、排水制限が確実に守られるように拠点の運営監視を支援します。

処理済みの廃水の大部分は、現地自治体の下水道に排出しています。地方自治体は、TI に対して頻繁なモニタリングや検査などの厳格な許可条件を課しています。許可条件に加え、TI の工業廃水処理工場では 1 年に 1 回の内部評価と 3 年に 1 回の監査を実施しており、トレーニングまたは認定を受けたオペレータを必要に応じて雇用しています。

廃水の排出



TI は現在、大型 300mm ウェハラの製造へ移行中ですが、300mm プロセスでは化学物質と水の使用量が減るため、廃水は減少する予定です。

2015 年に、TI は法規制へのコンプライアンスを維持するために、水システムへの多額の投資をおこない、プロセスの更新、水質の検証を行いました。2015 年の排水量は 2014 年よりも 3% 減少しました。2014 年には近隣(下流)水域に悪影響を及ぼす予定外の廃水の排出はありませんでした。[EN22]

今後の計画

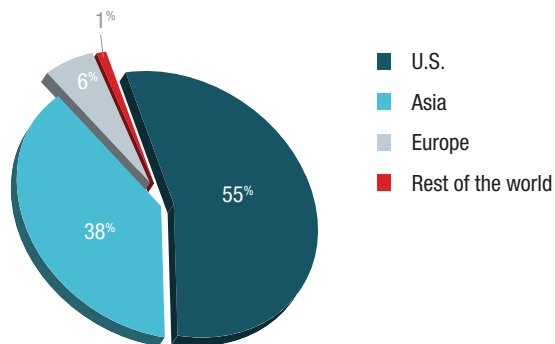
2016 年に、全体の水使用量を削減し、放出する水の水質を保証するために、TI は廃水をリサイクルおよび処理するための新しい方法を引き続き検討します。

概要

世界中に 12,000 社以上のサプライヤを擁する TI のサプライ・チェーンは、TI の事業の重要な部分を占めます。当社は、サプライヤに良好なコーポレート・シティズンシップを実践することを期待しています。TI は、環境面および社会面で責任ある慣行に従うようサプライヤを指導して、TI のサプライ・チェーンが競争力を維持すると同時に持続可能性を確保できるように取り組んでおり、地元の多様なサプライヤと協力することでコミュニティを強化しています。私たちは、TI とサプライヤの責任ある行動と行為について説明責任を負うと考えています。

TI のサプライヤへの支出の上位 80% は約 350 社のサプライヤが占めており、そのうち約 150 社は TI の製造プロセスの主要サプライヤです。TI はウェハー、アセンブリ、またはテスト部品の製造を外部委託する場合があります。2015 年には、TI の総ウェハー数の約 20% を外部の工場に、アセンブリ/テスト・サービスの約 40% を下請業者に委託しました。[G4-12]

地域ごとのサプライヤへの支出*



*Data is based on where suppliers receive payments.

[EC-9]



TI の全世界の調達および物流を担当する副社長は、最高財務責任者の直属の部下で、サプライ・チェーンのポリシー、実績、リスク管理を監督します。半導体業界は全体として、水や金属のようなリソースの利用可能性に関連するリスク、またグローバルな産業サプライ・チェーンが重要な原材料の供給停止や価格変動の影響を受けやすくなる、というリスクに直面しています。TI は潜在的なリスクに対処してその影響を緩和するために、サプライヤと緊密に連携しています。

2015 年に、TI は会社として初めて、サプライ・チェーン担当の取締役を選任しました。サプライヤの環境的責任と社会的責任を監督し、関連するプログラムとポリシーを実装するとともに、サプライヤの多様性を管理するのがその職務です。この役割は、リスク管理と事業管理を着実にを行うために、サプライ・チェーンの重要性にさらに注目することを意味します。

TI による 2015 年のサプライ・チェーン管理の重点は、供給の継続性に取り組むことでした。これは、事業の継続性や、適切な納期でのお客様への製品納入にとって不可欠な要素です。

表彰

2015 年、TI はサプライヤの多様性に関する取り組みにより、以下のような賞を授与されました。

- Women's Enterprise USA Magazine の「今年の 100 社」
- Dallas/Fort Worth Minority Supplier Development Council の「自社製品購入先からの購入によるベスト・プラクティス賞」
- Minority Business News の「Corporate 101: America's Most Admired Corporations for Supplier Diversity.」(上位 101 社: サプライヤの多様性に関して最も賞賛に値する米国の企業)



成果管理

TI は、責任ある公平な商慣習をサプライ・チェーン全体で推進します。

規格

TI [サプライヤ行動規範](#)と[サプライヤ向けの環境的責任および社会的責任ポリシー](#)で TI がサプライヤに期待する内容、すなわち尊敬の念をもって従業員と接し、安全な労働条件を提示し、環境に配慮した製造プロセスを実施する方針に関する概要を述べています。さまざまな国際規制が、サプライヤの労働条件に関する監査と実態の改善の責任を判断する場合の課題を提示しています。私たちはこの課題に対処し、これを克服するために、Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC) などの組織を通して工業界のパートナーと協力しています。

TI は毎年、[Conflict Minerals Policy](#) (紛争鉱物ポリシー)、サプライヤ行動規範、[materials specifications](#) (原材料の仕様) のようないくつかの文書を使い会社の期待をサプライヤに伝えています。

2015 年に、TI はサプライヤ行動規範を更新し、労働慣行、健康と安全、環境的責任、およびエシックスに関する規格に取り組んでいます。また、この更新をサプライヤに提供しました。

当社の期待は、注文書の条項およびサプライヤとの契約書に記載されています。2015 年に TI の U.S. Standard Terms and Conditions of Purchase (米国の標準購入条項) を更新し、紛争鉱物 (原材料の供給に関する慣行) とサプライ・チェーンの責任に関するセクションを追加しました。

評価と監査

TI はサプライヤの評価を行っているほか、リスクと違反に取り組むための手順を規定しています。私たちは、コスト、環境と社会への責任、テクノロジー、責任、供給の確実性、および品質 (CETRAQ) のスコアカードを使い、サプライヤの環境的実績と社会的実績を評価します。私たちは、半年に 1 回の会合で環境と社会に関する効果的な実践を認めるため、CETRAQ スコアカードを用い、CETRAQ スコアの高いサプライヤを優先することを明確に示しています。

さらに、EICC と協力して、選択したサプライヤの実績を評価を監査しています。2015 年に、TI は約 150 社の主要製造サプライヤに対し、EICC の自己評価アンケート (SAQ) を使用して会社の環境事業と社会事業の評価を実施するよう求めました。ほぼすべてのサプライヤ (99%) が施設レベルの SAQ を少なくとも 1 つ提出しました。

[SO9] [HR10]

SAQ を通じて、TI は 360 件以上のサプライヤ施設に関するフィードバックを受け取りました。結果の分析では、TI のサプライ・チェーンは非常に低リスクであることが判明しました。TI は、わずか 1% の施設が高リスクであったと判定し、EICC の認証を受けたエキスパートがそれらの施設を 2016 年に監査する予定です。全体的に、サプライヤの SAQ の結果に基づくと、2015 年には潜在的または実際の環境、労働慣行、人権、社会に対する重大な悪影響はありませんでした。

[EN33] [LA15] [HR11] [SO10]

TI は過去の SAQ によって識別された高リスクのサプライヤに対し、EICC を通じて、第三者によるサプライヤへの初めての全面監査を実施しました。監査の結果、3 つのメジャーな事項と、8 つのマイナーな事項が明らかになりました。サプライヤはそれらすべてにすでに対処したか、現在対処しているところです。

CETRAQ および EICC 評価の実施に加え、弊社の主要サプライヤは 2015 年度のリスク評価に参加し、サプライヤの適格性、財務実績、および事業継続性計画が弊社の基準を引き続き満たしていることを確認しました。改善点はありましたが、重大な違反は見つかりませんでした。

リスクの評価と管理をより適切に実施するために、私たちは、サプライヤがグローバル・レポート・イニシアティブ (GRI) ガイドラインを使用してシティズンシップ・レポートを作成することを推奨しています。TI では、このガイドラインが最も包括的で広く使用され、理解しやすいフレームワークであると考えています。このようなレポートは、環境や社会的責任に関する改善機会を見つけるのに役立ちます。[LA14]

フィーチャード・ストーリー

サプライヤ・エクセレンス・アワード

TI は、優れた製品、サービス、サポートの提供において高い実績を見せた 14 社の TI サプライヤを認定し、当社の [サプライヤ・エクセレンス・アワード \(SEA\)](#) (最高レベルのサプライヤの企業認定) を授与しました。

TI のバイヤーと内部パートナーは、さまざまな属性と 2015 年の実績に基づいて受賞サプライヤの選考と推薦を行いました。これらのサプライヤの選考で主に考慮するのは、コスト、環境と社会への責任、テクノロジー、責任、供給の確実性、および品質 (CETRAQ) のスコアです。

「2015 年度の SEA 受賞各社をはじめ、TI の重要なサプライヤ各社は、TI のビジネスの成功になくてはならない存在です。」「受賞各社は、卓越した能力とコミットメントにより、TI の価値をより一層高めてくださったほか、環境と社会への責任を果たすための当社の取り組みに共同で取り組んでくれています。」

アカウントビリティ

サプライヤの実績が最低限の基準値に達していないことが判明した場合、TI はサプライヤと協力して改善計画の策定に取り組みます。当社はサプライヤがコンプライアンスを確保できるように真剣に取り組み、必要であれば改善の状況を監視します。サプライヤはこれまで、懸念のある課題に関して当社と協力して作業を進める意思を示してきました。

TI のポリシーは、当社の期待を満たしていないあらゆるサプライヤとの事業場の関係を再評価することです。この中には、新しい取引の保留や、既存の取引の打ち切りが含まれる可能性があります。

トレーニング

当社は、取引先を選定する前に、新しいサプライヤとなる可能性のある会社に、TI のポリシーと要件、サプライヤ行動規範の要件、該当する規制、その他の重要な慣行を理解するよう働きかけを行います。TI は、請負業者、ファウンドリ、直接のサプライヤを網羅する課題で構成されたチェックリストを持っています。さらに、TI は世界中にいる社内のすべての購買担当者と調達管理者に対して、環境と社会に対する責任を取り扱ったトレーニングを毎年実施しています。

TI は年ごとの電子メールによる通知、CETRAQ 評価、定期的な会合を通じて、継続中のサプライヤとの関係を維持しています。TI は 2015 年に、サプライヤの責任に関するトレーニングを初めて開始し、すべてのサプライヤがオンラインで利用できるようにしました。

各拠点も、カスタマイズした追加のトレーニングをサプライヤに提供しています。たとえば、フィリピンにある TI の施設のうち 2 箇所はサプライヤに対してオンサイト・トレーニングを実施する一方で、より小規模なサプライヤ・グループは 2015 年にエシックスに関する詳細で徹底的な話し合いを行いました。中国と台湾にある TI の施設のいくつかは Supplier Days (サプライヤの日) を主催し、上記と同様に、その期間に特にエシックスについて取り組みました。

今後の計画

2016 年、TI は以下の内容を実施します。

- 米国以外の契約に適用される TI の Standard Terms and Conditions of Purchase (標準購入条項) の更新を完了し、サプライ・チェーンの責任を記載します。
- 中リスクおよび高リスクと分類された施設を所有するサプライヤに対し、TI のサプライヤ・トレーニングを重点的に実施します。TI はそれらのサプライヤに対して、的を絞ったトレーニングを割り当て、サプライヤによるシステムとプロセスの改善を支援します。

材料の由来

当社は、製品の持続可能性は材料の購入に始まり、その原材料を使用した製造に至ることを理解しています。米国証券取引委員会の紛争鉱物規則に従うために、TI は Conflict-Free Sourcing Initiative (CFSI) を使っています。このイニシアティブは、スズ、タングステン、タンタル、金が紛争と無関係な供給源から調達されていることを確認するために、独立した機関が精錬所や精製所の調達活動を評価することを呼びかけています。また、TI は CFSI の紛争鉱物報告ツールを利用してサプライヤを調査し、TI 製品に使用されている鉱物が法にそった供給源で採掘されていることを確認しています。

2015 年に、TI は 2 点の紛争鉱物レポートを作成し、法令を遵守している精錬所供給もとの数を引き続き増やしました。このような金属を購入する多くの業界にとっての課題は、精錬所が監査に合格しなかった場合に、その精錬所を「法令違反」に変更することでした。TI は、売り上げの 90% を占める、当社の IC の 100% が、紛争と無関係であると認定された供給源から調達されたものであることを確認しました。

今後の計画

2016 年にすべての TI 製品における紛争鉱物不使用の実現に向け、サプライヤと協力することにより、サプライ・チェーン内の紛争鉱物規則に従っている精錬所の割合を増やすことを狙いとします。

多様性

TI はマイノリティおよび女性所有の企業 (MWBE) を支援するイニシアティブを通じて、サプライ・チェーンの多様性を 20 年以上推進しています。

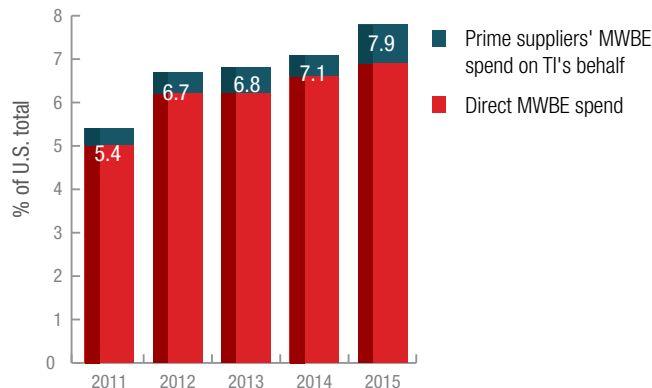
当社は、サプライヤの多様性に関する取り組みを、ダラスの TI 本社近くのノース・テキサス地域での活動に集中しています。サプライ・チェーンに MWBE を取り入れることで、就業機会を生み出し雇用が増えるため、地域経済の安定性が増します。また、Women's Business Council - Southwest と Dallas/Fort Worth Minority Supplier Development Council で積極的な役割を果たしています。

2015 年に、TI の調達部門に所属する新任の購買担当者に対して、当社の Supplier Diversity (サプライヤの多様性) プログラムや他の事項に関するトレーニングを実施しました。このトレーニングは、サプライヤの多様性を常に念頭に置くとともに、一貫性のある、公正な慣行を確実に実施できるようにする役割も果たします。

この年のうちに、TI は本社の大規模改装プロジェクトで追加の MWBE サプライヤとの共同作業を開始しました。この活動や他の措置は、当社と MWBE との共同作業の品質と数量の向上に寄与しました。

2015 年は米国における支出の約 7.9% が MWBE を対象にしました。これで、TI の MWBE への支出割合は 6 年連続の増加になります。[EC9]

米国サプライヤの多様性に関連する支出



今後の計画

2016年、TIは以下の内容を実施します。

- TIの大切なパートナーであり続けてもらうために、重要なMWBEサプライヤに指導を行います。
- 米国の購買予算の6.8%以上を認定MWBEに使用します。
- 新規と既存両方のサプライヤを対象にしたオンライン登録Webサイトの開発と公開を行います。この結果、各サプライヤは独立して自らのMWBE認証を更新できるようになり、登録プロセスが容易になります。

フィーチャード・ストーリー

道路照明に関連する節約

TIのダラス施設のような大規模な敷地における照明は、ささいな業務ではありません。照明の改善、エネルギーの節約、コストの削減を実現する方法を見つけるのは、さらに大きな課題になります。しかしながら、2015年にTIはこの課題に取り組み、マイノリティが保有する地元のビジネス・サプライヤであるOnPointとの協力関係を開始しました。この会社にはTIが必要とする専門知識があり、エシックスと持続可能な事業に関するTIの価値基準にも適合していました。

TIは照明に関する自社のニーズの研究、最善と思われる照明の種類の見直し、そのような照明の設置を目的としてOnPointを選定しました。また、同社は最も価格競争力の優れた保証も提供しました。最終的に、同社は4つの敷地にまたがっている合計1,000基以上の屋外照明装置で、従来の電球を、寿命が長くエネルギー効率に優れた発光ダイオード(LED)に置き換えました。LEDは、高レベルの照明を実現すると同時に、1年間でほぼ100万キロワット時の消費エネルギーを節約し、毎年の電力コストを数千ドル節約します。

短期的な観点では、装置の交換に伴って発生する、無害な固体廃棄物の100%をリサイクルするために、TIはリサイクル・ベンダと協力して責任ある方法で廃棄物を管理しました。長期的な観点では、TIは廃棄物を削減し、交換の労働コストを低減することができます。従来の白熱球に比べて、LEDは長持ちし、数年にわたって使用できるからです。

「OnPointは正しいことを行う作業に取り組み、適切な解決策を導ける可能性のある質問をすることを決して恐れませんでした」と、調達スペシャリストのRobin Lyon(ロビン・ライオン)は語ります。「TIは同社の実績に満足しており、TIの名誉あるサプライヤ・エクセレンス・アワードの選考対象にしました。」

それ以来、TIはテキサス州、またメキシコや台湾にある他の施設でも同様のLED照明を設置しました。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

■ コミュニティ

- 概要

- 寄付

- 教育

- ボランティア活動

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

コミュニティ

概要

TI は、強い企業は強いコミュニティを築くと考えています。世界中の TI の事業が地域において就業機会を生み、地元経済に寄与するだけでなく、慈善活動への寄付やボランティア活動を通じてコミュニティを支援しています。

TI のチーフ・シティズンシップオフィサーは、コミュニティへの支出活動を全世界で監督し、それらの活動とその結果を取締役会のガバナンスと株主向け広報委員会に毎年報告しています。

TI 財団は独自の非営利団体として活動し、9 人の理事が四半期ごとに会合を開き、効果的な寄付金に関する検証と支出を行います。

私たちが認識している範囲で、2015 年の TI の事業による地域コミュニティへの悪影響はありません。[SO2]

TI は、[シティズンシップ Web サイト](#)で各種のプログラム、ポリシー、活動を公開しています。その中では、[コミュニティ](#)と[教育](#)に関するイニシアティブを強調しています。また、コミュニティの最新情報を共有するために、[シティズンシップ・ニュースのブログ](#)と本シティズンシップ・レポートを活用しています。TI は、地域コミュニティチーム、多様性イニシアティブ・グループ、および社内コミュニケーションチームなどにおいて、慈善やボランティア活動に特化している従業員と関わっています。



寄付

TI は、自社の拠点があるコミュニティで生活の質を向上するために資金を投じています。特に教育やコミュニティの重要なニーズを満たすことに注力しています。また、マッチング・ギフト（従業員などによる寄付と同じ金額を会社が寄付）プログラムを通じて、テキサス州ダラスの文化芸術プログラムと、全米の同様のプログラムを支援しています。TI の寄付計画の詳細については、TI シティズンシップ Web サイトの[寄付](#)に関するセクションをご覧ください。

2015 年に、TI は慈善活動への資金援助、マッチング・ギフト、支援物資で 2,700 万ドルを寄付し、最優先事項である教育に 1,940 万ドルを投じました。これには、TI、TI 財団、および TI コミュニティ基金からの寄贈が含まれます。加えて、TI の従業員と退職者もコミュニティ、教育、および芸術イニシアティブに 610 万ドルを寄付しました。[\[EC1\]](#)

今年は支出する寄付金に関して、[ボランティア](#)の機会を特に強調するようになりました。TI のボランティアと、TI が財政的に支援する非営利プログラムを組み合わせることで、より強い影響を及ぼせるようになります。たとえば、2015 年に TI は United Way of Metropolitan Dallas (ボランティア団体 United Way のダラス都市地域支部) による Nine for 90 (90 周年を記念した 9 つのプロジェクト) や Unite for Change (シカゴのための連携) プログラムを後援しました。これらのプログラムは、協力的な活動と、コミュニティの重要なニーズに対するボランティアの取り組みを重視しています。TI の約 500 人のボランティアが、この年に開催された合計 5 つのイベントに参加しました。

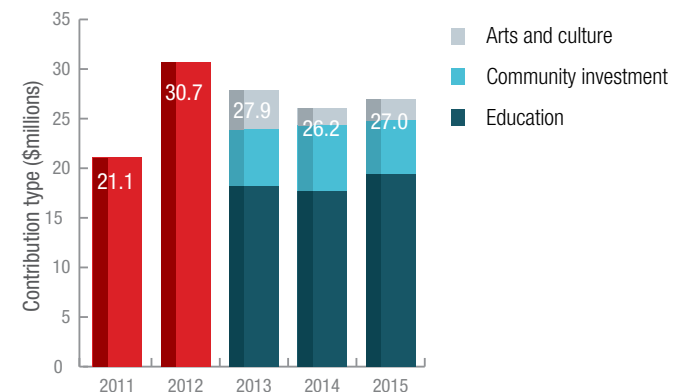
さらに、TI 財団は従業員を対象にしたマッチング・ギフトの最小寄付額と、TI のボランティアを対象としたマッチング・プログラムの最小時間数を引き下げました。これらの変更により、2015 年の全体的な寄付は過去最高のレベルまで増加しました。また、慈善活動への寄付や業界団体の会費に関する TI のポリシーも更新し、TI の世界的なプロセスの厳格さや標準化を向上させました。

最近制定された India Companies Act (インドの会社法) の要求に応じて、TI は 2015 年に最初の「Annual Report on Corporate Social Responsibility Activities」(企業の社会的責任に関連する活動の年間報告書) を作成しました。TI は以前からインドのバンガロールとその周辺のコミュニティで、長年にわたって積極的な行動を起こしてきましたが、



新しい Companies Act の要件は、TI がグローバル企業の目標と価値基準に対する整合性を高め、慈善活動に関する自社の戦略をさらに良いものとする機会を提供してくれました。このプロセスを通じて、TI は新しい非営利団体パートナーの識別と検証を行い、より大きな影響を及ぼせるようになりました。

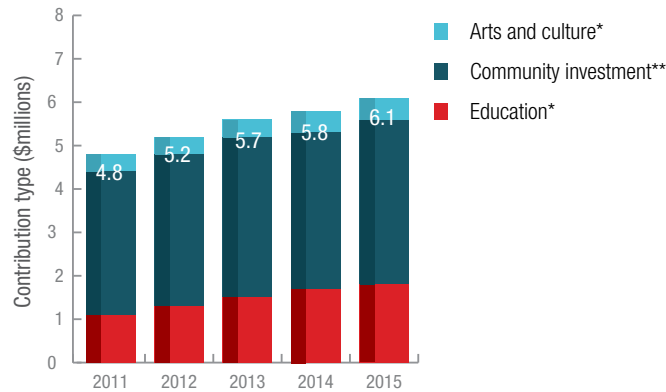
慈善活動への寄付*



* Contributions made by TI, the TI Foundation and TI Community Fund. Total giving does not include TI's annual contribution to the TI Foundation (\$15 million in 2015). However, it does include in-kind donations (\$0.4 million in 2015).

TI では、世界各地の従業員が地域コミュニティで生活の質向上に貢献できるように支援しています。個別の従業員は協力して働き、25 を超える多様性イニシアティブ・グループは、寄付とボランティアを通じてコミュニティのニーズを支援しようと活発に活動しています。

従業員の寄付



*Giving tracked through the U.S.-based TI Foundation matching gifts program.

**Includes health and human services, United Way, disaster relief and other.

教育

労働市場では科学、技術、工学、および数学 (STEM) スキルへの高いニーズがあります。TI と TI 財団は、米国の高校生が卒業までに STEM のスキルを習得し、さらに STEM 関連の学位やキャリアに進めるように支援する教育プログラムに資金を提供しています。

当社は、米国内で学生の成績向上に実績のある多数のプログラムや、STEM 担当教師の効果と品質を高める目的で設計されたプログラムを支援しています。米国外では、[opening a second TI Project Hope School in rural China](#) (中国農村地域における 2 番目の TI プロジェクト Hope School 開設) など、質の高い教育を受けられるようにするための教育イニシアティブに資金提供しています。

2015 年に、STEM に関して不利な環境にあるグループ (つまり、女性、黒人、ヒスパニック) の支援プログラムを特に重視しました。TI の取り組みの詳細については、「[教育](#)」をご覧ください。

コミュニティへの投資

世界各地で、ボランティアの従業員で構成された TI のコミュニティ活動参加チーム (Community Involvement teams, CIT) が、現地で最も差し迫ったニーズを見つけるお手伝いをしています。TI は、見つけ出されたニーズに対処するために資金を提供しています。

2015 年、TI と TI 財団は、コミュニティのニーズに対処する目的で 540 万ドルの支援を行いました。これには、U.S. volunteer incentive program (VIP、米国のボランティア・インセンティブ・プログラム) への 460,000 ドルの寄付と、米国を拠点とする United Way を含め従業員と退職者によるコミュニティ組織への寄付に対するマッチング・ギフトの 380 万ドルが含まれています。TI、従業員、退職者、TI 財団は、2015 年に過去最高の合計 750 万ドルを United Way に寄付しました。また、United Way への寄付に対する TI 従業員の参加率は十数年ぶりの高水準でした。

文化と芸術

私たちは、文化芸術団体が提供する、豊かで向上した生活の質を高く評価しています。TI の本社があるダラス付近のノース・テキサス地域における TI の芸術支援は、TI の創業者らにまでさかのぼります。その伝統は、かけがえのない優れた芸術団体への寄付という形で脈々と受け継がれています。TI 財団はマッチング・ギフト・プログラムを通して米国の広範な文化芸術団体も支援しています。

2015 年、TI と TI 財団は、合わせて 220 万ドルの支援を文化芸術団体に対して提供しました。この中には、非営利の芸術グループに対する TI 財団の 500,000 ドル近いマッチング・ギフトが含まれています。TI 財団の寄付は全般的な運営を支援するのにに対し、TI 事業会社による資金提供は芸術グループの活動や展覧会などに対する後援です。後援には、TI の従業員と退職者がダラスの活気に満ちたアート・コミュニティの優れたイベントを体験できるという、もう 1 つの利点もあります。

今後の計画

2016 年の目標は以下のとおりです。

- 不利な環境にある階層への STEM 関連の寄付を引き続き重視します。
- 教育関連の寄付による影響力を測定する方法を改善します。
- 特に STEM 教育に関して、寄付の効果を高めるために、従業員のボランティアが参加できる機会をより多く識別します。

教育

私たちの慈善活動の最優先事項は、教育のサポートです。教育は個人、企業、経済の成長を促し、イノベーションが生まれ育つエコシステムを創出します。TI の教育の目的は、米国における TI は科学、技術、工学、および数学 (STEM) を改善し、世界中で教育を受ける機会を増やすことに重点を置いています。ここ 5 年間で TI は幼稚園から高等教育までを対象として 1 億 5,000 万ドルを超える金額を投資しています。

2015 年に、TI 従業員は K-16 の生徒 (飛び級により大学で学ぶ生徒) が最善の STEM 教育を受けられるようにする活動に取り組みました。TI の統合的なアプローチには、慈善活動への寄付の実施、教師や非営利団体との協力、外部団体とのパートナー関係確立、従業員との関わり、生徒への学習ツールの提供が含まれています。

献金

2015 年に、TI は、操業地のコミュニティに貢献する初等教育と中等教育のイニシアティブ、高等教育、イノベーション教育のテクノロジーと学習用リソースに 3,610 万ドルの資金を提供しました。これには、慈善活動への寄付 1,940 万ドルが含まれます。

多様性は革新を促すことを TI は確信しています。故に我々は、女性やマイノリティを含め、不利な環境にある階層に利点となる STEM 関連の寄付に引き続き重点を置いています。その結果、TI と TI 財団による寄付の 74% は STEM に重点を置いたものとなっています。そのうち 78% は不利な環境にある階層に重点を置いており、この年の TI の目標に達しました。



共同パートナーシップ

TI は 2015 年に、STEM 教育に関する共同パートナーシップにいくつかの重点を置くようになりました。TI は、[Silicon Valley Common Core Initiative](#) (シリコン・バレー共通の中核的イニシアティブ)、[Change the Equation](#) (教育の変革)、[Commit!](#) (貢献) などの活動を引き続き支援しました。また、STEM 指導者のモバイル対応を支援するために、[US2020](#) とのパートナーシップも発表しました。

従業員の参画

TI は従業員に、ボランティア、メンター、チューター、支援者として教育に関与することを奨励しました。その結果、2015 年は教育ボランティア活動時間が数千時間に及びました。従業員が他の教育イニシアティブにボランティア参加または支援する場合には、成功のためのリソースとトレーニングを提供しました。詳細については、「[ボランティア活動](#)」をご覧ください。

学生用ツール

TI は、STEM の基礎と理解を作り、世界を変える革新のひらめきを得られるように学生を支援しています。TI は世界中で 2,500 万人の生徒が TI 製電卓を使用し、また毎年 500 万人の新しいユーザーが増えると推定しています。TI の [Education Technology website](#) (教育用テクノロジー Web サイト) では数学と科学に関する 5,800 の無料のレッスンが利用できるほか、世界中に 500 人以

上の Teachers Teaching with Technology™ (テクノロジーを使用して指導を行う教師、T3) インストラクタがいます。2015 年に、T3™ ネットワークは約 60,000 人の数学教師と科学教師に対して、TI のテクノロジーに関するトレーニングを実施しました。

初等および中等 STEM 教育

2015 年、TI と TI 財団は、STEM 教育が不十分な環境の生徒に STEM 教育の機会を拡大すると共に、生徒の成果に最も大きな影響を及ぼす STEM 担当教師の質と量を強化する支援プログラムを行いました。TI が STEM 教育を支援する方法の詳細については、TI の [citizenship website](#) (シティズンシップ Web サイト) にある [primary/secondary education initiatives](#) (初等および中等教育イニシアティブ) をご覧ください。

先生に向けた活動

TI は引き続き、STEM を担当する教師不足に対応する米国のプログラムへの投資を行ったほか、優秀な教師の専門的能力開発や表彰なども行いました。その例としては、Advanced Placement Incentive Program、Teach for America、National Alliance of Partnerships in Equity、Silicon Valley Education Foundation、TI 財団の Innovation in STEM Teaching Awards (STEM 教育革新賞) などが含まれます。



学生向けの活動

TI は TI 拠点のある全米各地のコミュニティで、多数の非営利団体や学校と提携し、STEM を学ぶ学生の成績向上支援や、学生が STEM 関連の仕事に就くための働きかけを行いました。マイノリティの学生を対象としたプログラムには、指導、夏期キャンプ、課外プログラム、校外学習、ロボットの後援などが含まれます。

TI は 2015 年に、生徒が STEM の原理に関わり、TI のグラフ・テクノロジーを使用できるように支援する、以下の 3 つの革新的な教育プログラムを開始しました。 [Building Concepts](#) (概念の構築)、 [TI Codes](#) (TI のコード)、および [STEM Behind Health](#) (健康の背後にある STEM) です。

教育を受ける機会

米国外では、STEM 教育プログラムに加えて、より多くの学生が質の高い教育を受ける機会を得られるよう支援するプログラムに投資しました。

中国における TI の 2015 年の投資として、2 番目の TI Project Hope School (TI プロジェクト希望校) の開設を挙げる事ができます。ここでは、TI の従業員がエレクトロニクスのクラスと生徒の活動を指導しました。中国で行った投資を通じて、農村地域の学生が学校、テクノロジー、本などを利用できるよう支援しました。

インドでは自社の教育プログラムを拡大し、350 人の低所得生徒への個人指導と奨学金に加えて、学校への復帰プログラムで 80 の公立学校に所属する約 3,500 人の児童の便宜を図ったほか、1,000 人の生徒に暖かい昼食を提供できるように資金を寄付し、約 20 校の公立学校で約 16,000 人の生徒が年間を通じてモバイル対応の科学ラボを利用できるようにするための後援を行いました。さらに、7 つの都市で 12 回目の [TI India Science and Technology Quiz](#) (TI インドの科学/技術クイズ) を開催し、約 2,000 人の生徒が参加しました。

大学との提携

TI は、工学分野の教師、研究者、生徒を世界中で支援する活動に取り組んでいます。1982 年以来、TI は工学系学生が、アナログ・テクノロジーと組み組みプロセッシングを学ぶことができるよう支援してきました。その中には、教室での講義、指導と研究ラボ、教科書、設計に関するプロジェクトとコンテスト、コース教育が含まれています。TI のこれらの活動を実施は、毎年数千人の学生が、実務と学問の間にあるギャップを埋め、実践的な工学の概念を取り入れられるという狙いがあります。

総合すると、TI は現在、推定で推定 600,000 名の学生と接触しています。2015 年末時点で、TI は 8,000 を超える教育ラボを設立し、工学コースで TI のテクノロジーを提供しています。また、教師および学生の双方の知識やスキルを高めるためのエンジニアリング・ツールやトレーニング・ワークショップを提供しました。学習した内容を実践するために、60,000 名を超える学生がグローバル TI イノベーション・チャレンジ設計コンテストや、中国の全国レベルのコンテストに参加しました。また、TI はエネルギー・ハーベスト、気候変動、自動車の安全性など変化つの変革に関連する事項に教授と学生が関わられるように、大学の研究プロジェクトへの投資も継続しました。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

■ コミュニティ

- 概要

- 寄付

- 教育

- ボランティア活動

業績の概要

GRI インデックス

ご注意

コミュニティ

2015年に、TIは大規模なオンライン/オープン・コース (massive online and open courses、MOOC) を支援し、世界中の学生が組み込みシステムなど工学特有のトピックを学べるようにしました。

不利な環境にある人たちが STEM に学ぶことができるように、すでにこのようなプログラムを実施している大学の学生組織と提携しました。たとえば、2015年には、サンフランシスコ湾岸地域にある高校にロボット・プログラムや指導教育プログラムを提供する目的で活動する、カリフォルニア大学バークレー校の学生運営プログラムである Pioneers in Engineering の支援を行いました。

今後の計画

2016年もTIは、以下の活動により、STEM教育と教育を受ける機会に引き続き注力していく予定です。

- 米国でSTEMを担当する教師のトレーニング、確保および拡大を図るプログラムを支援します。
- Power of STEM Education (STEM教育の力) に対するTIの寄付を、STEMに関して不利な環境にある生徒の階層に重点的に割り当て、電気工学を重視した寄付を検討します。
- STEMに関して不利な環境にある生徒の階層に対して、高い割合で寄付を割り当てます。
- より多くの学生が質の高い教育を受ける機会を得られるよう、中国とインドに対して追加の投資を行います。

フィーチャード・ストーリー

Lancaster 地区の複数の学校を STEM 強化学区に作り変える

今日の学生が今後の革新を担えるよう準備するには、彼らが科学、技術、工学、および数学 (STEM) に関連する職種にアクセスし、そのような機会に触れることが必要です。スキルのある教師から指導を受けることや、このような学問の原理を現実の世界に関連付けることも必要です。



米国議会の Joint Economic Committee (両院合同経済委員会) は、2010 年から 2020 年の間に STEM に関連する全般的な雇用数が 17% 増加すると予測していますが、経済的に不利な環境にある階層や、女性およびマイノリティの民族に属する生徒には、質の高い STEM 教育を受け、次世代に対応する先見の明を培うためのアクセス手段や、指導とサポートを受ける手段がありません。

TI と TI 財団は、米国でこの流れを変えるために長年にわたって活動してきました。

2012 年に、Communities Foundation of Texas (テキサス・コミュニティ財団) の官民共同イニシアティブである Educate Texas (テキサスの教育) に対して TI 財団は複数年にわたって合計で最大 480 億ドルを寄付し、テキサス州の堅牢な STEM 学校ネットワークから得られたベスト・プラクティスを活用して「STEM 強化学区」を構築

するという構想を発表しました。目標は、テキサス州ダラスより南に位置するこの Lancaster Independent School District (ISD、ランカスター独立学区) に属するすべての生徒の成績を向上させ、STEM 関連の大学や職業に至る進路の認識を高めることでした。Lancaster ISD は主に、不利な環境にある生徒とマイノリティの生徒で構成されています。

TI 財団は 2015 年に、テキサス州の主要な STEM 学区へと [transform the Lancaster ISD](#) (ランカスター独立学区を作り変える) という 1 歩踏み込んだ行動を起こしました。そのために、別途最大 220 万ドルの寄付を行い、STEM の学習をさらに高度化し、STEM 関連のキャリアを望む卒業生の数を増やそうとしました。Lancaster ISD はこの寄付を活用して、以下の活動を実施しています。

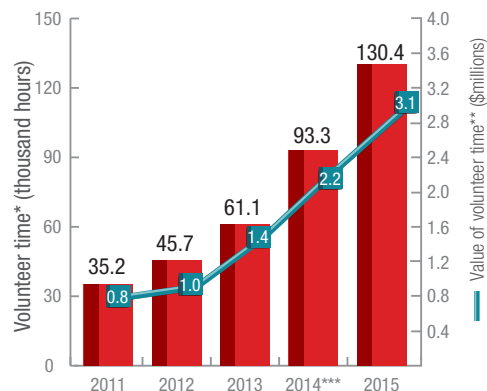
- 教師、指導者、カウンセラーのプロフェッショナル能力開発を目的として資金を供給します。
- 生徒の大学対応能力や職業対応能力を強化します。
- カリキュラム、指導方法、評価方法の改善を支援します。
- サマー・ブリッジ・プログラム (進学や留学に伴う環境の切り替えを橋渡しするプログラム) を拡大し、STEM 関連の課外活動やキャンプにより多くの生徒が参加するようにします。

「Lancaster ISD は最近 3 年間にわたって大半の学年で多数の対策を実施しましたが、その結果、学生の成績に関する初期の成果は今後の期待をもたらします」と、TI 財団の理事長である Lewis McMahan (ルイス・マクマーン) は語ります。「追加の寄付により、現在の進捗が加速されることを希望しています。」私たちは、すべての生徒が前に進み、STEM に関してより大きな成功を手にとできると確信しています。最も影響が大きいことが明らかになった分野に新しい寄付を重点的に割り当てることで、生徒の成績向上がさらに早く達成されるだろうという確信があります。Lancaster ISD と Educate Texas チームは、期待値の引き上げ、STEM の重点化の強化、教師とリーダーの能力開発、最も重要なこととして生徒の成績向上の推進に関して賞賛を受けるに値します。」

ボランティア活動

TI 発足以来、従業員はボランティア活動や寄付を通じて地域コミュニティの生活の質を向上するために取り組んできました。現在も、世界中の TI の従業員や退職者が、TI 拠点のあるコミュニティに関与することで、コミュニティの強化に引き続き努めています。2014 年に比べて、従業員や退職者がコミュニティにサービスを提供するために 2015 年にボランティア活動に費やした時間数は 40% 増加しました。これらの時間は時間寄付に換算すると、3 万ドル以上に相当します。

年間の活動時間増加の原因として、上級管理職が関与を継続し、コミュニティのボランティア活動を支援したことや、ボランティアの対象となる地域および教育に特定した従業員関与プログラムが増加したこと、コミュニティ活動参加チームが新しい拠点にもつくられたこと、また会社が後援するボランティアが、同じ受益者に対してすでに寄付をしていた団体と共同で活動する機会が増えたことが挙げられます。



*These are estimates based on select, company-sponsored volunteer activities.

**Value based on Independent Sector calculation (hourly values vary between years): http://www.independentsector.org/programs/research/volunteer_time.html.

***The large year-on-year increase is partially due to the addition of the U.S. employee volunteer incentive program (VIP) for the first time.



ボランティア活動

TI は年間を通じて、以下のようなさまざまな活動に対するボランティアを奨励しています。

- テキサス州ダラスとシャーマン、アリゾナ州トゥーソン、サンフランシスコ湾岸地域、ドイツのフライジングで、25 の異なる多様性イニシアティブを支援しました。
- 影響力のあるコミュニティ・リーダーとなるよう米国内の従業員のトレーニングを実施しました。現在、400 名を超える TI の従業員が、世界各地のさまざまな非営利理事会で任務を遂行しています。
- 米国全体で 75 人を超える従業員が United Way の年間キャンペーンでリーダーシップを担っています。その結果、100 以上のコミュニティ・サービス・プロジェクトが、数千人の従業員による支援を受けています。

STEM 教育に関するボランティア活動

科学、技術、工学、および数学 (STEM) 教育に対する TI の重点的な慈善活動の強化に伴い、2015 年に追跡された、TI 従業員がボランティアとして参加する機会があった STEM 教育プログラムは増加し、より大きな影響を及ぼすことになりました。

クラスでのプレゼンテーションや活動を通じて数千人の生徒に効果的に関わることができるように、TI は従業員にリソースとトレーニングを提供しました。また、従業員は、ロボットに関する指導、科学技術フェアの審査員、指導者、個人指導者、大学やキャリアのプランニング・アドバイザー、STEM キャンプコーディネータなども務めました。

2020 年までに 100 万人の STEM 指導者をモバイル対応させる活動を支援する目的で、TI は 2015 年に **US2020** への関与とサポートを発表しました。カリフォルニア州湾岸地域の従業員は、Breakthrough Silicon Valley (シリコン・バレーの変革) に参加し、TI のカリフォルニア州サンタクララ施設で開催された STEM career day (STEM 関連職業の日) を支援することで、TI 初の US2020 指導を先導しました。

この年を通じて、TI は US2020 への協力を続け、以下の 3 つの US2020 パートナーから提供されている仮想オンライン STEM 指導プログラムを活用して、米国全体の施設で従業員が STEM 指導に携わる機会を拡大しました。MentorNet (指導者ネット)、Iridescent (虹色)、および We Teach Science (科学教育) です。

インドでは、TI の従業員は毎年開催される India Science and Technology Quiz (インドの科学/技術クイズ) を支援するために 600 時間以上を費やし、2,000 人近い生徒が出席しました。中国では、TI の従業員は合計 362 時間にわたって TI Magic Electronics (魔法のような TI のエレクトロニクス) コースや他の活動にボランティアとして参加し、600 人以上の小学生が出席しました。これらのクラスに私たちとともにボランティアとして参加するように 7 つの大学から約 100 人の学生を招待した結果、TI は影響を拡大することができました。

従業員評価

TI は、**TI ファウンダー・コミュニティサービス賞**を通じて、世界中の従業員のコミットメントを表彰しています。社外の独立委員会が判定を行い、2015 年の受賞者として、12 人の個別の従業員と 3 つの従業員グループを選択しました。3 つの受賞チームはいずれも STEM 教育に重点を置いていたのに対し、個人受賞者はホームレスの支援から早期教育までコミュニティの多様な課題を支援していました。TI は受賞者の代わりに、受賞者がボランティア活動に取り組んだ承認済みの非営利団体に 1,000 ドルの寄付を行いました。

今後の計画

2016 年の計画は以下のとおりです。

- 施設外に出かける機会の少ない製造担当従業員向けに、より多くのサイト内でのボランティア・プログラムを提供することで、ボランティア活動を増やします。
- バーチャル的な指導の機会と、現在作成中のトレーニング・プログラムを提供することで、より多くの従業員が STEM 指導に関われるようにします。
- 現在の CIT と関わる機会を増やし、重点的な施設で新しいチームを編成します。
- 新しいオンラインツールを導入し、ボランティアの機会の活用、結果の追跡、コミュニティのパートナーとの調整を従業員が容易に行えるようにします。

フィーチャード・ストーリー

より強いコミュニティを構築するための取り組み

上級リーダーと従業員からなるグループは、地元の小学校で1日を費やして複数のベンチを組み立て、運動場を再整備しました。これは、TI Bay Area (TI カリフォルニア州湾岸地域) Community Involvement team (CIT、コミュニティ活動参加チーム) が2015年に組織した数十件のプロジェクトの1例です。このチームは、自らのコミュニティを改善しようと考えた従業員の意欲で結成されました。それらの従業員は、ボランティア参加の機会を見つけ、他の従業員にも参加を奨励するためのイベントを組織しました。

「私たちは時として、隣人の本当のニーズはどのようなものだろうか、という視点を失うことがあります。従業員は、このような視点を取り戻すのに役立つリソースの価値を認めています」と、副社長兼 Bay Area CIT の執行スポンサー役の Hagop Kozanian (ハゴップ・コザニアン) は語ります。

「私たちは、コミュニティの強化に取り組む企業の一員であることを誇りに思っています。」

このチームは1例であり、世界各地の施設にも、TI のリーダーによる支援を受けた同様のグループが多数存在します。「私たちの居住地や職場があるコミュニティにお返しすることは、会社の価値基準に合ったことであり、TI の従業員にとって重要な事です」とハゴップは語りました。これらの価値基準とリーダーシップによる支援は、世界中にある TI 施設の文化に組み込まれています。



2015 後半には、TI 中国のリーダーシップ・チームに属する 18 人のメンバーが、Jiangxi province (江西省) Zhangmu Village (樟木鎮、ダム鎮) における TI Project Hope School (TI プロジェクト希望校) の開設式に出席しました。彼らはここで1日を費やし、600人の小学生と交流しました。

「誰でも夢を見て、希望を持ち、行動を起こすことで、その夢を現実に変えることができます。私たちは生徒に、夢を見て革新を追究することを奨励しています。一方、このことは、誰もがそのような機会にアクセスできるようにするにはどうすればよいだろうか、と私たちが考えるきっかけになります」と、TI 中国の社長 Sandy Hu (胡憶蓮) は語りました。

TI のリーダーは、自らのコミュニティに関与し、自らのチームに同じ行動を奨励することで知られています。サービスに対するこのような取り組みは、TI を強化し、強力なコミュニティを構築するのに役立ってきました。

年間目標

TI は、パフォーマンスの改善を促し、コスト削減を達成するために、1年間の目標と複数年の目標の両方を立てています。この進捗状況の要約には、これらの目標と各目標に対する進捗の概要が記載されています。このレポートの該当セクションと **performance data** (実績データ) には、年ごとの結果に関する詳細が掲載されています。灰色のセルは、データ入手できなかったか該当しないことを表しています。

	説明	2011		2012		2013		2014		2015		2016
		目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標
従業員	TI の safety (安全性) に関する実績は、引き続き業界内で最善の値であり (Semiconductor Industry Association、半導体業界団体のランキングに基づく)、積極的な安全性プロセスと目標を通じて TI が維持していることを示しています。											
	安全: 休業、仕事に制限が生じる、または仕事の移管が生じる事例 (割合)	0.08	0.09	0.08	0.12	0.08	0.08	0.08	0.14	0.08	0.07	0.08
	半導体業界の結果*		0.80		0.80		0.90		0.80			
	安全: 要記録事例 (割合)	0.20	0.19	0.20	0.24	0.20	0.22	0.20	0.22	0.20	0.16	0.20
	半導体業界の結果*		1.60		1.60		1.60		1.60			
環境	TI は、世界中の事業活動において、資源をできるだけ効率的に利用することを目指しています。											
	水使用量** (削減の%)									4	12	
	光熱費: エネルギーと水 (削減額: 百万ドル)	\$5	\$8.6	\$6	\$10.1	\$8	\$10.2	\$9	\$9.7	\$9.5	\$3.4	\$10
	化学物質の使用量: 製造/アセンブリ/テスト施設** (削減の%)			3	3***	3	3	5	5			
サプライ・チェーン	TI はサプライヤーと協力して、責任と多様性と競争力のあるサプライ・チェーンを実現するとともに、TI の事業地があるコミュニティを強化します。											
	マイノリティ/女性所有のビジネス・サプライヤーへの支出 (米国サプライ・チェーンへの支出全体に占める割合: %)	5	5.4	5	2.0	5.5	6.8	6	7.1	6.5	7.9	6.8
	TI の IC 製品向けに紛争鉱物不使用の精錬所を活用しているサプライヤー** (%)									100	100	100
	環境責任と社会的責任の評価を完了した、選別したサプライヤー* (%)									100	99	100
	環境責任と社会的責任の評価で、すべての施設が低リスクに分類されたサプライヤー** (%)									ベースライン	69	80
コミュニティ	世界中の従業員が、自分の時間と経験を生かして地域コミュニティの強化に貢献しています。											
	ボランティア活動時間** (増加の%)					25	33	25	53	30	40	

* 米国労働安全衛生局 (OSHA) から提供された業界データ。統計は米国の実績のみを示します。レポート作成時点では、2015 年のデータは提供されていませんでした。
 **2012 年以降に設定された目標。

実績データ

次の表で、2011年から2015年の実績データを示します。これらの意義と結果の詳細については、本レポートの該当セクションをご覧ください。灰色のセルは、データが入手できなかったことを表します。

種類	Unit	2011	2012	2013	2014	2015
事業内容						
ファイナンシャル						
地域別売上高(合計)	10億ドル	13.7	12.8	12.2	13.0	13.0
アジア	売上高の%	63	61	60	61	61
南北アメリカ	売上高の%	11	12	14	12	12
ヨーロッパ	売上高の%	13	14	16	18	17
日本	売上高の%	11	11	9	8	9
世界の他の地域	売上高の%	3	2	1	1	1
政策提言						
企業献金(米国のみ)	\$	8,500	10,000	10,000	15,500	12,500
政治活動と委員会への献金(米国のみ)	\$		105,450	114,300	79,475	99,000
従業員						
労働力(ワールドワイド)	社員	29,572	29,600	32,000	31,003	29,977
男性(ワールドワイド)	社員				19,099	18,583
女性(ワールドワイド)	社員				11,904	11,394
アジア(合計)	社員	11,381	11,400	15,000	14,415	13,726
アジア(男性)	社員				6,219	5,962
アジア(女性)	社員				8,196	7,764
南北アメリカ(合計)	社員	13,211	13,200	13,000	12,870	12,607
南北アメリカ(男性)	社員				9,716	9,517
南北アメリカ(女性)	社員				3,154	3,090
ヨーロッパ(合計)	社員	2,816	2,800	2,000	2,447	2,416
ヨーロッパ(男性)	社員				2,012	1,989
ヨーロッパ(女性)	社員				435	427
日本(合計)	社員	2,164	2,200	2,000	1,271	1,228
日本(男性)	社員				1,152	1,115
日本(女性)	社員				119	113

種類	Unit	2011	2012	2013	2014	2015
離職者(ワールドワイド)	%			9.1	9.2	7.8
アジア	%			14.1	13.7	11.3
南北アメリカ	%			5.5	5.6	5.0
ヨーロッパ	%			4.7	5.7	4.9
日本	%			2.6	3.4	3.3
トレーニングの平均	時間帯	35.1	33.3	32.4	31.6	32.7
安全:休業、仕事に制限が生じる、または仕事の移管が生じる事例	(従業員 100 人あたりの事例)	0.09	0.12	0.08	0.14	0.07
安全:要記録事例	(従業員 100 人あたりの事例)	0.19	0.24	0.22	0.24	0.16
環境						
エネルギー使用量(合計)	MMBTU	10,654,451	11,242,165	10,660,415	10,206,821	10,070,708
間接エネルギー使用量(合計)	MMBTU	8,908,743	9,626,417	9,099,031	8,699,182	8,620,386
電力	MMBTU	8,853,612	9,575,872	8,742,480	8,653,277	8,567,814
地域の暖房	MMBTU	55,131	50,545	51,972	45,905	52,572
直接エネルギー使用量(合計)	MMBTU	1,745,708	1,615,747	1,561,384	1,507,639	1,450,322
天然ガス	MMBTU	1,164,462	1,293,845	1,326,695	1,308,551	1,259,187
燃料油(6番)	MMBTU	180,311	141,272	102,428	77,403	73,179
ディーゼル	MMBTU	83,446	33,230	27,629	40,928	50,201
プロパン	MMBTU	303,570	143,729	101,022	77,574	65,166
ガソリン	MMBTU	13,919	3,880	3,611	3,183	2,589
再生可能エネルギー使用量*	電気エネルギー使用量の割合(%)	21.0	20.0	20.8	18.6	
再生可能エネルギー使用量(合計)*	MMBTU	1,861,744	1,915,198	1,880,742	1,607,912	
再生可能エネルギーの購入量	MMBTU	409,440	409,440	0	0	7,165
再生可能エネルギーの内包量(付随的)*	MMBTU	1,452,304	1,505,758	1,880,742	1,607,912	
エネルギー削減プロジェクト	番号	117	181	112	223	213
エネルギー削減による節約	100 万ドル	7.1	7.9	10.2	9.0	7.2
エネルギー削減による節約	MMBTU	270,078	305,199	199,483	344,778	283,234

種類	Unit	2011	2012	2013	2014	2015
チップあたりのエネルギー (代表的製品)	2005 = 1	0.67	0.58	0.53	0.47	0.46
窒素酸化物 (NOx) 排出量 (米国のみ)	トン	99.9	100.4	76.5	82.8	89.6
揮発性有機化合物の排出量 (米国のみ)	トン	83.5	94.2	103.5	101.8	105.8
温室効果ガス (GHG) 排出量 (合計)	MTCO2e		2,415,741	2,326,888	2,399,183	2,408,435
直接 (スコープ1) 排出量 (合計)	MTCO2e		827,275	938,159	1,065,259	1,085,622
二酸化炭素 (CO2)	MTCO2e		84,912	77,578	74,127	75,848
メタン (CH4)	MTCO2e		24	1,193	1,164	1,203
二酸化窒素 (N2O)	MTCO2e		20,466	19,120	21,687	21,274
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	MTCO2e		17,797	19,204	41,413	41,646
パーフルオロカーボン (PFC)	MTCO2e		567,820	701,219	783,961	810,687
六フッ化硫黄 (SF6)	MTCO2e		62,244	43,890	53,184	45,147
三フッ化窒素 (NF3)	MTCO2e		74,012	75,955	89,723	89,817
間接 (スコープ2) 排出量 (合計)	MTCO2e		2,415,741	1,388,729	1,333,924	1,322,813
CO2	MTCO2e		1,585,331	1,388,709	1,333,904	1,322,794
N2O	MTCO2e		2,811	8	8	8
CH4	MTCO2e		324	12	12	11
チップあたりの GHG 排出量	2005 = 1	0.70	0.59	0.55	0.52	0.52
廃棄物生成量 (合計)	トン	36,210	35,887	32,345	32,599	33,437
有害物質 (合計)	トン	20,060	23,439	18,754	22,179	21,357
廃棄済み	トン	860	1,018	1,509	2,419	2,673
リサイクル済み	トン	19,200	22,421	17,245	19,760	18,684
無害物質 (合計)	トン	16,150	12,448	13,591	10,420	12,080
廃棄済み	トン	1,950	1,499	998	959	2,306
リサイクル済み	トン	14,200	10,949	12,593	9,461	9,774
チップあたりの廃棄物生成量	2005 = 1	0.57	0.45	0.40	0.37	0.38
水源 (合計)	ガロン (3.7853 リットル)			7,070,268,247	6,981,417,000	6,836,749,000

種類	Unit	2011	2012	2013	2014	2015
自治体	ガロン(3.7853 リットル)			4,551,775,260	4,693,117,000	4,493,402,000
井戸	ガロン(3.7853 リットル)			456,733,390	317,844,000	320,275,000
雨水	ガロン(3.7853 リットル)			16,673,000	25,811,000	37,278,000
水使用量(合計)	ガロン(3.7853 リットル)	6,322,160,000	7,116,436,000	7,053,595,247	6,955,605,000	6,799,472,000
くみ上げ	ガロン(3.7853 リットル)	4,845,813,000	5,269,770,000	5,008,508,650	5,010,960,000	4,813,678,000
再利用	ガロン(3.7853 リットル)	1,476,347,000	1,846,666,000	2,045,086,597	1,944,645,000	1,985,794,000
水節減プロジェクト	数	17	36	19	46	127
水節減による節約	千ドル	1,483	2,179	994	1,305	3,880
水節減による節約	ガロン(3.7853 リットル)	467,476,000	369,000,000	248,000,000	258,228,000	601,671,000
チップあたりの水使用量	2005 = 1	0.78	0.70	0.64	0.59	0.56
廃水の排出量(合計)	ガロン(3.7853 リットル)			5,689,055,551	4,572,654,000	4,400,263,282
自治体の下水	ガロン(3.7853 リットル)			4,783,417,551	4,279,403,000	4,083,740,601
陸送	ガロン(3.7853 リットル)			905,638,000	293,251,000	316,522,681
コミュニティ						
慈善活動への寄付(合計)	\$	21,119,819	30,669,246	27,911,294	26,168,945	27,014,781
種類:教育	\$			18,232,169	17,746,536	19,369,197
種類:コミュニティへの投資	\$			5,674,211	6,600,096	5,439,778
種類:文化と芸術	\$			4,004,914	1,822,313	2,205,806
従業員の寄付(合計)	\$	4,795,445	5,229,338	5,652,317	5,758,757	6,094,170
種類:教育	\$			1,503,444	1,686,295	1,775,659
種類:文化と芸術	\$			448,214	496,113	492,806
種類:コミュニティへの投資	\$			3,700,659	3,576,349	3,825,705
ボランティア活動時間	時間帯	35,201	45,665	61,086	93,328	130,363
ボランティア時間の価値	\$	767,030	1,011,023	1,377,496	2,153,077	3,071,352

*再生可能エネルギーの使用量に関する測定値は、まだ世界的な標準化が行われていません。再生可能エネルギーに関する報告プロセスの確信が得られるまでは、2014年より後の数値について報告しない予定です。

- 経済状況
- 環境
- 社会
 - 労働慣行
 - 人権
 - 社会活動
 - 製品責任

GRI G4 内容索引 - コア

TI は本レポートの作成にあたり、グローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) の G4 サステナビリティ・レポーティング・ガイドラインの中核 (Core) レベルに従っています。次の表に、GRI ガイダンスに基づく一般標準開示項目と特定標準開示項目の索引を示します。この中で、TI のそのステークホルダーに関連があり重要な情報を共有するために、簡潔で標準化された手段を掲載しています。[G4-32]

一般標準開示項目		
インジケータ	一般標準開示項目	ページ/対応/省略
	戦略と分析	
G4-1	組織の最高意思決定者の声明	最高経営責任者の声明
	組織のプロフィール	
G4-3	組織の名称。	企業プロフィール
G4-4	主要なブランド、製品およびサービス。	企業プロフィール
G4-5	組織の本社の所在地。	12500 TI Boulevard, Dallas, Texas 75243 (会社概要)
G4-6	組織が事業展開している国の数、および組織が重要な事業所を有している国、報告書中に掲載している持続可能性のテーマに特に関連のある国の名称。	企業プロフィール
G4-7	組織の所有形態や法人格の形態。	企業プロフィール
G4-8	参入市場 (地理的内訳、参入セクター、顧客および受益者の種類を含む)。	製品 、 企業プロフィール
G4-9	組織の規模 (次の項目を含む)。 • 総従業員数 • 総事業所数 • 純収入 (公的組織について)。 • 提供する製品、サービスの量。	2015 年 12 月 31 日の時点で、TI は 29,977 人の従業員を雇用し、世界 30 か国以上に製造、設計、および販売運営拠点を持っていました。2015 年に、TI は数十万の製品を販売し、130 億ドルの売上を計上しました。(SEC Form 10-K, Part I, Item 1, pages 2, 9; Item 2, page 14). (英語)
G4-10	以下のものを含む労働力: • 地域別、男女別の総労働力。 • 雇用者数の著しい変動。	従業員数 (全世界の労働力)
G4-11	団体交渉協定の対象となる全従業員の比率。	現在、比率のトラッキングを実施していません。世界各地で活動する TI の全従業員には、常に、各国の法で認められている結社の自由や団体交渉の権利が認められています。
G4-12	サプライ・チェーン	サプライ・チェーン
G4-13	報告期間中に、組織の規模、構造、所有形態またはサプライ・チェーンに関して発生した重大な変更。	企業プロフィール (要点と重要な変化)
G4-14	予防的アプローチ。	気候変動や事業の継続性への取り組みなど、事業運営におけるさまざまな面で予防原則を検討しています。さらに、積極的な化学物質および材料のスクリーニング・プロセスにより、解明されていない危険性や制御されていない危険性を含む可能性のある材料を使用していないことを保証しています。

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

- 経済状況
- 環境
- 社会

- 労働慣行
- 人権
- 社会活動
- 製品責任

ご注意

GRI インデックス

G4-15	外部で作成された経済、環境、社会憲章、原則あるいはその他のイニシアティブで、組織が署名または支持したものを。	自主基準、エシックス
インジケータ	一般標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
G4-16	組織が次の項目に該当する位置付けにあるものを含む、団体や国内外の提言機関の会員資格： <ul style="list-style-type: none"> • ガバナンス組織において役職を有しているもの。 • プロジェクトまたは委員会に参加しているもの。 • 通常の会員資格の義務を超える多額の資金提供を行っているもの。 • 会員資格を戦略的なものとして捉えているもの 	TI は、さまざまな政策を目的として活動するために、多数の団体に所属しています。TI は特定の団体において他の団体内より活発に活動しており、すべての団体のあらゆる事項に関して活動しているわけではなく、すべての位置付けに賛同する姿勢ではない可能性もあります。また、TI は他の外部グループや団体との提携を通して、成長を加速し競争力を高め、自社のステークホルダー、お客様、従業員、およびコミュニティを支援する政策を推進しています。 政策提言 (メンバーシップ)
レポートの構成と区分		
G4-17	組織の連結財務諸表または同等文書の対象になっているすべての事業体。	TI の連結財務諸表には、アナログと組込みプロセッシングの2つの報告対象となるセグメントが含まれています。残りの事業活動の実績については、「その他」で報告しています。 (SEC Form 10-K, Part I, Item 1, page 2) (英語) このレポートでは、財務諸表に含まれるすべての事業体についてのシティズンシップに関するトピックを扱っています。レポートの概要 (レポートのスコープ)
G4-18	報告書の内容および側面のバウンダリーを確定するためのプロセス。	レポートの概要 (レポートのスコープ)
G4-19	報告書の内容を確定するためのプロセスで特定したすべてのマテリアルな側面。	ステークホルダーとの関わり
G4-20	組織内のバウンダリー。	レポートの概要 (レポートのスコープ)
G4-21	組織外のバウンダリー。	ステークホルダーとの関わり
G4-22	過去の報告書で提供した情報を修正再記述する場合には、その影響および理由。	レポートの概要 (レポートのスコープ)
G4-23	過去の報告期間からの重要な変更。	レポートの概要 (重要な変更)
ステークホルダーとの関わり		
G4-24	組織が関連をもつステークホルダー・グループ。	ステークホルダーとの関わり
G4-25	組織が関連をもつステークホルダーの特定および選定基準。	ステークホルダーとの関わり
G4-26	ステークホルダーとの関わりに対するアプローチ方法。	ステークホルダーとの関わり
G4-27	ステークホルダーとの関わりを通じて発生した主要なテーマや懸念。	ステークホルダーとの関わり
報告書のプロフィール		
G4-28	報告期間。	暦年
G4-29	最新の発行済報告書の日付。	2015年5月
G4-30	報告サイクル。	年次
G4-31	報告書に関する質問の窓口。	ララ・バレンティン・フセイン 持続可能性・ステークホルダー関連担当

目次に戻る

最高経営責任者の声明

レポートの概要

事業内容

従業員

製品

環境

サプライ・チェーン

コミュニティ

業績の概要

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

・経済

・周囲(環境)

・社会

- 労働慣行

- 人権

- 社会活動

- 製品責任

ご注意

GRI インデックス

G4-32	選択した「準拠」のオプション。	レポートの概要、GRI インデックス
G4-33	保証内容。	レポートの概要
	ガバナンス	
G4-34	組織のガバナンス構造。	ガバナンス
	倫理と誠実	
G4-56	組織の価値、理念および行動基準・規範。	エシックス

特定標準開示項目		
DMA と 指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
経済状況		
	経済的パフォーマンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	会社概要
G4-EC1	創出、分配した直接的経済価値	年次報告で経済的パフォーマンスに関する情報を提供しています。本レポートの「会社概要」と「寄付」のセクションでも、経済的パフォーマンスと慈善活動の実績についての詳細をそれぞれ説明しています。
G4-EC2	気候変動によって組織の活動が受ける財務上の影響、その他のリスクと機会。	気候変動についての財務上の潜在的影響を数値化していません。
G4-EC3	確定給付型年金制度の組織負担の範囲	将来の給与増加による影響を除くと、累積負担額は、予測される確定給付型年金を全般的に下回っており、2015年12月31日の時点で米国確定給付型年金が9億4,800万ドル、2015年12月31日の時点で米国以外の確定給付型年金が20億9,000万ドルでした。(SEC Form 10-K, Part II, Item 8, Note 10, pages 49-55). (英語)
G4-EC4	政府から受けた財務援助	企業プロフィール
	市場でのプレゼンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	従業員
G4-EC5	重要事業拠点における地域最低賃金に対する標準最低給与の比率(男女別)。	給与と福利厚生
G4-EC6	重要事業拠点における、地域採用者の上級管理職の比率	従業員数(全世界の労働力)
	調達	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	サプライ・チェーン
G4-EC9	重要事業拠点における地元サプライヤへの支出の比率	サプライヤの多様性
環境法		
	原材料	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	環境

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

• 経済状況

• 環境

• 社会

- 労働慣行

- 人権

- 社会活動

- 製品責任

ご注意

G4-EN2	使用原材料におけるリサイクル材料の割合	多数のサプライヤーと取引を行っているため、調達したリサイクル材料の割合を検証するのは困難です。当社の製品を製造するために必要とされる購入原材料の大半は化学物質です。 (化学物質の使用) 半導体の処理に使用する化学物質のほとんどは高純度であることが必要ですが、一部の自社施設では酸化スラリーと廃棄物の酸を回収して再利用しています。建設プロジェクトにおいて、TI はリサイクルされた製品を含む原材料を優先しています。
	エネルギー	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	エネルギー利用
G4-EN3	社内のエネルギー消費量	エネルギー利用
G4-EN5	エネルギー原単位。	エネルギー利用
G4-EN6	エネルギー消費量の削減	エネルギー利用
DMA と指標	特定標準開示項目	ページ/対応/省略
G4-EN7	製品およびサービスのエネルギー所要量の削減	製品ポートフォリオ、製品の影響
	水	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	水利用
G4-EN8	水源別の総取水量	水利用
G4-EN9	取水によって著しい影響を受ける水源	水利用
G4-EN10	リサイクルおよびリユースした水の総量と比率	水利用
	排出	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	排気、気候変動
G4-EN15	直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 1)。	気候変動
G4-EN16	エネルギーによる間接的な GHG 排出量 (スコープ 2)。	気候変動
G4-EN18	GHG 排出原単位。	気候変動
G4-EN19	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減量。	気候変動、エネルギー利用
G4-EN20	オゾン層破壊物質 (ODS) の排出量。	排気
G4-EN21	NOx、SOx、およびその他の重大な大気排出。	排気
	排水および廃棄物	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	廃棄物管理
G4-EN22	水質および排出先ごとの総排水量	廃水
G4-EN23	種類別および処分方法別の廃棄物の総重量	廃棄物管理
G4-EN24	重大な漏出の総件数および漏出量	化学物質の使用

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

● 経済状況

● 環境

● 社会

- 労働慣行

- 人権

- 社会活動

- 製品責任

ご注意

G4-EN25	バーゼル条約付属文書 I、II、III、VII に定める有害廃棄物の輸送、輸入、輸出、処理重量、および国際輸送した廃棄物の比率。	廃棄物管理
	製品およびサービス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	製品
G4-EN27	製品およびサービスによる環境影響緩和	TI は、 product end-of-life (製品の寿命終了) も含め、自社製品の環境的影響と社会的影響を理解し管理するために、国際的に認知されている規格に従い、細心の注意を払っています。
		TI は、部品メーカーおよび消費財メーカーという両方の立場で、製品の寿命終了と廃棄に関連する課題に取り組んでいます。 製品の寿命終了
G4-EN28	使用済み製品や梱包材のリユース、リサイクル比率(区分別)	TI は現時点で、お客様またはエンド・ユーザーによって回収される製品のパーセンテージを特定できません。TI の教育用テクノロジーは、さまざまなリサイクル・プログラムに参加しています。 廃棄物管理 (電気電子機器廃棄物)
DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	コンプライアンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	環境
G4-EN29	環境法規制の違反に関する高額罰金の額、罰金以外の制裁措置の件数。	環境
	環境全般	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	環境
G4-EN31	環境保護目的の総支出と総投資 (種類別)	環境
	サプライヤの環境評価	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	成果管理
G4-EN33	サプライ・チェーンにおける著しいマイナス環境影響 (現実的、潜在的なもの) および行った措置	成果管理
	環境の苦情処理制度	
G4-EN34	環境影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度を通じて申立、対応、解決を行ったものの件数	環境 (ガバナンス)
	社会	
	労働慣行とディーセント・ワーク	
	雇用	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	従業員
G4-LA1	従業員の新規雇用者と離職者の総数と比率 (年齢、性別、地域による内訳)	人材、雇用の継続

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

- 経済状況
- 周囲 (環境)

• 社会

- 労働慣行
- 人権
- 社会活動
- 製品責任

ご注意

G4-LA2	派遣社員とアルバイト従業員には支給せず、正社員に支給する給付(主要事業拠点ごと)	給与と福利厚生
G4-LA3	出産・育児休暇後の復職率と定着率(男女別)	出産・育児休暇後の復職率と定着率については、現在、トラックしていません。
	労使関係	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	従業員
G4-LA4	業務上の変更を実施する場合の最低通知期間(労働協約で定めているか否かも含む)	米国の TI では、シフト変更については少なくとも 1 週間前までに、人員整理(または解雇予告手当)については少なくとも 60 日前までに通知を行っています。米国外の TI では、地域の労働法に従っています。
	労働安全衛生	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	安全
DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
G4-LA5	労働安全衛生プログラムについてモニタリング、助言を行う労使合同安全衛生委員会に代表を送る母体となっている総労働力の比率	安全
G4-LA6	傷害の種類と、傷害・業務上疾病・休業日数・欠勤の比率および業務上の死亡者数(地域別、男女別)。	安全
G4-LA7	業務関連の事故や疾病発症のリスクが高い労働者数	TI には、事故率や特定疾病発症率の高い業務活動に従事する作業員はいません。TI では、作業場でのあらゆる化学物質への暴露を最小限に抑え、作業員の健康に悪影響を及ぼさないようにする、非常に強力な業界に合った衛生管理プログラムを採用しています。
	トレーニングおよび教育	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	育成
G4-LA9	従業員一人あたりの年間平均トレーニング時間(男女別、従業員区分別)	育成
G4-LA10	スキル・マネジメントや生涯学習のプログラムによる従業員の継続雇用と雇用終了計画の支援	育成
G4-LA11	業績とキャリア開発についての定期的評価を受けている従業員の比率(男女別、従業員区分別)	育成

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

- 経済
- 周囲 (環境)
- 社会
 - 労働慣行
 - 人権
 - 社会活動
 - 製品責任

ご注意

	多様性と機会均等	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	多様性
G4-LA12	ガバナンス組織の構成と従業員区分別の内訳 (性別、年齢、マイノリティーグループその他の多様性指標別)。 男女同一報酬	多様性
G4-LA13	女性の基本給与と報酬総額の対男性比 (従業員区分別、主要事業拠点別) サプライヤの労働慣行評価	幅広い従業員カテゴリを比較した賃金比率には従業員ごとに異なる正当な賃金決定要因 (遂行する業務、責任の重さ、業務実態、スキル、資格、教育、経験など) が含まれていないため、賃金比率のデータは賃金の平等を示す指標としては信頼できないと TI は考えています。給与と福利厚生
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	サプライ・チェーン
DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
G4-LA15	サプライ・チェーンでの労働慣行に関する著しいマイナス影響 (現実のもの、潜在的なもの) と実施した措置 労働慣行に関する苦情処理制度	成果管理
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	従業員
G4-LA16	労働慣行に関する苦情で、正式な苦情処理制度を通じて申立、対応、解決を行ったものの件数。 雇用期間	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、労働慣行に対する申し立ては極秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。労働慣行に関するすべての問い合わせを問題なく解決できるよう取り組んでいます。
TI-LA17*	TI の従業員の平均勤務年数。	雇用の継続
	人権	
	投資	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	人権
G4-HR2	業務関連の人権についての方針、手順を内容とする従業員研修を行った総時間 (研修を受けた従業員の比率を含む) 非差別	エシックス (トレーニングとコミュニケーション)
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	多様性と包括性

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

- ・ 経済状況
- ・ 周囲 (環境)
- ・ 社会
 - 労働慣行
 - **人権**
 - **社会活動**
 - 製品責任

ご注意

G4-HR3	差別事例の総件数と実施した是正措置。 セキュリティ	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、差別に対する申し立ては極秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。差別に関するすべての問い合わせを問題なく解決できるよう取り組んでいます。 多様性
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	エシックス
G4-HR7	業務関連の人権方針や手順について研修を受けたセキュリティ要員の比率。 認証	TI の組織であるワールドワイド・プロテクティブ・サービスには、安全で互いを尊重できる職場環境を全世界で保持するための標準的な手順があります。これには、エシックス、コンプライアンス、人権などの内容を含む対象のトレーニングを、セキュリティ要員全員に実施することが含まれています。 エシックス(トレーニングとコミュニケーション)
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	人権
G4-HR9	人権レビューや影響評価の対象とした業務の総数とその比率	人権
DMA と指標	特定標準開示項目 サプライヤの人権評価	ページ/対応/省略
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	人権
G4-HR10	人権クライテリアによりスクリーニングした新規サプライヤの比率。	TI の全体的な支出の中で新規サプライヤが占める割合は小規模です。 成果管理
G4-HR11	サプライ・チェーンにおける人権への著しいマイナスの影響 (現実のもの、潜在的なもの)、および実施した措置 人権に関する苦情処理制度	成果管理
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	人権
G4-HR12	人権影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度により申立、対応、解決を図ったものの件数。	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、人権に対する苦情は極秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。人権に関するすべての問い合わせを問題なく解決できるよう取り組んでいます。
社会		
	地域コミュニティ	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	コミュニティ
G4-SO1	事業のうち、地域コミュニティとの関係づくり、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率。	TI は、慈善活動、ボランティア、リーダーシップの関与、共同イニシアティブ (特に、教育の分野) を通じて、地域コミュニティに積極的に関わっています。また、地元のサプライヤや市民団体のリーダーとも協力しています。なお、正式な影響評価は行っていません。
G4-SO2	地域コミュニティに著しいマイナスの影響 (現実のもの、潜在的なもの) を及ぼす事業	コミュニティ

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

- 経済状況
- 周囲 (環境)
- 社会
 - 労働慣行
 - 人権
 - 社会活動
 - 製品責任

ご注意

腐敗防止		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	エシックス
G4-SO3	腐敗に関するリスク評価を行っている事業の総数と比率、特定した著しいリスク	腐敗に関するリスクについて、世界にある事業拠点すべてを評価しています。 (エシックス)
G4-SO4	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションとトレーニング。	エシックス(トレーニングとコミュニケーション)
G4-SO5	確定した腐敗事例、および実施した措置	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、腐敗事例は極秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。腐敗に関するすべての事例を問題なく解決できるよう取り組んでいます。
政策提言		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	政策提言
G4-SO6	政治献金の総額(国別、受領者・受益者別)	TIの政治活動および献金に関する報告書は、米国の活動のみを反映しています。米国以外のどの国でもTIは政治献金を行っていません。 政策提言(献金)
DMAと指標	特定標準開示項目	ページ/対応/省略
反競争的行為		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	エシックス
G4-SO7	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により法的措置を受けた事例の総件数およびその結果。	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、腐敗事例は極秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。腐敗に関するすべての事例を問題なく解決できるよう取り組んでいます。(企業プロフィール、エシックス)
コンプライアンス		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	エシックス
G4-SO8	法規制への違反に対する相当額以上の罰金金額および罰金以外の制裁措置の件数。	エシックス
サプライヤの社会的影響評価		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	成果管理
G4-SO10	サプライ・チェーンで社会に及ぼす著しいマイナスの影響(現実のもの、潜在的なもの)および実施した措置	成果管理

■ GRI インデックス

- 一般標準開示項目

- 特定標準開示項目

- 経済状況
- 周囲 (環境)
- 社会
 - 労働慣行
 - 人権
 - 社会活動
 - 製品責任

ご注意

製品責任		
	製品およびサービスのラベリング	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	品質と信頼性
G4-PR3	組織が製品およびサービスの情報とラベリングに関して手順を定めている場合、手順が適用される製品およびサービスに関する情報の種類と、このような情報要求事項の対象となる主要な製品およびサービスの比率。	品質と信頼性
G4-PR4	製品およびサービスの情報とラベリングに関する規制ならびに自主的規範の違反事例の総件数 (結果の種類別)。	TI は配送とラベリングに関する多様な規制とお客様の要求に従っています。誤植や誤ったコードなど、ラベリングの小さな誤りは起こる場合がありますが、私たちはそのような誤りを訂正し、迅速でコスト効率に優れた製品配送を確実にできるように取り組んでいます。
	マーケティング・コミュニケーション	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	エシックス
G4-PR7	マーケティング・コミュニケーション (広告、プロモーション、スポンサー活動を含む) に関する規制および自主的規範の違反事例の総件数 (結果の種類別)。	TI は、マーケティング・コミュニケーションに関連する法規制の違反に対する重大な事件、罰金、制裁措置のいずれもありませんでした。
	顧客プライバシー	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	事業の継続性
G4-PR8	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して実証された不服申立の総件数	事業の継続性 (プライバシーとデータの保護)

*TI により作成。

将来の予測に関する記述の注意事項

本書にはリスクや不確定要素を含む将来の予測に関する記述が含まれており、予測と大きくかけ離れた結果となる可能性があります。研究や開発に関して計画されている投資など TI の複数年の目標を含めた、この「将来の予測に関する記述」(TI の製品およびテクノロジーから予測される利益に関する記述や TI の期待内容、計画、目的、意図、目標などの記述) は 1995 年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図しています。将来の予測に関する記述と大きくかけ離れた結果となる可能性があるリスクや不確定要素についての詳細は、TI の最新の SEC 年次報告書をご覧ください。将来の予測に関する記述は、新たな情報、将来の出来事、リスクの結果に関わらず、更新する意図や義務はないものとします。



TI は、技術でより良い明日を築き上げています。

詳細: ti.com/citizenship をご覧ください

 citizenshipfeedback@list.ti.com

 [texasinstruments](#)

 [@AroundTI](#)

プラットフォーム・バー、MultiView、T3、および Teachers Teaching with Technology はテキサス・インスツルメンツの商標です。その他の商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。

© Texas Instruments Incorporated 2016